# 県道円座香南線建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告

第1冊

川岡遺跡

## 2004.10

香川県教育委員会 香川県埋蔵文化財センター 香川県土木 部

# 県道円座香南線建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告

第1冊

川岡遺跡

## 2004.10

香川県教育委員会 香川県埋蔵文化財センター 香川県土木部



SR01 出土縄文土器



SR01 出土 石鏃・石錐

## 序 文

川岡遺跡は県道円座香南線建設に伴い発掘調査が行われた香川県高松市岡本町に所在する遺跡です。

発掘調査は、香川県教育委員会からの委託で、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成13年度に実施し、縄文時代晩期、弥生時代後期、鎌倉時代の遺構が検出されました。特に、縄文時代晩期の土器やサヌカイト片が多量に出土した旧河道や、弥生時代後期の灌漑用水路群などを検出したことによって、この地域の開発史の一端を明らかにすることができました。

整理作業は財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成15年8月から10月まで実施しましたが、平成16年3月31日の財団の解散に伴い事業を引き継いだ香川県埋蔵文化財センターによって「県道円座香南線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第1冊 川岡遺跡」として刊行することとなりました。

本報告書が香川県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理、報告書の刊行に至るまでの間、高松土木事務所及び関係諸機関、地元関係者各位に多大な御協力と御指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後とも御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年10月

香川県埋蔵文化財センター 所長 中 村 仁

## 例 言

- 1. 本報告書は、県道円座香南線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告の第1冊で、香川県高松市岡本町に所在する川岡遺跡(かわおかいせき)の報告を収録した。
- 2. 発掘調査は、香川県教育委員会が香川県土木部道路建設課から委託され、香川県教育委員会が調査主体となり、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。
- 3. 発掘調査は、以下のとおり実施した。

予備調査

調査期間 平成13年11月14日~平成13年12月7日

調査担当 廣瀬 常雄・藤好 史郎・木下 晴一・柏 徹哉・山元 素子・石原 徹也

松田 朝由・武井 美和

本 調 査

調査期間 平成13年12月20日~平成14年3月31日

調査担当 山元 素子・石原 徹也・松田 朝由

4. 調査にあたっては、下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。(順不同、敬称略) 香川県土木部道路建設課、香川県高松土木事務所、地元自治会、地元水利組合

5. 本報告書の作成は、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。

本報告書の執筆・編集は山元が担当した。

なお、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが平成15年度末で廃止となったことから、報告書刊行業 務は香川県埋蔵文化財センターが実施した。

6. 本報告書で用いる北は、国土座標系第Ⅳ系の北であり、標高はT.P.を基準としている。 また、遺構の略号は以下のとおりである。

SD:溝状遺構 SK:土坑 SP:ピット SR:自然河川 SX:性格不明遺構

7. 遺構断面図および土器観察表の中の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色 彩研究所色票監修『新版標準土色帖1998年度版』による。

また、残存率は図化のために径を計測した箇所の全体に対する割合で、完形品に対する割合ではない。

## 本文目次

第1章 調査に至る経緯と経過	
第 1 節 調査の経緯	1
第2節 調査の経過	1
第2章 立地と環境	
第 1 節 地理的環境 ····································	3
第2節 歴史的環境	3
第3章 調査の成果	
第1節 予備調査の結果	7
1. 予備調査の概要	7
2. 予備調査の出土遺物	7
3. まとめ	15
第2節 土層序	22
1. I区の土層	22
2. Ⅱ区の土層	25
第3節 遺構・遺物	31
1. I区の調査	31
2. Ⅱ区の調査	36
第4章 まとめ	
第1節 遺構の変遷	76
第2節 SR01・02出土のサヌカイトについて	78

## 挿図目次

第1図	遺跡の位置(1/10,000)	2		出土遺物 (1/4)・(1/2)	40
第2図	周辺の遺跡(1/30,000)	5	第37図	Ⅱ区火処1出土遺物 (1/4)・(1/2)	40
第3図	予備調査トレンチ位置図(1/2,000)	····· 8	第38図	Ⅱ区SX01断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	····· 41
第4図	予備調査トレンチ土層柱状図 1		第39図	II区SR01断面図(1/40)	···· 42
	(天地 1/1,000) ・(上下 1/40)	··· 11	第40図	Ⅱ区SR01最上層・上層出土土器1 (1/4)	····· 43
第5図	予備調査トレンチ土層柱状図 2		第41図	Ⅱ区 SR01 最上層・上層出土土器2、	
	(天地 1/1,000)・(上下 1/40)	··· 12		下層出土土器、その他出土土器(1/4)	45
第6図	予備調査トレンチ土層柱状図3		第42図	Ⅱ 区 SR01 最上層・上層出土石器 1(1/2) ····································	·····47
	(天地 1/1,000)・(天地 1/40) 13:	~14	第43図	Ⅱ区SR01上層出土石器 2、	
第7図	予備調査出土土器(1/4)	··· 15		下層出土石器 1 (1/2)	48
第8図	21S1トレンチ出土石器 1(1/2)	··· 16	第44図	Ⅱ区SR01下層出土石器 2 (1/2)	···· 49
第9図	21S1トレンチ出土石器 2(1/2)	··· 17	第45図	Ⅱ 区 SR01 その他出土石器(1/2)	50
第10図	21S1トレンチ出土石器 3(1/2)	··· 18	第46図	II 区 SR02 断面図(1/40)	50
第11図	21S1トレンチ出土石器 4(1/2)	··· 19	第47図	II 区 SR02 石・土器出土状況 (1/40) 5.	1~52
第12図	21S1トレンチ出土石器 5(1/2)	··· 20	第48図	II 区 SR02 上層下部出土土器 1 (1/4)	53
第13図	21S1トレンチ出土石器 6(1/2)	··· 21	第49図	Ⅱ 区 SR02 上層下部出土土器 2 (1/4)	54
第14図	21S1トレンチ出土石器 7(1/2)	··· 22	第50図	II 区 SR02 石・土器除去中出土土器 1 (1/4) ····································	55
第15図	I 区北壁断面図(1/80)	··· 22	第51図	II 区 SR02石・土器除去中出土土器 2、	
第16図	調査区割図及び土層図位置図(1/1,000)	··· 23		その他出土土器 1 (1/4)	56
第17図	I 区東壁断面図(1/80)	··· 24	第52図	Ⅱ 区 SR02 その他出土土器 2(1/4)	57
第18図	Ⅱ 区北壁断面図(1/80)	··· 25	第53図	II 区 SR02 その他出土土器 3(1/4)	58
第19図	Ⅱ 区南壁断面図(1/80)	··· 26	第54図	Ⅱ 区 SR02 上層下部出土石器 (1/2)	59
第20図	Ⅱ 区東壁断面図(1/80)	··· 27	第55図	II 区 SR02 石・土器除去中出土石器 、	
第21図	Ⅱ 区西壁断面図(1/80)	··· 28		その他出土石器 (1/2)	60
第22図	Ⅱ区中央部断面図(1/80)	··· 29	第56図	Ⅱ区包含層出土遺物(1/4)	61
第23図	I 区遺構配置図(1/200)	··· 30	第57図	Ⅱ区SK01・02・04断面図(1/40)	62
第24図	I区SD01断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	··· 31	第58図	II 区 SK03・05 平・断面図(1/20)、	
第25図	I区SD01・02・03断面図(1/40)、			出土遺物 (1/4)	62
	出土遺物 (1/4)	··· 32	第59図	Ⅱ区SK08平・断面図(1/20)	63
第26図	I 区 SD04 断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	··· 32	第60図	Ⅱ区SX03平·断面図(1/40)、	
第27図	I 区 SD05 断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	··· 33		出土遺物 (1/4)・(1/2)	64
第28図	I 区 SD09遺物出土状況(1/20)、断面図(1/40)、		第61図	Ⅱ区SD01~04断面図(1/40)	65
	出土遺物 (1/4)	··· 33	第62図	II区SD01·02出土遺物 (1/4)·(1/2)	66
第29図	I 区 SD08 ⋅ 10 ⋅ 11 断面図 (1/40)	··· 33	第63図	II 区 SD03a・b 断面図(1/40)	66
第30図	I 区北部包含層断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	··· 34	第64図	II 区 SD03a・b 出土遺物 (1/4)・(1/2)	66
第31図	I 区 SP01 平・断面図(1/10)、出土遺物(1/4)	··· 35	第65図	II 区 SD04a・b 断面図(1/40)	67
第32図	I 区 SK03 平・断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	··· 35	第66図	II 区 SD04a・b 出土遺物 (1/4)・(1/2) ····································	68
第33図	Ⅱ区集石遺構平・断面図(1/2)	··· 36	第67図	II区SD05断面図(1/40)	68
第34図	Ⅱ 区遺構配置図(1/200)	~38	第68図	II 区 SD06 断面図(1/40)	68
第35図	Ⅱ区集石遺構出土遺物(1/2)	··· 39	第69図	Ⅱ区SD06出土遺物 (1/4)・(1/2)	69
第36図	II 区 SK06 平・断面図 (1/20)、		第70図	Ⅱ区SD07遺物出土状況 1 (1/20)	69

第71図	Ⅱ区SD07遺物出土状況 2(1/20)	69	第75図	II 区 SD07 出土遺物 (1/4)・(1/2)	····· 73
第72図	Ⅱ区SD07遺物出土状況 3(1/20)	70	第76図	Ⅱ区SD08出土遺物 (1/4)・(1/2)	····· 73
第73図	Ⅱ 区 SD07 遺物出土状況 4 (1/20)	71	第77図	Ⅱ区SR03断面図(1/40)、出土遺物(1/4)	······ 74
第74図	II 区 SD07 断面図(1/40)	72	第78図	Ⅱ区その他出土遺物 (1/4)・(1/2)	······ <sub>75</sub>
	表	E	] 次		
		,_	· •		
第1表	発掘調査および整理作業の体制	<del>"</del> 1 ,	第5表	川岡遺跡出土石器(2)	····· 78
第2表	予備調査トレンチ一覧 (1)	<del></del> 9	第6表	SR01 出土石器	····· 79
第3表	予備調査トレンチ一覧 (2)	10	第7表	SR02 出土石器	80
第4表	川岡遺跡出土石器 (1)	78	第8表	SX01・火処 1 出土石器	81
	図	版	目 次	·	
		/V/	ПУ		
図版 1	I 区①全景(北から)		図版9	Ⅱ区SK05遺物出土状況(東から)	
	Ⅱ区①③全景(南から)			Ⅱ区SX03断面(南東から)	
図版 2	I区全景 (南から)			Ⅱ区SD01・02断面(北東から)	
	Ⅱ区①全景 (北から)			Ⅱ 区 SD02 断面(東から)	
図版 3	Ⅱ区②南半・④全景(南から)			II 区 SD02・03 断面(北東から)	
	Ⅱ区③全景(南から)			Ⅱ区SD03・04断面(東から)	
図版 4	I 区北壁土層(東端付近)(南から)			II区SD04a・b断面(南東から)	
	Ⅱ区②南壁土層(西から5m付近)(北から)			Ⅱ区SD04a断面(北から)	
	Ⅱ区②西壁土層(南から14.5m付近)(東から)		図版10	Ⅱ区SD05断面(西から)	
	Ⅱ区④西壁土層(北から4m付近)(東から)			Ⅱ区SD06断面(西から)	
図版 5	I 区 SD01 断面(北から)			Ⅱ区SD07トレンチ1断面(南から)	
	I区SD02・03断面 (北から)			Ⅱ区SD07トレンチ2断面(南から)	
	I 区 SD04 断面(南東から)			Ⅱ区SD07トレンチ3断面(南から)	
	I 区 SD05 断面(南東から)			Ⅱ区SD07トレンチ4断面(南から)	
	I 区 SD08 断面(東から)			Ⅱ区SD08断面(南から)	
	I区SD11断面(北から)			Ⅱ区SR03断面(南西から)	
	I区SD09遺物出土状況(北から)		図版11	Ⅱ区SD07遺物出土状況(南東から)	
	I 区 SP01 遺物出土状況(南から)			Ⅱ区SD07遺物出土状況(北から)	
図版 6	Ⅱ区集石遺構 (西から)			Ⅱ区SD07遺物出土状況(南から)	
	Ⅱ区SX01遺物出土状況(北から)			Ⅱ区SD08全景(北から)	
図版 7	Ⅱ区 SR02石・土器検出状況(東から)		図版12	I 区 遠景(南から)	
	Ⅱ区SR02石・土器検出状況(北西部)(南西から)			Ⅱ区②④遠景(東から)	
	II 区 SR02石・土器検出状況(北西部)(北西から)		図版13	予備調査出土土器	
	Ⅱ区SR02石・土器検出状況(北西部)(北西から)			21S1トレンチ出土石器(1)	
図版8	Ⅱ区SR02東アゼ断面(南東から)		図版14	21S1トレンチ出土石器(2)	
	Ⅱ区SR02中央アゼ断面(西から)		図版15	I 区 SD09・北部包含層出土遺物	
	Ⅱ区SR01断面、火処4部分(南から)			Ⅱ区集石遺構出土遺物(1)	

図版16 II 区集石遺構出土遺物 (2) II 区 SK06 出土遺物 図版17 II 区火処 1 · SX01 出土遺物

図版17 Ⅱ区欠処1・SX01 出工退物 Ⅲ区 SR01 最上層・上層出土土器

図版18 II区SR01上層出土土器 II区SR01下層出土土器

図版19 Ⅱ区SR01上層出土石器(1)

図版20 II 区 SR01 上層出土石器 (2) II 区 SR01 下層出土石器 (1)

Ⅱ区SR01下層出土石器(2)

図版21 II区SR01下層・その他出土土器 II区SR02上層下部出土土器 (1)

図版22 II区SR02上層下部出土土器(2)

図版23 SR02石・土器除去中、その他出土土器

図版24 II 区 SR02 その他出土土器 II 区 SR02 上層下部出土石器

図版25 II 区 SR02 上層下部、石・土器除去中、その他出土石器

図版26 II 区包含層出土遺物 II 区 SK05 出土遺物

Ⅱ区SD01・02出土遺物

Ⅱ区SD04a·b出土遺物

図版27 II区SD07出土遺物(1)

図版28 II区SD07出土遺物(2)

Ⅱ区SD08出土遺物

Ⅱ区上面精査出土遺物

## 第1章 調査に至る経緯と経過

## 第1節 調査の経緯

県道円座香南線は地域高規格道として建設が予定されている道路である。地域高規格道路は高規格幹線道路と一体となって地域構造を強化するために整備していく道路として全国的な規模で計画されているものである。

香川県においては、高松市内に計画された高松環状道路が平成11年12月に調査区間として指定され、そのうち中間地区から川岡地区にかけての延長3kmについて事業化された。

県高松土木事務所はこの路線を中間地区、円座地区、川岡地区の3地区に分けて整備を進めており、用地内の埋蔵文化財調査について高松土木事務所と文化行政課により協議を進められたが、平成13年度より買収の終わった地点から随時試掘調査を実施することとなり、平成13年9月11日~13日にかけて試掘調査を実施した。

## 第2節 調査の経過

文化行政課による試掘調査の後、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターにより、11月から道路用地10,236㎡ついて予備調査を実施した。当初は遺跡面積を広く予想し、10月から2班体制で延べ11ヶ月の調査期間を当てていたが、予備調査の結果、用地内の遺跡の広がりが狭かったので、1班体制で調査に当たった。調査期間は平成13年12月20日~平成14年3月31日、調査面積は2,954㎡、調査方式は直営方式である。

整理作業は平成15年8月~10月まで実施した。発掘調査および整理作業の体制は第1表のとおりである。 また、整理作業に携わったのは以下のとおりである。

香川県教育		発掘調査 整理作業								
香川県教育委員会										
平成 13 年度	Ę		平成 15 年度							
総 括	課長	北原	和利	総 括	課長	北原 和利				
	課長補佐	小国	史郎	芸術文化	課長補佐	森岡 修				
				グループ	主任	香川 浩章				
	副主幹	中村	禎伸	·	主査	須崎 陽子				
総 務	主査	須崎	陽子		主任主事	八木 秀徳				
	主事	亀田	幸一							
埋蔵文化財	副主幹	大山	真充	文 化 財	副主幹	大山 真充				
	主任	西岡	達哉	グループ	主任	片桐 孝浩				
	文化財専門員	古野	徳久		文化財専門員	佐藤 竜馬				
	文化財専門員	宮崎	哲治		主任技師	松本 和彦				
財団法人香	川県埋蔵文化財セン	ター								
総 括	所長	小原	克己	総 括	所長	中村 仁				
	次長	川原	裕章		次長	渡部 明夫				
				総 務	副主幹	野保 昌弘				
総 務	副主幹	大西	誠治		主任	多田 敏弘				
	係長	多田	敏弘		主査	塩崎かおり				
	主査	山本	和代		主任主事	田中 千晶				
	主任主事	高木	康晴	調査	主任文化財専門員	真鍋 昌宏				
調査	主任文化財専門員	藤好	史郎		主任文化財専門員	西岡 達哉				
	文化財専門員	山元	素子		文化財専門員	山元 素子				
	主任技師	石原	徹也							
	調査技術員	松田	朝由							

第1表 発掘調査および整理作業の体制



第1図 遺跡の位置 (1/10,000)

## 第2章 立地と環境

## 第1節 地理的環境 (第1図)

川岡遺跡は高松平野の南西部、高松市岡本町に所在する。周辺には条里型地割が比較的よく遺存する。

高松平野は東部には屋島、立石山山地、西部には五色台山地、堂山山地、香南台地、千疋丘陵に画される。南部は由佐山・上佐山山地とそれから派生する台地が大きく張り出し、その東西を新川水系と香東川水系が大きく抉りこむ。高松平野は新川、春日川、香東川、本津川により形成されたが、いずれも流量に乏しく、これらの河川活動によって形成された沖積地は狭く、その背後には台地や扇状地形が広がる。

川岡遺跡は堂山山塊の東側、高松平野の西南部に位置し、東側には本津川の支流古川が流れる。古川は香東川の東側の扇状地帯を流れる小河川で、香東川、本津川、古川いずれも地表より深く開析する。もともと流量が乏しい上に河床が地表よりかなり低いため、灌漑用水としては利用できず、もっぱら谷地形や微地形を利用した小規模な溜池を使って灌漑を行っていた。遺跡は香東川の扇状地として形成された砂礫層および粘土層を挟んだ沖積地に立地しており、付近の水田の大半は水持ちがよくなかったらしい。

## 第2節 歴史的環境(第2図)

高松平野の西南部地域は近年の大規模開発などによる発掘調査もあまり行われなかった地域であり、遺跡の様相も不明確なことが多い。

#### 旧石器時代

近年大規模開発に伴う発掘調査が実施されるにしたがって、川岡遺跡の北約2.7kmでは、中間西井坪遺跡、中間東井坪遺跡、正箱遺跡、兀塚遺跡などでこの時期の遺跡が見つかっている。いずれも六ツ目山東麓にあたり、ナイフ形石器や角錐状石器、剥片などが出土している。なかでも中間西井坪遺跡では接合資料を含むナイフ形石器や角錐状石器を主体とした数基の石器ブロックが確認できた。

#### 縄文時代

平成15年度に実施した、川岡遺跡の北約1.7kmに位置する本郷遺跡では、縄文時代後期初頭の土坑が検出されている。国分寺六ツ目遺跡では、土器は出土していないものの、サヌカイトの大型剥片が折り重なった状態で出土しており、当該期の石器製作地と考えられる。今回の調査では縄文時代晩期、爪形文を器面に施す土器群が多く出土しているが、高松市伏石町の居石遺跡では同時期の自然河川が検出されている。

#### 弥生時代

高松平野全体では弥生時代に入って遺跡数は大幅に増加するが、古川流域では中間西井坪遺跡、兀塚遺跡、 正箱遺跡などでその一端が明らかになったに過ぎない。中間西井坪遺跡で検出した集落は掘立柱建物のみで 構成される特異な構成であった。

#### 古墳時代

古川流域では小地域ごとに相互にあまり格差のない小規模な古墳群が継続的に並立する状況であり、際立った古墳が造営されることはない。前期後半には中間西井坪遺跡の調査で確認された中間1号墳、六ツ目山山頂に造営された六ツ目古墳の2基の前方後円墳があるが、いずれも小規模のものである。

前期末においては中間西井坪遺跡で埴輪焼成土坑が検出されている。ここでは円筒埴輪のほか器財型埴輪、 土器棺を焼成していたことが明らかになり、さらに土器棺は今岡古墳に供給されていたことが想定される。 中期~後期古墳は堂山東麓諸地域でも認められるようになる。本堯寺背後の丘陵では円筒型土製棺の存在 が知られる本堯寺北1号墳、横穴式石室がある本堯寺西古墳など、奈良須池東方の立石山には、詳細は不明 であるが、奈良須池古墳、立石神社古墳などがある。

当該期の集落は、中間西井坪遺跡で古墳時代前期にかけて引き続き営まれるほか、兀塚遺跡でも竪穴住居と掘立柱建物からなる集落が検出されている。

#### 古代

古代においては岡本町、西山崎町、中間町は讃岐国香川郡中間郷に属する。中間は平城宮出土木簡で「中萬里」「仲津間□」が見られる他、東大寺文書には山田郡宮処郷、阿野郡河津郷とともに東大寺の封戸に施入されたことを示す記事が見える。

古墳時代末~古代の集落は兀塚遺跡(6世紀末~7世紀中頃)、中間西井坪遺跡(6世紀末~7世紀中頃、8世紀後半)、正箱遺跡(8世紀後半~10世紀)で検出されている。中間西井坪遺跡では8世紀後半代には 丘陵緩斜面において幹線の大型水路が掘削され、大規模な土地開発が行われたことが想定されている。

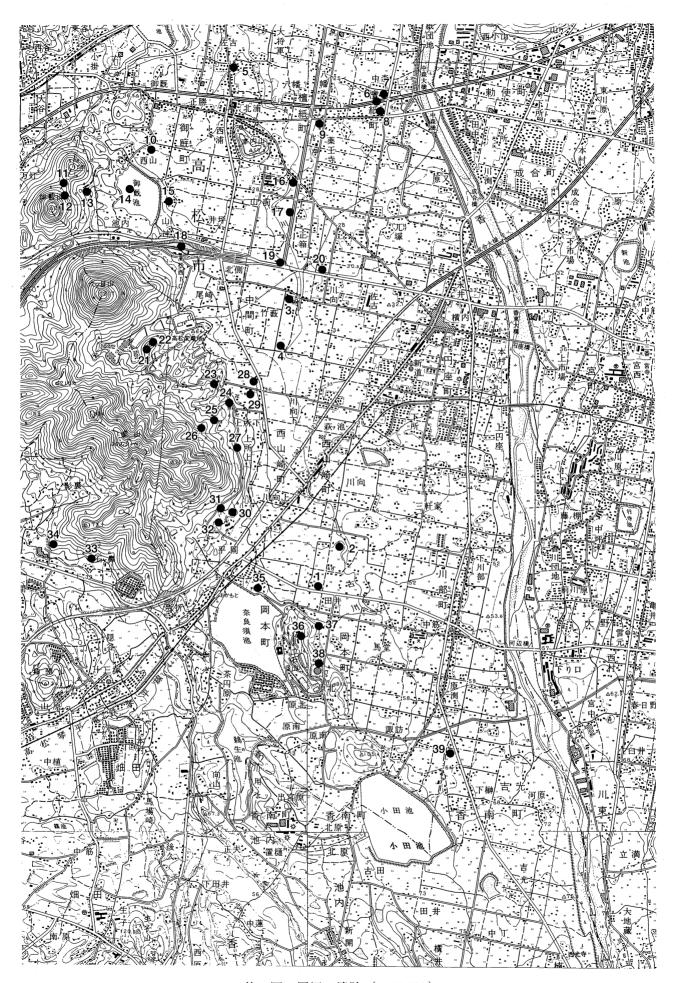
中間西井坪遺跡の南方には、条里型地割の中に幅11~12mの東西方向の余剰帯が遺存しており、古代の官道である南海道に比定されている。平成14年度の川原遺跡の調査では幅3mの溝が平行して2条検出しており、南海道の一部と考えられる。

#### 中世

中間西井坪遺跡では14世紀代に入って現状地割と同じ主軸方位をもつ集落が検出される。また、薬王寺遺跡においても条里型地割と同じ方位の集落が検出されており、この時期には周辺一帯に条里型地割が広く施行されたと考えられる。

#### 近世

生駒氏が讃岐国に入部し、元和七年第4代藩主生駒高俊が跡を継ぐと、外祖父の藤堂高虎が後見となり、西嶋八兵衛を讃岐国に派遣した。当時旱魃などによる飢饉が頻発しており、安定した農業生産が課題となっていた。西嶋八兵衛は灌漑用水を確保し農業生産を安定させるため、満濃池の築堤工事、三谷三郎池の修築をはじめ、龍満池、小田池、神内池の築造、香東川の流路の付け替え・固定の工事など数々の土木工事を行った。そのうち、小田池は岡本町の南方、台地上に築造された。三方を堤防で囲まれた典型的な皿池で、香東川の二ノ井堰から水を引いていた。生駒氏の改易、松平氏の入部後も香東川を水源とした奈良須池の築造があり、古来水源の不足などで安定せず、狭い範囲での灌漑しかできなかったこの地域が、ようやく広範囲の灌漑が可能となった。



第2図 周辺の遺跡(1/30,000)

1	川岡遺跡I区	11	加藍山東麓古墳	21	矢塚南古墳	31	本堯寺北2号墳
2	川岡遺跡Ⅱ区	12	うたい塚古墳	22	矢塚北古墳	32	本堯寺西古墳
3	川原遺跡	13	山王神社古墳	23	西山崎1号墳	33	福家古墳
4	本郷遺跡	14	御厩池遺跡	24	西山崎2号墳	34	石ヶ鼻古墳
5	御厩大塚古墳	15	三つ塚古墳	25	西山崎 3 号墳	35	奈良須池古墳
6	中森遺跡	16	薬王寺遺跡	26	西山崎 4 号墳	36	立石神社古墳
7	中森1号墳	17	正箱遺跡	27	西山崎古墳群	37	金毘羅社遺跡
8	中森2号墳	18	中間西井坪遺跡	28	馬塚古墳	38	岡本配水池北遺跡
9	八幡遺跡	19	中間東井坪遺跡	29	犬のくそ塚	39	若宮神社古墳
10	御厩天神社古墳	20	兀塚遺跡	30	本堯寺北1号墳		

#### (参考文献)

川岡郷土誌編集委員会編「ふるさと川岡」川岡郷土誌編集委員会 2001.11

- 大久保徹也「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第25冊 中間西井坪遺跡 I 」 香川県教育委員会ほか 1996.11
- 森下 英治「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第28冊 国分寺六ツ目古墳」 香川県教育委員会ほか 1997.8
- 蔵本 晋司「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第32冊 中間西井坪遺跡Ⅱ」 香川県教育委員会ほか 1999.3
- 山下 平重「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第34冊 国分寺六ツ目遺跡」 香川県教育委員会ほか 1999.10
- 廣瀬 常雄「県道山崎御厩線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 正箱・薬王寺遺跡」 香川県教育委員会ほか 1994.3
- 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編「県道関係埋蔵文化財発掘調査概報 平成7年度」 香川県教育委員会ほか 1996.3
- 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編「県道関係埋蔵文化財発掘調査概報 平成8年度」 香川県教育委員会ほか 1997.3
- 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編「県道・河川関係埋蔵文化財発掘調査概報 平成9年度」 香川県教育委員会ほか 1998.3
- 財団法人香川県埋蔵文化財調査センター編「埋蔵文化財発掘調査概報 平成14年度 県道関係埋蔵文化財発掘調査概報 平成14年度」香川県教育委員会ほか 1998.3
- 香川県埋蔵文化財センター編「香川県埋蔵文化財センター年報 平成15年度」 香川県埋蔵文化財センター 2005.1 刊行予定

## 第3章 調査の結果

## 第1節 予備調査の結果

#### 1. 予備調査の概要 (第3図)

本調査に先行して調査対象地10,236㎡について予備調査を実施した。予備調査のトレンチはおおむね現地割りに沿って東西方向もしくは南北方向に水田一筆ごとに設定し、遺構・遺物の状況などにより適宜トレンチを増やした。

予備調査の結果、対象地内は南部と北東部に微高地があり、微高地に挟まれて南東から北西へ低湿地帯があったことが判明した。低湿地帯では粘土層の下部または粘土層を切って旧河道と考えられる砂層の堆積がみられ、古川の氾濫原となっていた。南側の微高地をA区、微高地に挟まれた低湿地をB区、最も北側の微高地をC区として、予備調査の概要を記述する。

#### A区 (1~13・35~38トレンチ) (第4・6図)

南部の微高地上で設定したトレンチである。おおむね耕作土の直下でベースを検出した。遺構面の標高は48.5~46.3mで耕作土の下部に厚さ10cm前後の床土・シルト層などの挟み、ベースを検出している。ベースは最も南の1トレンチは灰黄色砂層、その他は黄褐色シルト層で、地盤はやや軟弱である。1トレンチで小ピット、5・7・38トレンチで溝を検出したが、それより北側では遺構は検出できなかった。1トレンチのピットは埋土よりいずれも近世以降のものと考えられる。5・7・38トレンチの溝はほとんどが北西から南東方向へ向くもので、条里型地割が施工される以前の地形に制約された溝と考えられるが、出土遺物に乏しく時期の特定はできない。溝の埋土は砂層が中心である。このなかで5トレンチの東端部では現地割と同じ方向の溝を2条検出した。5トレンチの東側は条里型地割の坪界線に相当し、それに関係する溝の可能性がある。

#### B区 (16~21S1・27~34トレンチ) (第6図)

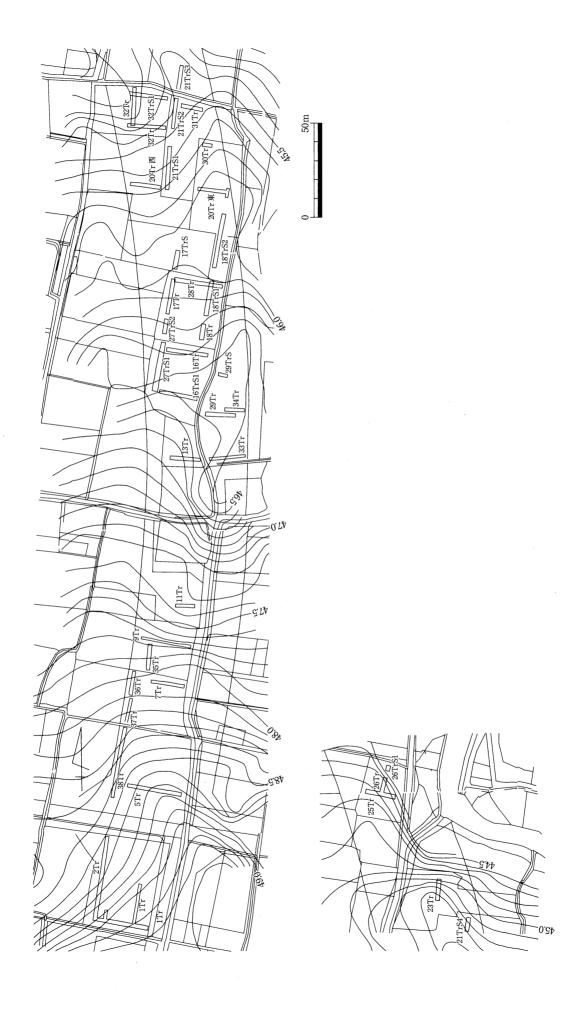
おおむね古川の氾濫原に位置する地点で設定したトレンチである。対象地の中央部付近のトレンチでは耕作土の下部に厚い粘土・シルト・砂層などの堆積が見られ、ベースまで掘り切ることのできなかったトレンチもあった。この部分は旧河道、低湿地帯部分であったと考えられる。粘土層は有機物をあまり含まない色の薄い色調で、須恵器小片などが出土しているが、時期を示したものとは断じ切れない。21S1トレンチでは縄文土器とともにサヌカイト剥片が多量に出土した。遺構は、低地の縁辺部、耕作土直下でベースを検出した地点で近世以降の溝状遺構を検出しただけであった。

#### **C区**(20東・21S2~4・23・25・26トレンチ)(第5・6図)

いずれも耕作土直下でベースを検出しており、現地表面からも浅い。25・26トレンチ付近、低湿地帯の落ち際で旧河道の落ちこみを検出しただけで、遺構密度はきわめて希薄である。落ちこみからの出土遺物からいずれも弥生時代後期後半と考えられる。

#### 2. 予備調査の出土遺物 (第7~14図、図版13・14)

1は13トレンチ出土遺物。耕作土・床土の下部の一部にみられた灰色粘土層から出土した遺物である。灰色粘土層は浅い落ち込み状で明確な遺構ではないようである。土師質土器甕。内外面とも板ナデを施し、底部外面は円弧状のハケ、のち中央部付近を1方向のハケを施す。内面には糞尿痕などはみられない。近世以降と思われる。2は17トレンチ出土遺物。南部最下層の古川の氾濫原と考えられる砂層から出土した。弥生土器壷。口縁端部をやや拡張させ、凹線1条を巡らせる。刻み目が一部に残る可能性があるが、摩滅が著し



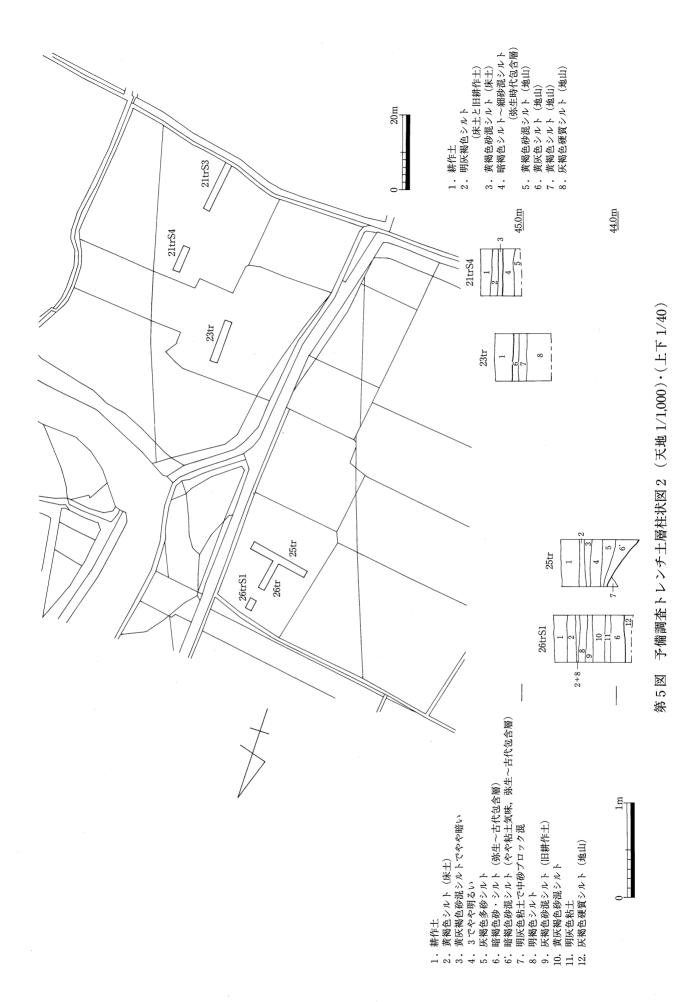
トレンチ 番 号	地区	規模(長さ ×幅):m	土層堆積状況	遺構	遺物	遺構面の 標高:m	備考
1	A	30.1×1.8	耕作土・床土の直下で灰黄色砂のベースがみられた。溝状遺構・ピット状遺構を検出した。	ピット, 溝状遺構	東海系陶器椀	48.5	遺構は埋土から近 世と考えられる。
5	A	29.8×1.8	耕作土・床土の直下で遺構面に達する。溝状遺構 を検出した。	溝状遺構	なし	48.3	東側が条里型地割 の坪界線に相当。 溝は坪界線に当た る溝。一部本調査
7	A	18.2×1.7	耕作土・床土直下で淡黄褐色シルト層のベースに 達する。	溝状遺構	なし	47.7	
9	A	26.8×1.6	耕作土・床土の下部に厚さ10cm程度の灰褐色シルト層が堆積し,その下部で淡黄褐色シルト層のベースに達する。	なし	なし	47.4	
11	A	15.0 × 1.7	耕作土・床土の下部で淡黄灰色シルト層のベースがある。	なし	近世陶器	46.9	
13	A	16.1×1.8	耕作土・床土の下部で黄灰褐色硬質シルト層のベ ースが見られる。	なし	土師質土器甕	46.3	
16	В	22.5×1.8	東側約10mは耕作土・床土の下部に厚さ40~50cm のシルト層が堆積する。それより西では耕作土・ 床土直下は明灰色シルト層のベースである。	溝状遺構	土師器, 須恵 器	46	遺構は埋土から近 世と考えられる。
16S1	В	20.2×2.0	東側約25mは耕作土・床土の下部に厚さ30cm程度 のシルト層が堆積する。それより西では耕作土直 下に黄褐色硬質シルト層のベースがある。	溝状遺構	須恵器杯	45.9	遺構は埋土から近 世と考えられる。
17	В	19.0 × 2.1	北から約9mまでは耕作土・床土の下部に黄灰褐 色砂混シルトのベースがある。それより南では緩 やかな落ちがあり、シルト層や粘土層が堆積する。	溝状遺構	弥生土器 焙烙	45.7	南半部は湿地帯。 溝は埋土から近世 と考えられる。
17S	В	9.9 × 1.9	耕作土の下部は黄灰褐色シルト層を挟み黄褐色~ 灰褐色硬質シルト層のベースである。	なし	なし	45.6	
18	В	8.6×2.1	耕作土・床土の下部は厚さ35cm程度の粘土層が堆積し明灰色,明赤灰色シルト層のベースへ達する。	なし	土師器?	45.3	湿地帯
18S1	В	18.7×2.0	耕作土・床土の下部は厚さ35~40cmの粘土層の堆 積があり、その下部に黄灰色砂礫のベースがある。	なし	須恵器杯	45.7	湿地帯
18S2	В	29.3×1.9	耕作土・床土の下部に厚さ25cm程度の灰色・黄褐 色粘土層が堆積し、南部ではその下部に黄色粘土・ 黄灰色細砂・黄灰色砂礫のベースがある。北部で は粘土層の下部で遺構を検出した。	溝状遺構	土師器甕, 須 恵器杯, サヌ カイト片	45.7	遺構を検出した北 半部は本調査
20東	В	14.9×1.8	耕作土・床土の下部で黄灰色シルトのベースがある。トレンチの西部では旧流路の砂層の堆積がベースの下部でみられた。	溝状遺構	弥生土器, サ ヌカイト	45.6	本調査
20西	В	16.3×1.8	耕作土・床土の下部で厚さ50cm程度の,近世以降の耕作土と考えられるシルト層が堆積し,その下部で溝状遺構あるいは旧流路を検出した。ベースは灰褐色シルト層で,不安定な地盤である。	溝状遺構	なし	44.9	旧河道
21S1	В	23.4×2.0	耕作土・床土の下部で弥生土器を含む包含層を検出し、その下部で旧河道である灰褐色砂層を検出した。この層からは縄文時代晩期の土器とサヌカイト剥片が出土している。トレンチの北側では急速にベースが上がり耕作土直下に地山が検出できる。	なし	縄文土器,サヌカイト	44.8以下	サヌカイト集中部 あり。本調査
21S2	С	15.8×1.9	耕作土・床土の下部で黄褐色シルト層の地山を検 出した。	なし	サヌカイト	45.3	
21S3	С	17.1×2.0	耕作土・床土の下部で厚さ10cmの弥生土器包含層があり、その下部で黄褐色シルト層の地山を検出した。	なし	なし	45.2	
21S4	С	7.6×2.0	耕作土・床土の下部で厚さ10cmの弥生土器包含層があり、その下部で黄褐色シルト層の地山を検出した。	なし	なし	45.2	
23	С	12.2×2.0	耕作土の直下で黄灰色シルトのベースを検出した。	なし	なし	45.1	
25	С	17.9 × 2.1	東部では耕作土の直下で黄灰色硬質シルトのベースが見られる。西半部では粘土・シルト・砂層による旧流路の堆積が見られる。	旧河道の 落ち込み	なし	44.4	旧河道

第2表 予備調査トレンチ一覧(1)

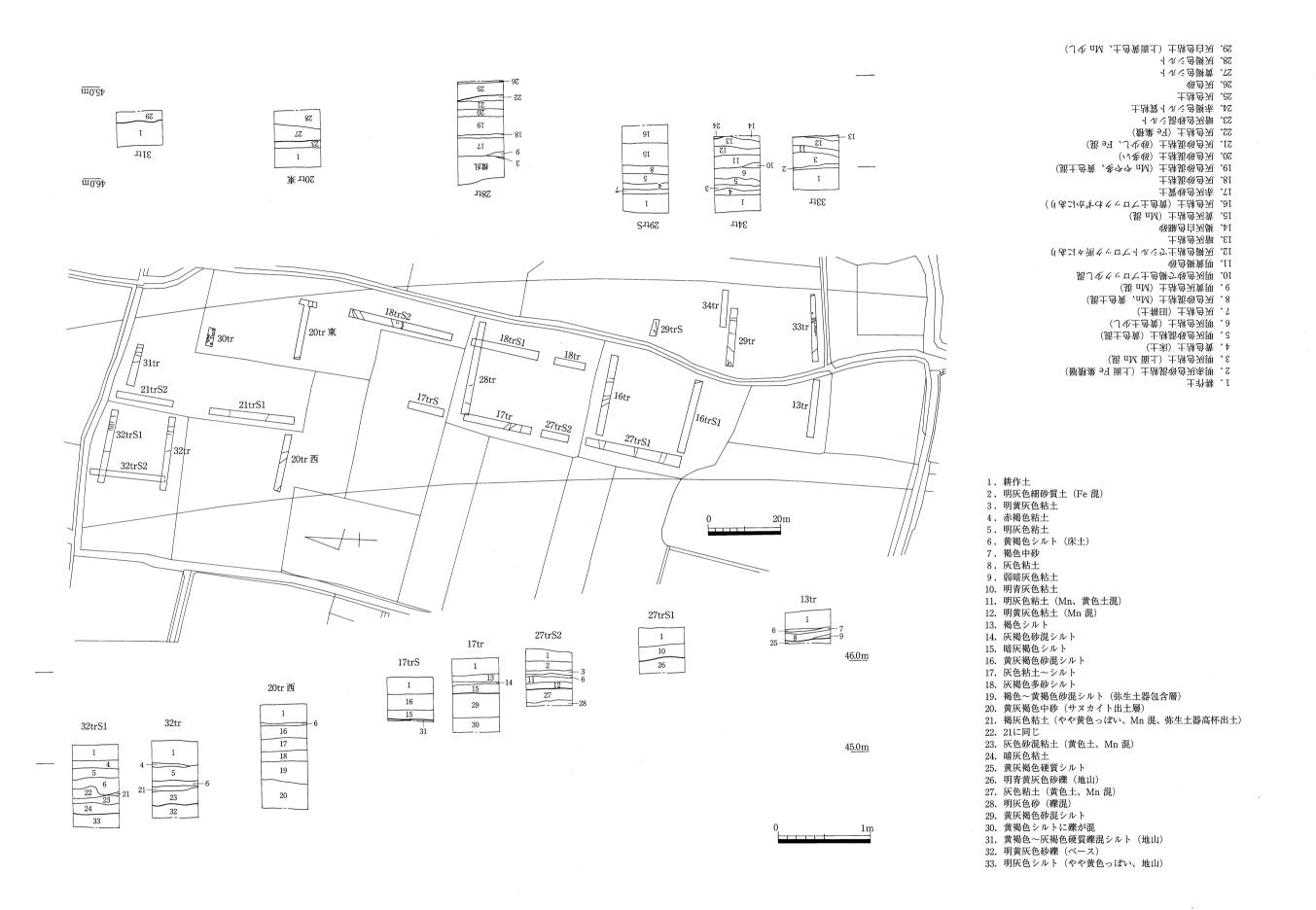
トレンチ 番 号	地 区	規模(長さ ×幅):m	土層堆積状況	遺構	遺物	遺構面の 標高:m	備考
26	С	10.7 × 2.0	ほぼ全般にわたって耕作土の下部でシルト・砂層の旧流路の堆積を確認した。旧河道の最下部からは弥生土器が出土している。トレンチの北端では条里型地割の坪界線に相当する可能性のある落ち込みが旧流路の堆積を切ってあるが、埋土から近世以降と考えられる。	溝状遺構	弥生土器	44.0	旧河道、 坪界線に 関係する可能性の ある溝
27S1	A~B	26.8 × 2.5	南端付近では耕作土直下で明青灰色粘土のベースが見られたが、徐々にベースとの間に黄灰色粘土層などが厚く堆積を始め、北側7m程度からは旧河道の堆積が認められる。	溝状遺構	なし	46.1	北半部は旧河道
27S2	В	8.2 × 2.0	耕作土・床土の下部に厚さ約10cmの粘土層が堆積 し、その下部で黄灰色砂礫のベースがある。北側 約4mでは粘土層の下部に粘土層・砂層の旧河道 の堆積が見られ、下部からは土師器片が出土した。	なし	須恵器皿、甕	45.8	湿地帯
28	В	25.8 × 2.1	耕作土・床土の下部で明灰色・灰色粘土層などの 堆積層が約50cmみられ、その下部にベースがある。 東部では粘土層が約80cmまで達し、ベースを検出 することはできなかった。トレンチの西側3~7 mでは旧河道と思われる砂層の堆積が見られた。	溝状遺構	陶器灯明皿	45.3	湿地带、旧河道
29	В	16.0×2.2	耕作土の下部に灰色・黄灰色・褐灰色粘土層が最 大50cmにわたってほぼ水平に堆積していた。	溝状遺構	土師器甕,須 恵器杯・甕、 焙烙	45.8	湿地帯
30	С	5.0 × 1.9	耕作土直下で溝状遺構を3条検出した。ベースは 黄灰色粘土、黄色粘土である。	溝状遺構	サヌカイト	45.7	本調査
31	С	11.6×2.1	耕作土の下部に厚さ10cm程度の灰色粘土があり、 灰白色粘土に達する。	溝状遺構	サヌカイト、 東海系陶器椀	45.3	
32	B~C	20.4×2.0	東半部では耕作土の直下に明黄灰色砂礫のベースがある。トレンチ中央付近から落ちが始まり、西半部では厚さ30~40cmの粘土の水平堆積がみられる。ベースは明灰色砂混粘土である。	溝状遺構	弥生土器、須 恵器、陶磁器	45.0/ 44.5以下	西半部は湿地帯
32S1	B∼C	20.3×1.9	32トレンチとほぼ同じ	溝状遺構	磁器	45.0/ 44.5以下	西半部は湿地帯
32S2	В	20.6×1.9	耕作土・床土の下部に厚さ50cm程度の粘土層が堆積し、その下部に青灰色粘土が堆積する。トレンチ中央付近では粘土層の下部に旧流路と考えられる砂層がみられる。	なし	磁器	44.1	湿地帯
33	В	19.4×1.8	トレンチ西端付近では耕作土直下にベースがみられるが、ベースは徐々に東へ傾斜し、それにつれて、耕土や粘土層が徐々に厚くなる。ベースは黄灰色シルトである。	溝状遺構	須恵器蓋(7 世紀初頭)、サ ヌカイト	45.8	古川に近いトレン チ。川に向かって 傾斜。
34	В	10.3×1.7	耕作土の下部に粘土層・砂層・シルト層の水平堆 積が約50cmみられる。古川の旧氾濫原	なし	サヌカイト	45.8	湿地带
35	A	14.0×1.9	耕作土・床土の直下に明黄灰色シルト、黄灰色砂 礫のベースが見られる。	なし	刷毛目唐津椀	47.05	
36	A	12.9×1.6	耕作土・床土の下部に粘土層・シルト層の堆積が 約35cm見られる。	なし	須恵器(7世 紀初頭)	47.35	
37	A	13.8×1.7	耕作土・床土の下部で厚さ10cmの黄灰色粘土層 (客土か)があり、黄灰色粘土(礫混)のベース に達する。	なし	なし	47.7	
38	A	38.5 × 1.8	耕作土・床土の下部に厚さ約10cm程度の黄灰色 粘土層が堆積し明灰褐色粘土層(ベースが土壌 化)に達する。溝状遺構を4条検出した。	溝状遺構	近世瓦、陶磁 器	48.3	溝が南東から北西 方向へ5条。うち 3条は砂層が主体。

第3表 予備調査トレンチ一覧(2)

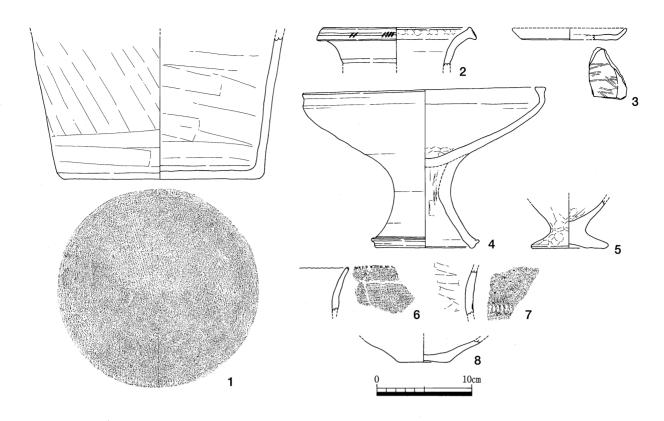
第4図 予備調査トレンチ土層柱状図1 (天地1/1,000)・(上下1/40)



— 12 —



第6図 予備調査トレンチ土層柱状図3 (天地 1/1,000)・(上下 1/40)



第7図 予備調査出土土器(1/4)

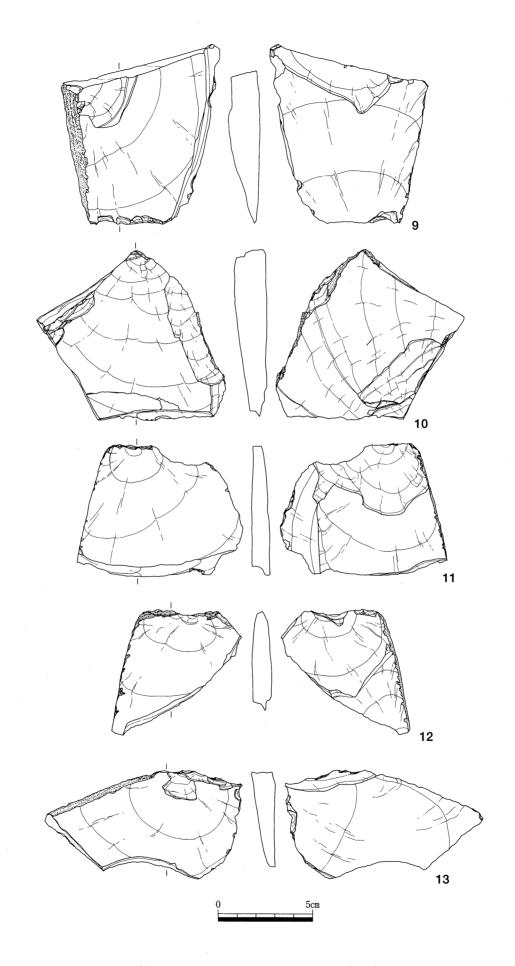
く定かではない。弥生時代中期後半。摩滅を受けているので、紛れ込みの可能性もある。3は27S2トレンチ出土遺物。須恵器皿。ベースと床土の間の灰色粘土層から出土した。内外面に火襷がかかる。9世紀前半頃。4は32トレンチ出土遺物。下部の灰色粘土層から出土したものである。弥生土器高杯。脚部下端に沈線が1条巡る。弥生時代中期後半。5は20トレンチ東から出土した遺物。弥生土器鉢底部。底部は脚部状に作り出す。弥生時代後期後半。6~8は21S1トレンチ出土遺物。6・7は縄文土器深鉢。6は口縁端部に刻み目を施し体部は貝殻条痕により調整する。7は体部片。体部中ほどに左向きの爪形文を施し、そこから上部はナデで調整する。8は底部。いずれも縄文時代晩期後半。

9~55は21S1トレンチ出土石器。集中して出土した遺物で、一括性が高いと考えられる。9~19は加工痕のある剥片。上部に打点を残すものが多く、敲打痕の見られるものもある。20は素材となる剥片と考えられる。21は楔形石器。上・下部に敲打痕を残す。22~27はスクレイパー。22・25・26は下端部にわずかに刃を作りだす簡単なもの。23は上部と側縁部に敲打痕がある。24は片面に磨滅痕がある。28~34は加工痕のある剥片のうち小さいもの。いずれも3~4 cmのもので、縁辺部に1~数箇所に刃を作り出す。石鏃などの小型品を作ろうとしたものか。35~38はその他剥片。39~45は加工痕のある剥片。40・41・44は下部に刃を作る。45は下部に磨滅痕がある。46~55は使用痕のある剥片。

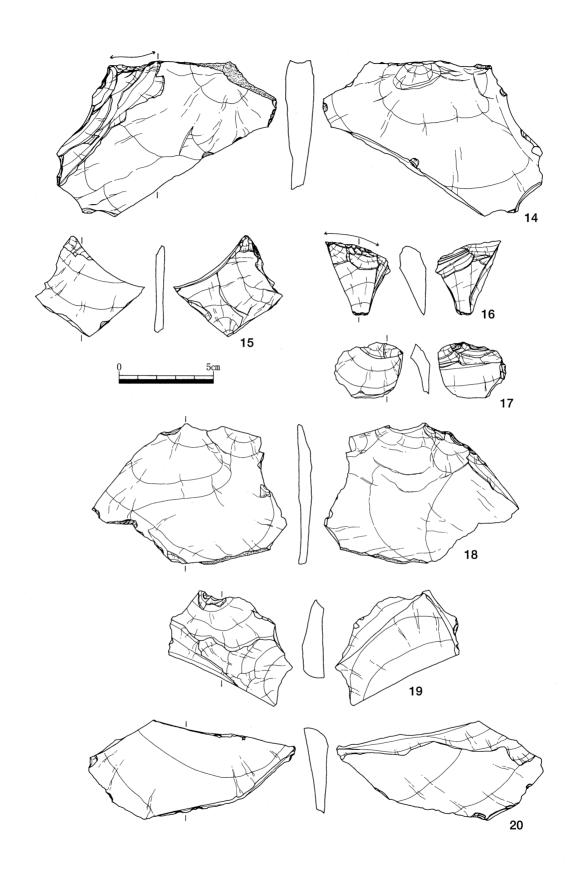
21S1トレンチから出土したサヌカイト群は、重機によるトレンチ掘削中に出土したもので、明確に遺構などからの出土として取り上げられたものではないので、すべてのサヌカイトを採取し得たかどうかは明らかではないが、少なくとも取り上げたものの中には簡単なスクレイパー以外には製品となるものはなく、大きな剥片が目立つ。後述するII区SR01・02では石鏃やサヌカイト小剥片が多く、様相が異なる。

#### 3. ま と め

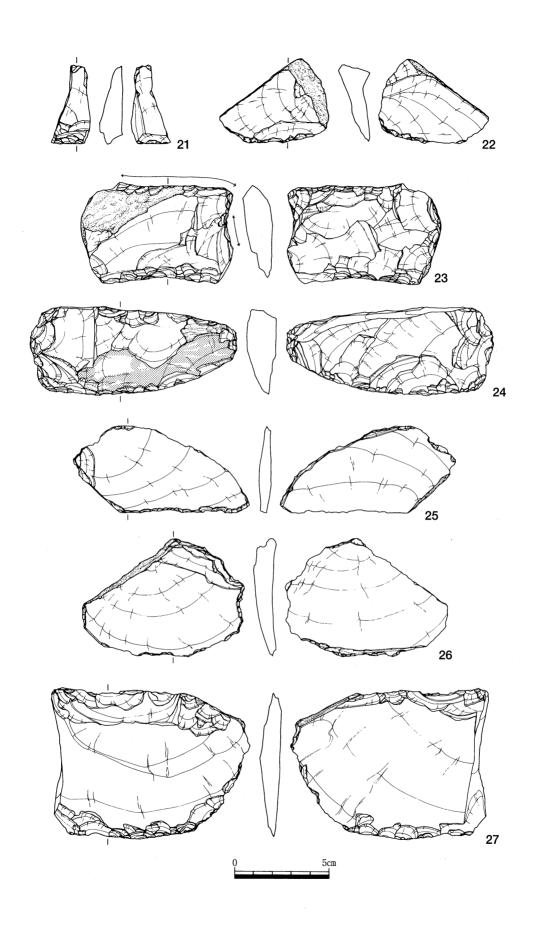
以上の予備調査の結果から、条里型地割の坪界線に相当する溝を検出した $\mathbf{5}$ トレンチを含む225㎡、サヌカイト剥片が集中して出土した $\mathbf{21S1}$ トレンチおよび弥生時代後期の溝を検出した $\mathbf{18S2}$ ・ $\mathbf{20東}$ トレンチを含む2.729㎡を本調査対象地とし、前者を  $\mathbf{I}$  区、後者を  $\mathbf{I}$  区とした。



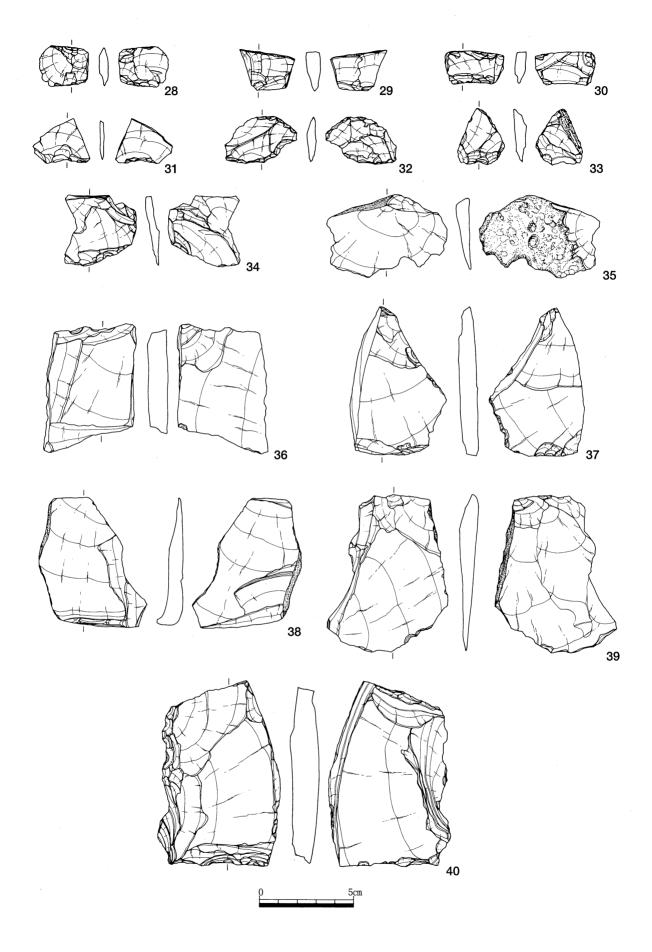
第8図 21S1トレンチ出土石器1 (1/2)



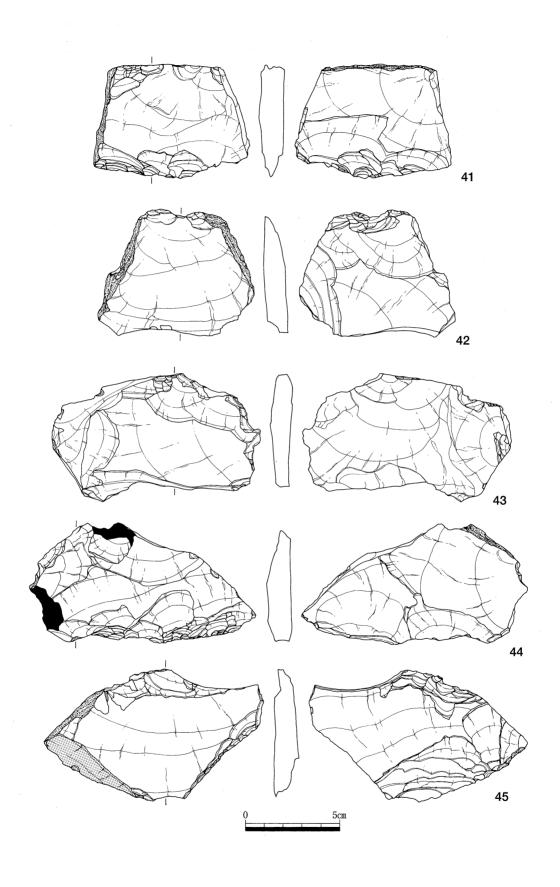
第9図 21S1トレンチ出土石器2 (1/2)



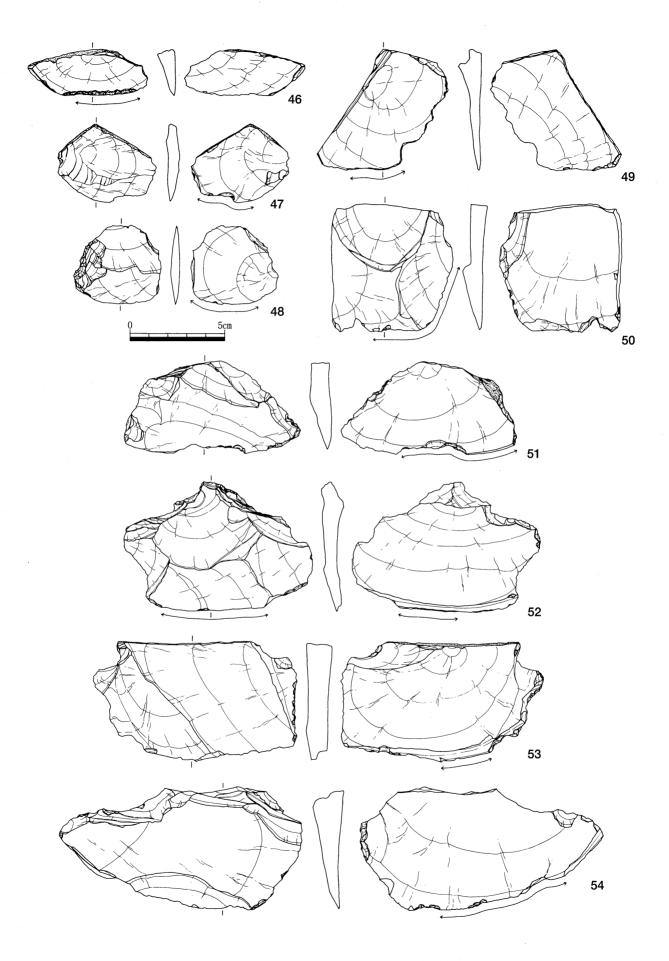
第10図 21S1トレンチ出土石器 3 (1/2)



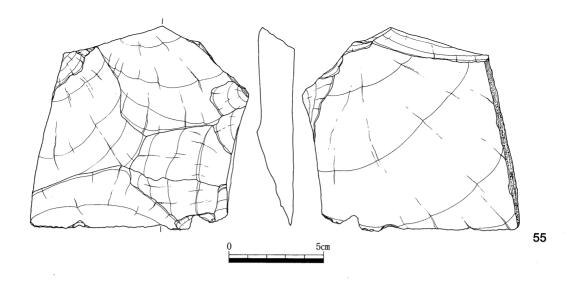
第11図 21S1トレンチ出土石器 4 (1/2)



第12図 21S1トレンチ出土石器 5 (1/2)



第13図 21S1トレンチ出土石器 6 (1/2)



第14図 21S1トレンチ出土石器7 (1/2)

## 第2節 土層序

#### 1. I区の土層

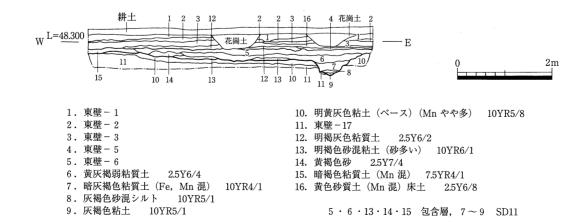
I区は全般に南から北へ緩く傾斜し、北ほど包含層の堆積が徐々に厚くなる。土層については北壁と東壁を掲載した。

#### ①東壁土層(第17図)

ベースは南から北方向へ緩く傾斜している。調査区南側では厚さ35cm程度の耕作土の直下に黄褐色粘土・明黄灰色粘土のベースが広がるが、調査区中央部付近から北側では明灰色砂質土、黄色粘質土など造成土と思われる土層が薄く認められる。中央部やや北寄りからは褐灰色・灰褐色砂混粘質土(黄色度混)の包含層が徐々に堆積を始め、調査区北端では10cm程度になる。ベースは調査区南部と同じく黄色粘土である。遺構は土坑は包含層の上面から、溝は包含層の下部から掘り込まれる。

#### ②北壁土層(第15図、図版4)

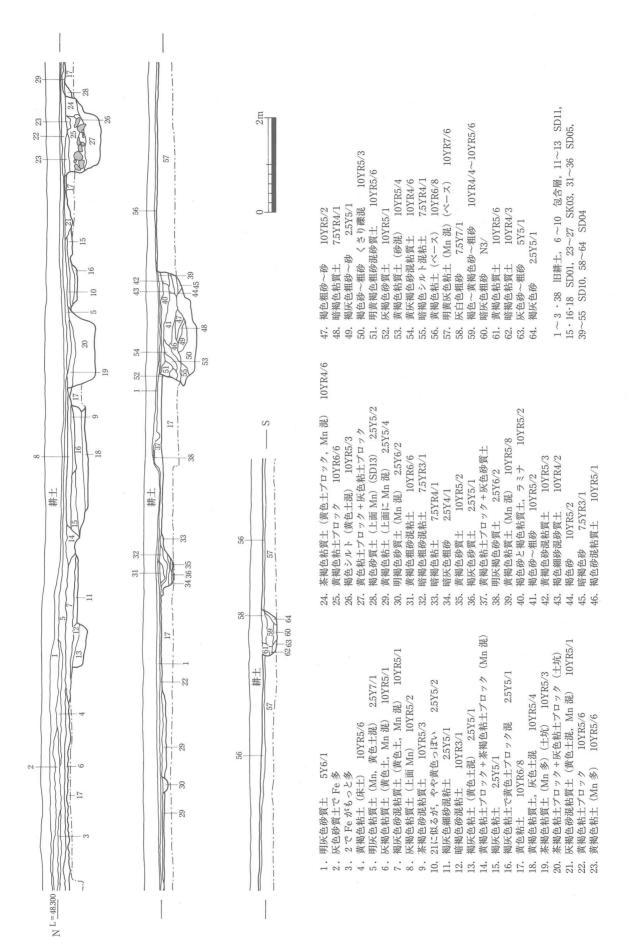
ベースは緩やかに西から東へ傾斜する。耕作土・床土の下部には、明灰色粘質土、灰褐色粘質土が堆積し、 その下部に灰褐色砂混粘質土の13世紀代の包含層が溝の上面を覆う。ベースは明黄灰色粘土、その下部は黄 色粘土である。



第15図 I 区北壁断面図(1/80)



第16図 調査区割図及び土層図位置図 (1/1,000)



#### 2. I区の土層

Ⅱ区は調査区の北壁、南壁、西壁、東壁と調査区中央部分の東西方向の土層断面を作成した。

#### ③北壁土層 (第18図)

Ⅲ区②北壁土層である。厚さ15~20cmの耕作土の下部に厚さ10cm程度の明黄褐色砂質土・黄褐色粘土層の床土があり、その下部に黄灰色粘土層のベースが広がる。遺構面のレベルはおおむね45.45mである。

#### ④南壁土層 (第19図)

Ⅱ区③・④南壁で作成した土層断面図である。全面に北東から南西方向へ向く低湿地帯の堆積が認められる。Ⅲ区③部分の東半部では粘土を主体とする埋土で、Ⅲ区③の中央部付近でいったん落ち込みが上がるが、そこから西側では最下部に暗灰色粘土層、その上部には砂質土層が堆積する落ち込みの堆積が見られ、Ⅲ区④では厚さ30~40cmの耕作土・床土直下で厚さ30~40cmにわたって洪水砂の堆積が見られる。

#### ⑤東壁土層(第20図)

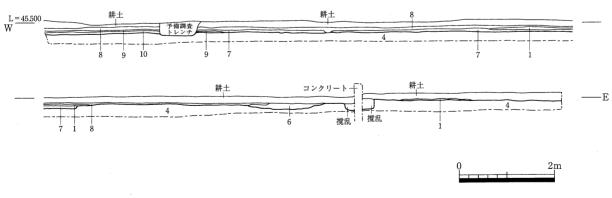
Ⅱ区①・③の東壁で作成した土層断面である。遺構面はおおむね45.50mで、傾斜はほとんど認められないが、Ⅱ区③部分の大部分は低湿地帯の断面が観察できる。Ⅱ区①部分では厚さ20cm程度の耕作土・床土の下部にベースが広がる。ベースは北端部、中央部付近では黄色粘土であるが、Ⅱ区①のSD07断面が壁面に現れるより北側部分ではベースの色調は褐色・灰色・暗褐色などを呈し、土質もやや粘性を欠くもの、砂混などがあり、若干ベースが不安定であった様子がみえる。

Ⅲ区③部分では、北端部付近では耕作土・床土の下部に黄褐色粘土層のベースが広がるが、北から4m付近から耕作土が厚くなり、土層断面に低湿地帯の堆積が認められる。低湿地帯の肩付近は黄灰色・灰色・暗褐色砂粘質土層や褐色・黄褐色シルト層で、南端付近ではそれらに切られる黄灰色・灰色・暗灰褐色粘土層が堆積する。調査区南端ではベースの黄色粘土層が認められるが、低湿地の中央付近ではベースまで検出していない。

#### **⑥西壁土層** (第21図・図版 4)

Ⅱ区②・④の西壁土層で作成した土層断面図である。Ⅱ区④部分では、南壁で約30~40cm堆積していた砂層が北へ向かうほど薄くなり、北端では約20cmとなる。それに対し、砂層の下部に黒色粘土層が厚く堆積するようになる。

Ⅱ区②では厚さ30cm程度の耕作土・床土の直下で黄褐色粘質土・砂混粘質土、灰褐色砂混粘質土・褐灰色 細砂混粘土の堆積が認められる。これらの層からはいずれも縄文時代晩期の土器が出土しており、予備調査

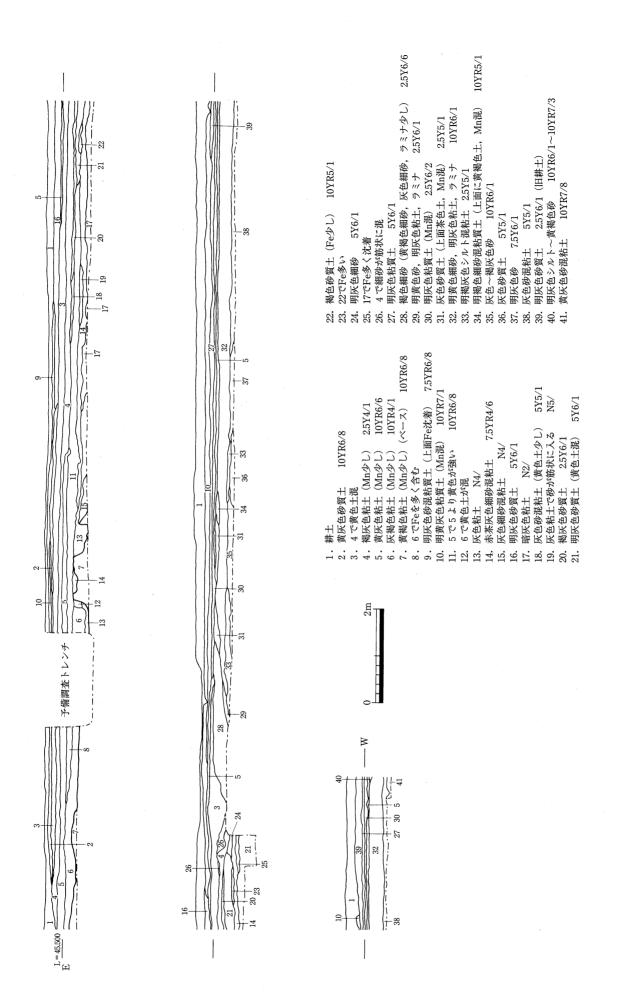


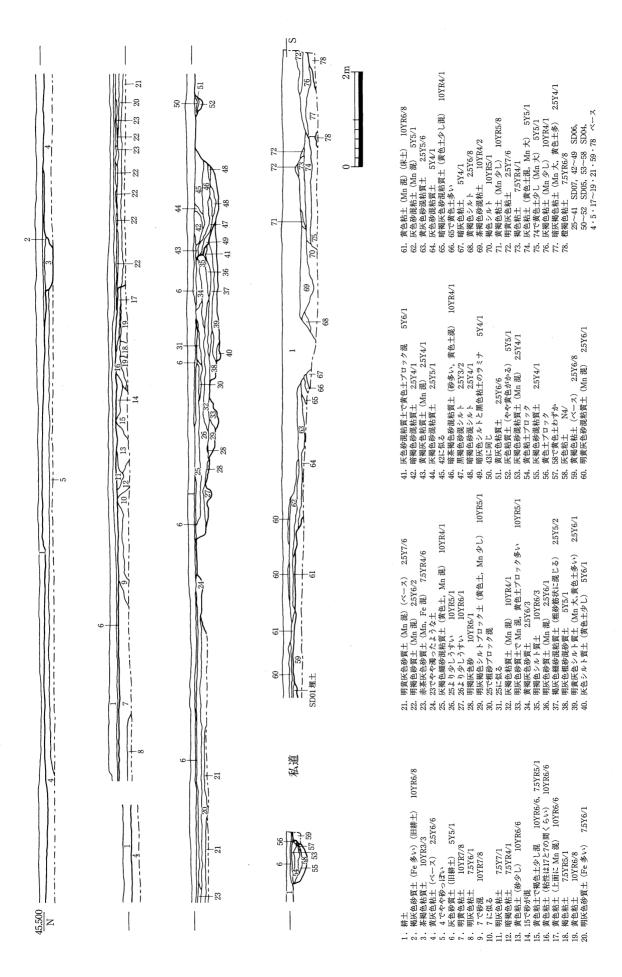
- 1. 耕土
- 2. 褐灰色砂質土 (Fe 多い) (旧耕土)
- 3. 茶褐色粘質土 10YR3/3
- 4. 黄灰色粘土 (ベース) 2.5Y6/6
- 5. 4でやや砂っぽい

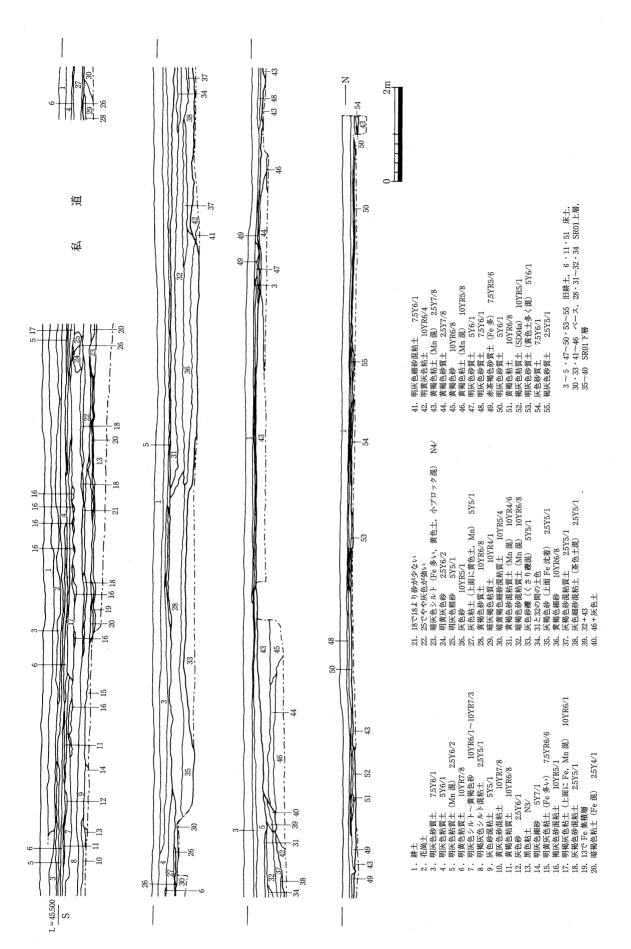
- 6. 明黄褐色砂質土 (旧耕土) 10YR7/2
- 7. 褐灰色砂質土(Fe 混)(旧耕土) 2.5Y6/1
- 8. 明灰色砂質土(旧耕土) N5/
- 9. 黄褐色粘土 10YR6/8
- 10. 黄色粘土 (Mn 混) 10YR6/8

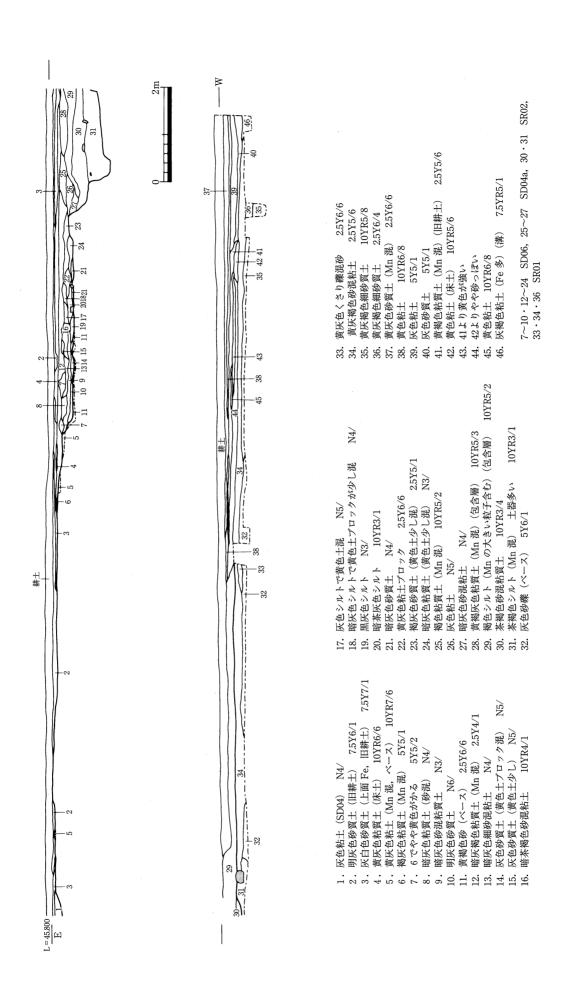
第18図 Ⅱ区北壁断面図(1/80)

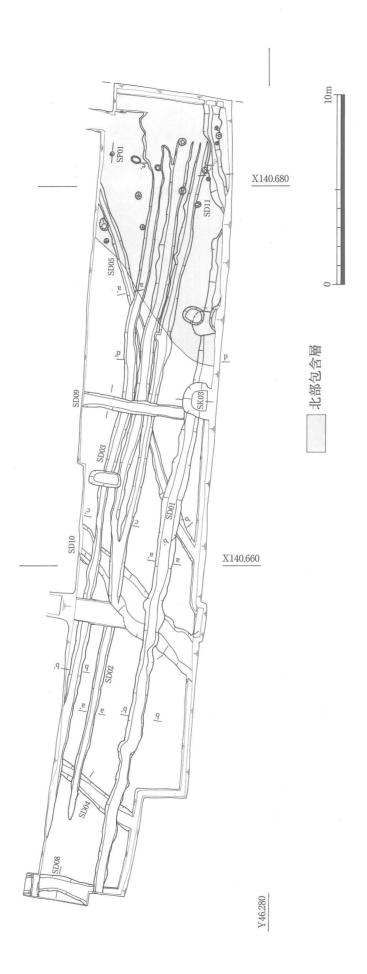
10YR6/8











Y46.260

の際にサヌカイト剥片が多く出土したのもこの層と考えられる。この落ち込みは南から3m付近から約18mにわたって検出した。この落ち込みより北側では微高地上にあたり、耕作土の直下でベースを検出した。

### ⑦中央部東西土層 (第22図・図版4)

Ⅱ区①・②南壁土層で作成した土層断面図である。Ⅱ区①東部は厚さ15cm程度の耕作土直下のベースである黄灰色粘土層を検出したが、Ⅱ区①西端部からⅢ区②へかけて黄褐灰色粘質土・褐色シルト層の堆積が厚さ10~40cmにわたって認められる。この層の堆積はⅢ区①と②の境付近、この落ち込みが始まった付近で最も深く、西へ行くほど浅くなる。落ち込み部分のベースは灰色砂礫である。耕作土・床土は西側ほど厚く、Ⅲ区②西半部では厚さ60cmにも及ぶ。

# 第3節 遺構・遺物

#### **1. I区の調査**(第23図)

I区は条里型地割の景観をよく残す地域である。比較的安定した土地で、南半部では耕作土直下に黄褐色粘土、明黄灰色粘土のベースが広がる。検出した遺構は溝が大部分でピット、土坑を数基ずつ検出した。溝は条里型地割と同方向のものと北西 – 南東方向のものがあり、切り合い関係より後者が古い。前者は条里型地割施工後の、後者は施工前の溝と考えられ、地形の制約を受けたものと考えられる。調査区北半部、SD09付近から徐々におおむね灰褐色粘質土の包含層が堆積を始め、調査区北端では浅い落ち込み状を呈する。溝はその包含層に覆われる。北部にはピットが数穴見られるが、掘立柱建物を復元するには至らない。いずれも溝より新しいと考えられる。土坑は円形や楕円形のものを数基検出している。いずれも溝を切るもので、埋土から近世〜現代のものと考えられる。

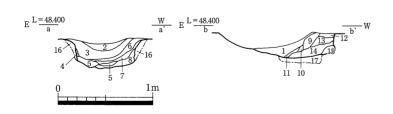
#### **SD01** (第24·25図、図版 5)

I区東部を南北方向に通る溝である。検出長約36mで、南・東で調査区外へ出る。溝の底は北側へ傾斜する。幅88cm、深さ30cm、断面形状は南半部ではボウル状、北部では逆台形である。溝の方向はおおむね周辺条里型地割に沿う。この溝はSD04・05・08・10を切る。SD09・11との前後関係は不明である。この溝は条里型地割の坪界線に相当する。埋土中からは須恵器杯口縁が出土した。

56は須恵器杯。8~9世紀頃か。

# SD02(第25図、図版 5)

I区中央部付近を南北方向に通る溝である。南端部では途切れ、中央部付近で二又に分かれる。北端部



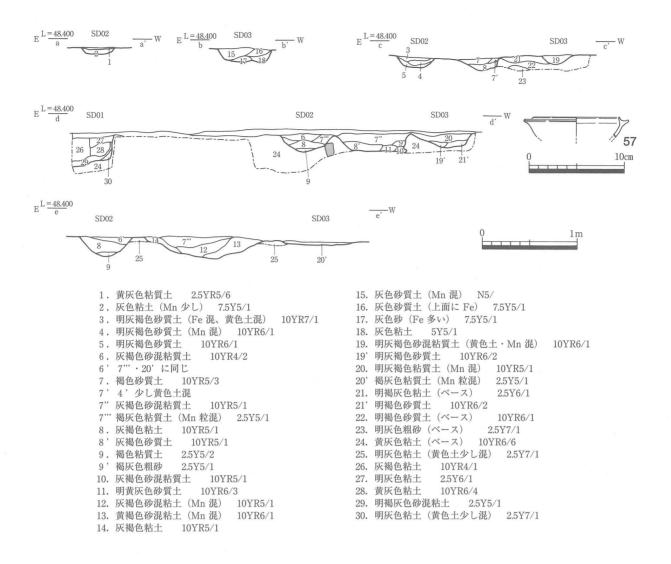


- 1. 黄色粘土 (床土) 10YR6/8
- 2. 明灰褐色砂質土(Fe 多い) 10YR7/1
- 3. 明灰色粘土 5Y6/1
- 4. 灰白色粘土 5Y7/1
- 5. 明褐灰色粘土 2.5Y6/1
- 6. 明褐色砂質土 10YR6/1
- 7. 6'6より砂が細かい
- 8. 灰色砂
- 9. 灰色砂質土 N5/
- 10. 1のブロック
- 11. 灰色粘土 N5/
- 12. 灰色砂質土 (Mn 少し) 5Y5/1

N6/

- 13. 茶褐色粘質土 (Mn 混) 10YR4/1
- 14. 灰色シルト質粘土 2.5Y5/1
- 15. 褐灰色砂混粘土 2.5Y5/1
- 16. 黄色粘土 10YR6/6 (ベース)
- 17. 明灰色砂 N6/ (ベース)

第24図 I区SD01断面図(1/40)、出土遺物(1/4)



#### 第25回 I区SD01·02·03断面図(1/40)、出土遺物(1/4)



第26図 I区SD04断面図 (1/40)、出土遺物 (1/4)

では包含層の落ち込みと一体化する。溝の底のレベルは北へ傾斜する。幅は南部で40cm、北部で180cm、深さ10~20cm、断面形状は半円状である。SD01とほぼ平行に流れ、SD01の約1.5m東側に位置する。この溝はSD04・05・10・11を切り、SD09に切られる。埋土中からは須恵器杯身が出土したが、溝の時期を反映するものではないであろう。SD01とともに畦道状の遺構を形成していた可能性もある。溝の時期はSD01と同じ頃と考えられる。

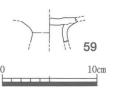
**57**は須恵器杯身。退化した返りが付き、残存部分では回転ナデで仕上げる。7世紀初頭頃。紛れ込みと考えられる。

# SD03 (第25図、図版5)

I区西部を南北方向に通る溝である。西で調査区外へ延び、南で包含層の落ち込みと一体となる。SD02 の西約50cmの位置をSD02と平行に走る。幅30~65cm、深さ10~18cm、断面形状は半円状である。この溝はSD04・05・10・11を切り、SD09に切られる。SD02とは切り合い関係にない。埋土中からは土師器、須恵



- 1. 黑褐色砂混粘質土 10YR2/1
- 2. 暗茶褐色粘質土 7.5YR3/1 暗茶褐色粘質土
- (黄色土ブロック、礫混) 10YR4/1
- 3. 暗灰褐色粘質土 10YR4/1
- 4. 暗褐色粘土 10YR3/1
- 5. 灰色粗砂 7.5Y4/1 (ベース)
- 6. 黄色粘土 10YR5/8



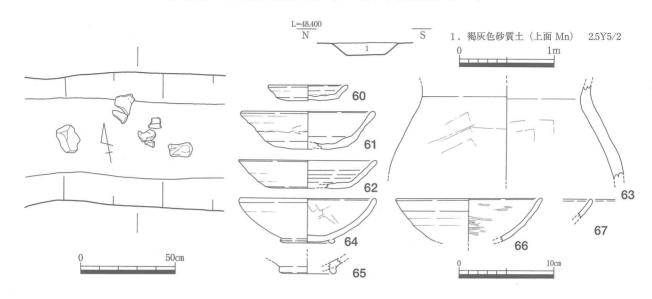
25Y5/1

2.5Y5/3

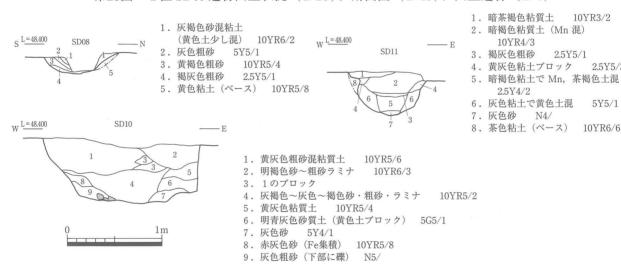
5Y5/1

10YR6/6

第27図 I区SD05断面図(1/40)、出土遺物(1/4)



I区SD09遺物出土状況(1/20)、断面図(1/40)、出土遺物(1/4)



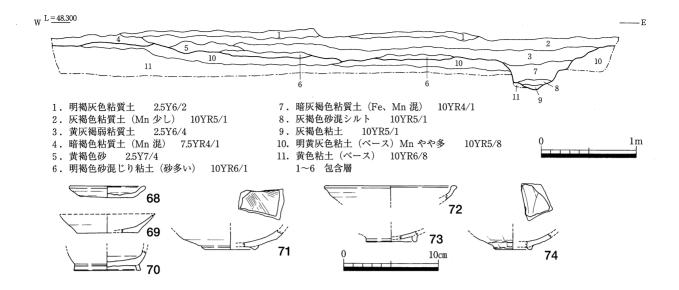
I区SD08·10·11断面図(1/40)

器の小片が出土した。溝の時期はSD01・02と同じ頃と考えられる。溝の方向性や埋土からSD01~03はお おむね同時期に機能していたと考えられる。

## SD04 (第26図、図版5)

I区南部を北西-南東方向に通る溝である。幅70cm、深さ30cm、断面形状はボウル状である。この溝は SD01・02・03に切られる。埋土中からは弥生土器小片が出土した。埋土は砂層で占められ、流れに勢いが あったことがわかる。この溝は予備調査5トレンチおよび38トレンチで検出した溝へつながると考えられ る。条里制施工以前の溝で、地形の制約を受けた溝と考えられる。

58は弥生土器甕。内外面とも板ナデをする。弥生時代後期。



第30図 I区北部包含層断面図(1/40)、出土遺物(1/4)

#### SD05 (第27図、図版 5)

I区中央部から北で検出した溝である。幅38cm、深さ22cm、断面形状は逆台形で、溝の方向は南南東から北北西を向く。この溝は**SD01・02・03**に切られる。埋土中からは土師器高杯が出土した。溝の時期は6世紀末頃と考えられる。

**59**は土師器高杯。脚部と杯部の接合部付近。接合部には接着しやすいように円弧状の刻みが施されていた。6世紀末頃。

#### SD08 (第29回、図版5)

I区南端で検出した東西方向の溝である。東と西は調査区外へ延びる。検出部分ではやや北側へ弓なりになっているが、おおむね東西方向を指す。幅80cm、深さ24cm、断面形状は半円形である。埋土の下半部は褐色粗砂層で、ある程度の流れがあったことが想定できる。予備調査38トレンチで最も南側で検出した溝へつながる可能性が高い。この溝はSD01・03に切られる。埋土中からは摩滅した須恵器片が出土した。

#### SD09 (第28図、図版 5、15)

I区中央部付近で検出した東西方向の溝である。幅70cm、深さ13cm、断面形状は浅い皿状、埋土は褐灰色砂質土である。この溝はSD02・03を切る。埋土中で溝と重複しない部分から土師質土器杯D、小皿、須恵器椀などが出土した。溝の時期は出土遺物から12世紀後半~13世紀前半と考えられる。

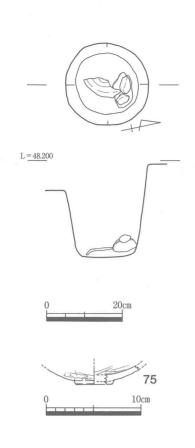
60~62は土師質土器。60は小皿。底部は回転ヘラ切りによる。61・62は杯D。61は体部に粘土の継ぎ目痕跡を残す。62は轆轤目を顕著に残す。63は弥生土器壷。混入か。64~67は須恵器椀。いずれも西村産。64は内面に板ナデ痕、66は内面にヘラ磨き痕を残す。64・66・67は口縁端部に重ね焼き痕跡を残す。

#### SD10 (第29図)

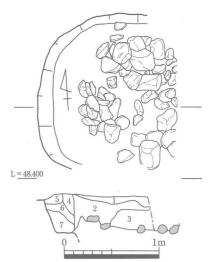
I区南部で検出した溝である。北西 - 南東方向でSD04とほぼ平行である。幅1.66m、深さ60cm、断面形状は逆台形である。埋土は砂層を主体とするもので、予備調査38トレンチで検出したもっとも北側の溝へつながると考えられる。SD04・10と同様の性格を持つ溝であろう。この溝はSD01~03に切られる。埋土中からは弥生土器甕小片やサヌカイト片が出土した。

#### SD11 (第29図、図版5)

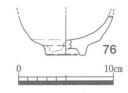
I 区東南端付近で検出した溝である。検出範囲は狭いが、北西 - 南東方向の溝と考えられる。幅95cm、深さ46cm、断面形状はボウル状である。埋土中からの出土遺物はなかった。



第31図 I区SP01平・断面図 (1/10)、 出土遺物 (1/4)



- 1. 黄褐色粘土 (Mn 混) 7.5YR7/8
- 2. 明灰色粘土 (黄褐色粘土ブロック少し) 5Y6/1
- 3. 黄褐色粘土ブロック 7.5YR6/8
- 4. 3で2の土が混
- 5. 黄茶褐色粘土ブロック 10YR6/4
- 6. 黄褐色粘土ブロック 10YR8/8
- 7. 明灰色粘土ブロック (黄褐色土混) 10YR6/8



第32図 I区SK03平・断面図 (1/40)、 出土遺物 (1/4)

# 北部包含層 (第30図、図版15)

I 区北半部で堆積する包含層である。北端部では浅い落ち込み状を呈する。埋土は黄灰褐色弱粘質土で、厚さ約13cmを測る。**SD02~04**の上面に堆積する。時期は出土遺物より13世紀中~後半と考えられる。

**68~71**は包含層掘り下げ中に出土した遺物である。**68・69**は土師質土器。**68**は小皿。**69**は杯 D。底部はいずれもヘラ切りによる。**70・71**は須恵器。**70**は杯 B。底部にはしっかりした高台がつく。**71**は椀。西村産。内面に板ナデ痕跡が見える。

72は上面精査中に出土した土器である。須恵器。口縁端部を平らにする。鉢。73は南壁壁切り中に出土した土器である。土師質土器椀底部。74は西壁壁切り中に出土した土器である。須恵器椀。内面には放射状に板ナデを施す。西村産。13世紀前半~中頃。

# SP01 (第31図、図版5)

I 区北西端で検出したピットである。直径22cm、深さ24cmで埋土は明黄灰色砂混粘土である。埋土中からは須恵器椀が出土した。このピットは北端部に広がる包含層の上面から切り込む。ピットの時期は13世紀後半と考えられる。

75は須恵器椀。高台径は小さい。内外面に板ナデ痕跡が見える。西村産。13世紀後半。

## SK03 (第32図)

I区東部中央やや北寄りで検出した隅丸方形の土坑である。東部一部は調査区外へ延びる。1辺1.7m、深さ70cm、断面形状は逆台形である。埋土は上層が黄褐色粘土ブロック、中位には10cm大の川原石が乱雑に置かれ、下層は黄色粘土ブロック+灰色粘土ブロックである。いずれも掘削されてすぐに埋め戻されたようである。遺構の時期は出土遺物より16世紀代と考えられる。

76は陶器椀。肥前系。外面は高台付近まで灰釉を施釉する。貫入が顕著に見られる。

#### 2. I区の調査

#### ①縄文時代晩期

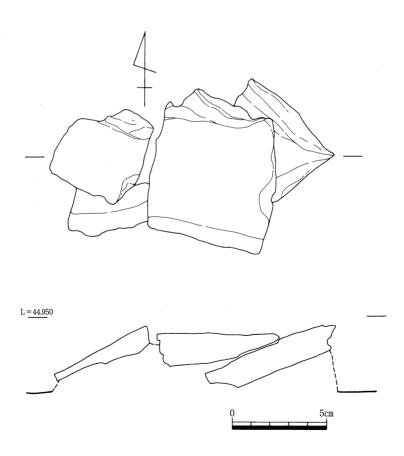
# 集石遺構 (第33・35図、図版6・15・16)

Ⅱ区②南西部、SR01除去後に検出した。SR01埋土除去中にSR01のベースとした灰色くさり礫混砂層の上面でサヌカイト剥片集中部として検出したが、掘り方は検出できなかった。検出した範囲は9cm×15cm程度で、4片のサヌカイト片が重なって出土した。4片のうち3片が折れ面で接合した。予備調査の際に集石遺構の約3m西側で設定した21S1トレンチの南部の灰褐色中〜粗砂からは機械掘削中に多量のサヌカイト剥片が出土した。この層は遺構のレベルや土層からSR01のベースとした層と同一と考えられ、周辺にはサヌカイト集石遺構があったと考えられる。ただし、調査範囲内には同様の遺構は他には存在しなかった。

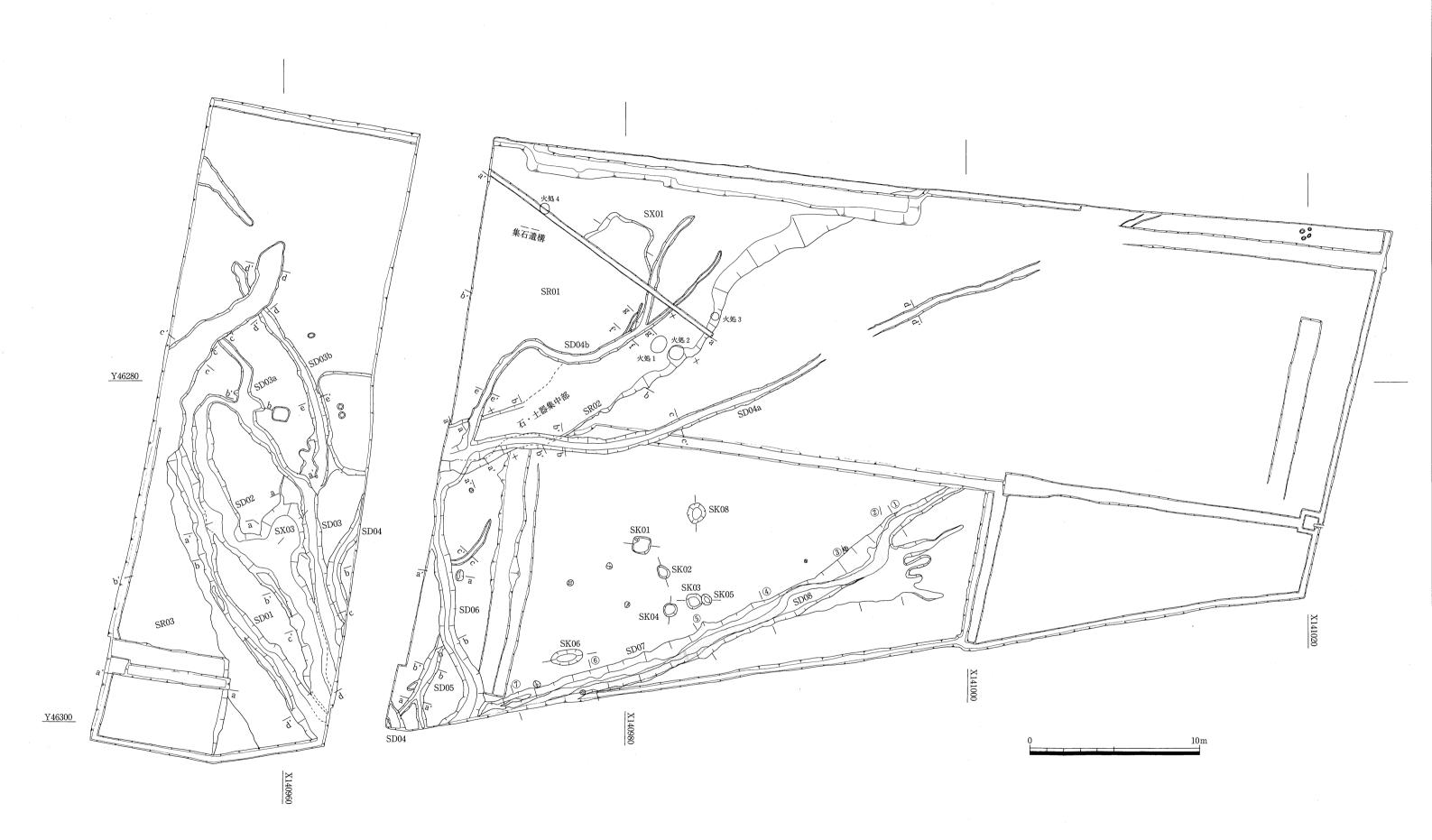
77~80はサヌカイト板状剥片。このうち77~79までが折れ面で接合した。77~79が分割される前は、背面は図の左下から、裏面は図の左下から叩いて剥片を取り、その後背面右下部、裏面上部、左下部、右下部で剥片を取る。背面上部の剥片は、板状剥片が折れる前に取られたことがわかるが、残りは不明である。縁辺部にはわずかに加工が施される。80は集石遺構のなかで唯一接合できなかった資料である。石材も異なるようである。

### SK06 (第36図、図版16)

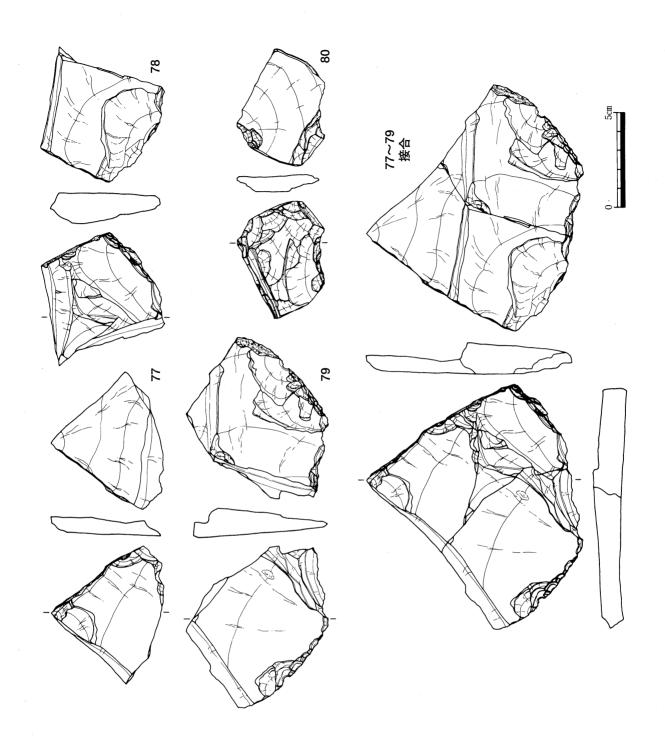
Ⅱ区①東南部で検出した土坑である。長楕円形で長径2.0m、短径1.1m、深さ55cm、埋土はおもに明褐色砂質土(Mn多い)である。断面形状は底部にやや凹凸がある。埋土中からは縄文土器と思われる土器小片が小袋に満杯出土した。



第33図 Ⅱ区集石遺構平・断面図 (1/2)



第34図 Ⅱ区遺構配置図 (1/200)

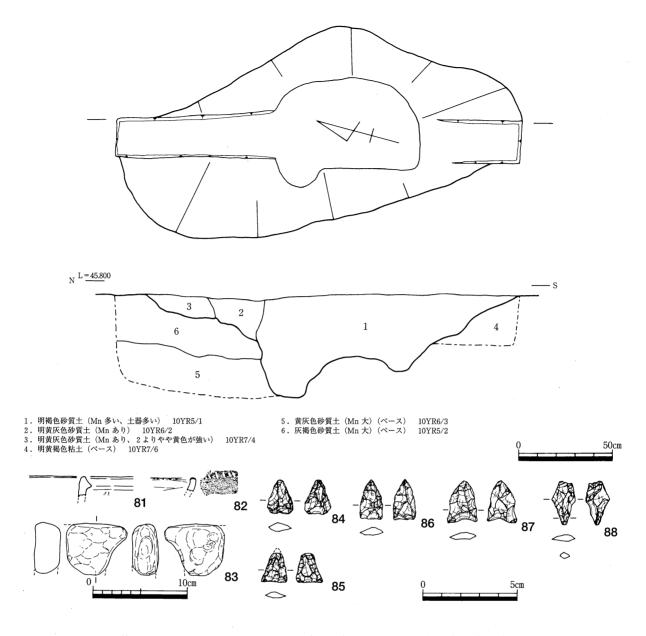


第35図 Ⅱ区集石遺構出土遺物 (1/2)

81・82は縄文土器。81は深鉢。口縁端部直下に突帯を巡らせ、その下部にヘラ描きで縦〜斜め方向の文様を入れる。82は浅鉢。口縁端部に刻み目を施す。ともに縄文時代晩期後半。83は不明土製品。摩滅が著しい。84~88はサヌカイト製石器。84~87は石鏃。84~86は平基式。87は凹基式。88は石錘未製品か。端部折損。

# **火処1** (第37図、図版17)

Ⅲ区②南東部、SR01の縁辺で検出した焼土塊集中部である。近接して同様の焼土塊集中部をさらに3ヶ所検出した。検出範囲は1.05m×0.9mの楕円形、検出レベルはおおむねSR01上層掘り下げ後と同じで、SR02の上面である。遺構の掘り込みはみられず、上面に焼土が広がるのみである。火処と考えられる。

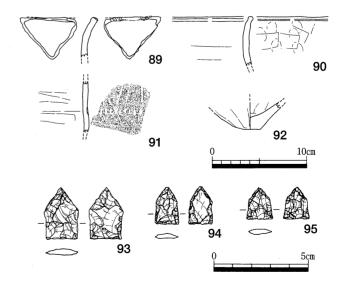


第36図 II区SK06平・断面図 (1/20)、出土遺物 (1/4)・(1/2)

89~92は縄文土器。89~90は深鉢口縁部。89は口縁端部に不等間隔に刻み目を持ち、内面にわずかに段を持つ。波状口縁の可能性がある。内外面ともナデ調整である。90は口縁端部内面にわずかに段を持つ。内外面とも板ナデで調整する。91は体部片。左向きの爪形文を施し、その上部に縦方向のヘラ描き沈線文、下部は調整不明である。内面はナデである。92は深鉢底部。93~95は石鏃。いずれもサヌカイト製。平基式でいずれも側縁中程に角を持つ5角形に近い形状である。

# 火処 2

Ⅱ区②**SR01**の縁辺部、**火処1**の約20㎝北側に 近接して検出した焼土集中部である。1.05m×



第37図 Ⅱ区火処1出土遺物 (1/4)・(1/2)

0.8mの楕円形の範囲で検出した。検出面は火処1と同じで、遺構の掘り込みは見られず上面に焼土が広がるのみである。火処と考えられる。

## 火処 3

Ⅱ区②SR01縁辺部、火処2の約2.5m北西側で検出した焼土集中部である。検出範囲は直径0.45mの円形の範囲で検出面は火処1・2と同じである。遺構の掘り込みはみられない。火処と考えられる。

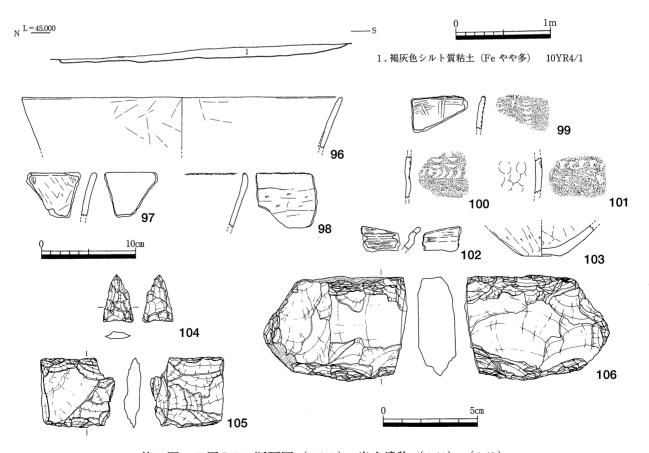
## 火処4 (図版8)

火処2の約11.2m南西方向で検出した焼土集中部である。火処1~3とは少し離れた位置にある。検出範囲はおおむね直径0.4mの円形の範囲で検出面はSR01上層除去後である。遺構の掘り込みは見られない。火処と考えられる。

# **SX01** (第38図、図版6·17)

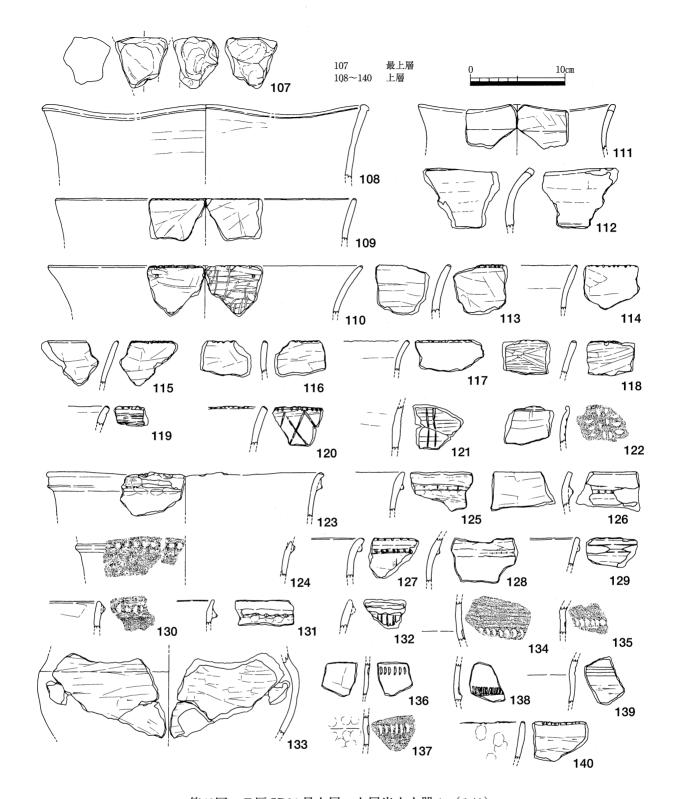
Ⅱ区南西部で検出した浅い落ち込みである。SR01除去後に検出した。直径約3mの楕円形で、深さ10cm、埋土は褐灰色シルト質粘土(Feやや少)、断面形状は浅い皿状である。SR01の一部の可能性もあるが、他の部分より遺物がやや集中して出土しており、別遺構として報告した。

96~103は縄文土器である。96~101は深鉢。96・97は口縁部で、端部に刻み目などを持たないもの。調整は内外面ともナデである。98は口縁部で、端部に刻み目を持つ。外面はヘラ削りをする。99は口縁端部に刻み目を持ち、端部内面にわずかに沈線を持つ。波状口縁のもので、波状のトップ部分で上向きの爪形文+右向きの爪形文+上向きの爪形文の、縦に3列の爪形文が残る。口縁端部の刻み目はトップ部分にのみ施される。内面にはヘラミガキに近いナデが施される。100・101は体部中央付近。ともに横方向の文様帯を残す。100は左向きの爪形文と、その上部に上向きで縦方向2列の爪形文を施す。101は右向きのコの字型の文様を施す。下部はヘラ削りする。102は浅鉢。波状口縁のもの。体部が屈曲する。内外面とも横方向の



第38図 Ⅱ区SX01断面図 (1/40)、出土遺物 (1/4)・(1/2)

第39図 II区SR01断面図 (1/40)



第40図 Ⅱ区SR01最上層·上層出土土器1 (1/4)

ヘラミガキをする。103は深鉢底部。外面はヘラ削りする。104~106は石器。いずれもサヌカイト製。104 は石鏃。平基式。105・106は楔形石器。105は下部に敲打痕が、106は上部に自然面が残る。

### SR01 (第39~45図、図版8·17~21)

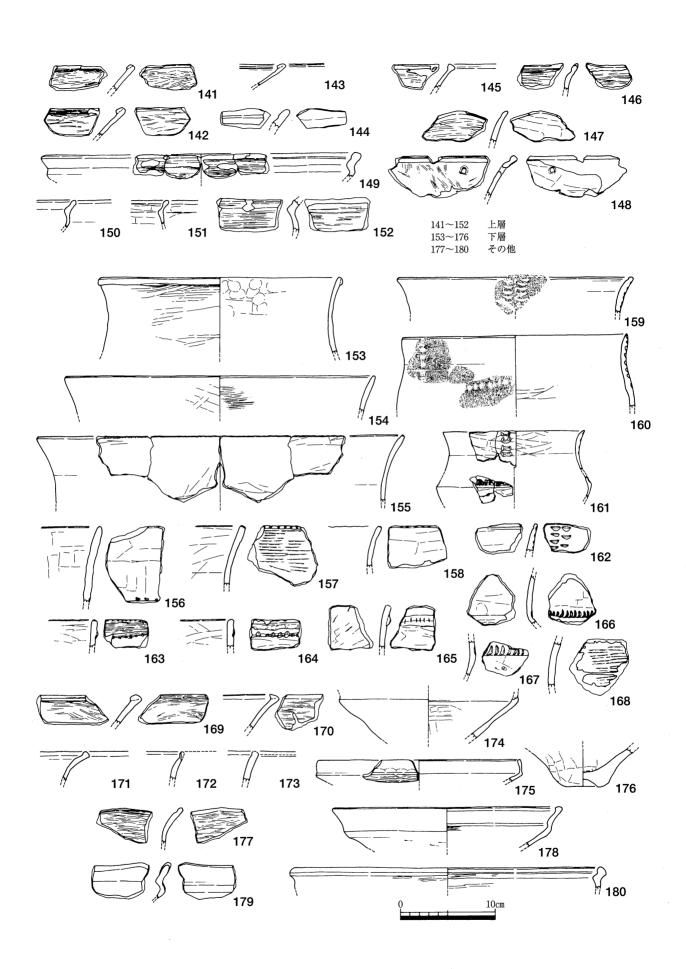
Ⅱ区②南部で検出した低地である。Ⅲ区②を南東から北西方向へ向く落ち込みであるが、Ⅲ区④では北東隅で、Ⅲ区①では南西隅でわずかに検出されているだけで、おおむねその部分で終わる低地状の遺構である。幅14.3m、深さ20~30cm、断面形状は浅い皿状である。埋土は上層が暗褐色、茶褐色粘質土などやや土壌化の見られる土層、下層は灰色砂混じり粘質土・シルト質粘土など、やや砂っぽい灰色の層である。最上層は

やや黄色の強い色調を示す。遺物は上層と下層にわけて取り上げた。

107は最上層・暗黄褐色粘質土から出土した遺物である。不明土製品。摩滅が著しい。108~152は上層から出土した遺物である。大半はSR02の上面あるいはその付近で出土している。108~140は深鉢。108・111・112は口縁部に刻み目を持たないもの。ともに波状口縁で内外面ともナデ調整である。108は口縁端部が若干肥厚する。109~120(111・112を除く)は口縁端部に刻み目を持つもの。109・113~117は内外面をナデで調整する。110は口縁部下に焼成前穿孔が1ヶ所残存する。内面はヘラミガキに近いナデで調整する。118も内外面にヘラミガキに近い光沢のあるナデを施す。119・121は外面を貝殻条痕で調整し、120・121は縦や斜め方向のヘラ描き沈線文を施す。122は口縁端部内面に沈線を施し、外面には上向きと左向き合計縦4列の爪形文を施す。123~132は口縁端部下部に突帯文をもつもの。突帯の断面3角形またはそれに近い台形である。調整はおおむねナデである。123~128・130・131は刻み目突帯である。132は突帯の上面が摩滅しているので刻み目の有無は不明である。123・127は口縁端部にも刻み目を持つ。132は突帯の下部に縦方向のヘラ描き沈線を施す。133~139は体部片。133は体部屈曲部付近から下部が残る。屈曲部に文様は施さない。屈曲部から上部はナデ、下部はヘラ削りする。134~138は屈曲部付近に左向きの爪形文を施す。134は爪形文より上部を貝殻条痕で調整し、他は不明である。爪形文より下部は136はナデ調整、137はヘラ削りが観察できる。139は屈曲部に2条のヘラ描き沈線を施し、その下部はヘラ削りする。140は深鉢または粗製の浅鉢。口縁端部に刻み目を施し、外面はヘラ削りする。

141~152は浅鉢。141~144は体部立ち上がりが緩く、口縁端部を内側に折り曲げて玉縁状にする。141・142には内外面にヘラミガキ痕跡がある。144は波状口縁になる。145~147は口縁部の立ち上がりが急なものである。145・147・148は内面のみヘラミガキ、146は両面をヘラミガキする。いずれも口縁端部は肥厚する。146・147は波状口縁、148は体部1ヶ所に焼成前穿孔による穿孔が残る。149・150は口縁部と体部の境が屈曲し、さらに体部に屈曲部を持つものである。口縁端部は若干肥厚する。151・152は口縁部と体部の境に屈曲部を持ち、体部は丸くするもの。151は口縁端部を若干肥厚させる。調整のわかるものは内外面ともヘラミガキする。

153~176は下層から出土した土器である。ほとんどは SR01ab 断面間、SD04b の南側で出土した。153 ~168は深鉢。153・154・156は口縁端部に刻み目を持たない。153は口縁端部を肥厚させる。155・157・ 158は口縁端部に刻み目を施す。153・157は体部外面上部を貝殻条痕で調整し、他はナデまたは板ナデで ある。156は体部中央付近に刺突文を巡らせる。159~162は口縁部から体部にかけて縦方向の爪形文を施 すもの。調整はいずれもナデによる。159は縦2列の上向きの爪形文の間に刺突文を縦1列に配する。口縁 端部内面に沈線を1条巡らせる。**160**は半円形の上向きの爪形文を縦1列に施し、体部中程の緩い屈曲部に 左向きの半円形の爪形文を巡らせる。161はやや小型のもの。上向きのコの字型の刺突文を縦1列に配し、 体部屈曲部に左向きの刺突文を巡らせる。口縁部と体部は直接接合はしないが、胎土や形態・調整上の特徴 から同一個体であることは確実である。162は上向きの爪形文を2列に配する。口縁端部内側に沈線を巡ら せる。波状口縁である可能性がある。163~165は貼付突帯を巡らせるもの。調整はいずれもナデであるが、 163の貼付突帯の上面にはヘラミガキが施される。163は口縁端部に刻み目を持つ。163・164は貼付突帯下 部に円形の刺突を、165は貼付突帯に刻み目を施す。166~168は体部。166・167は体部中位付近の屈曲部 付近。いずれも左向きの爪形文を持つ。166の爪形文より上部はナデ、167の爪形文より下部にはヘラケズ リが観察できる。168は体部上半部。貝殻条痕が観察できる。169~175は浅鉢。169は口縁端部を内側へ曲 げて肥厚させる。内外面はヘラミガキする。170は169同様口縁端部を内側へ折り曲げて肥厚させるが、 169より深い器形になる。外面にヘラミガキが観察できる。内面の調整は不明。171~173は口縁端部内面 に沈線を巡らせ、体部は湾曲しながら立ち上がる。174は体部下半部。屈曲部が残る。175は口縁部がほぼ



第41図 Ⅱ区SR01 最上層・上層出土土器 2、下層出土土器、その他出土土器 (1/4)

直立し、体部と口縁部の境を屈曲させる。屈曲部付近に緩い沈線が巡る。体部外面にはヘラミガキを施す。 176は深鉢底部。

177~180は出土層位不明遺物。いずれも浅鉢。177は口縁端部内側に沈線を持つ。波状口縁を持ち、内外面にヘラミガキを施す。178は口縁部と体部の境を屈曲させ、口縁端部を若干肥厚させる。弥生土器高杯に似た形態。体部内面はヘラミガキ、外面にはヘラケズリが観察できる。179は体部から屈曲させた口縁部を外反させ、体部はいったん外湾した後内湾させる。口縁端部は厚みを持ち、波状口縁のものである。180は体部と口縁部の境を屈曲させ、短い口縁部を持つ。口縁端部は肥厚させる。内外面ともヘラミガキを施す。181~291は SR01 から出土した石器である。すべてサヌカイト製である。

181~183はSR01上面精査中に出土した遺物である。181・182は石鏃。平基式。183は石錐または石鏃の未製品か。縁辺部のみを加工する。184は最上層から出土した。石鏃。平基式。上部近くで緩い屈曲部を持つ。

185~256は上層からの出土遺物。185~244は石鏃。大半は平基式。225・229・240は凹基式。218は上部のみを加工し、下部は未加工の未製品と考えられる。219は片面に自然面を大きく残す。227・228は上部欠損、241は下部欠損。剥片を取った後、縁辺部のみを加工するものも目立つ(188・193・201・204・216・231・241・244)。232・236も縁辺部の加工が不充分で未製品の可能性もある。石鏃の形状は2等辺三角形のもの、縁辺部中程が抉れるように屈曲するもの(238・239・240)、膨らむように5角形状に屈曲するもの(190・191・209・215)がある。

245~249は石錐の未製品か。245~248は基部はおおむね作り出しているが、上部はほとんど未加工のまま折損している。249は石鏃の未製品の可能性もある。先端部だけ加工し、他はほとんど加工しない。250~255は楔形石器。上・下部に敲打痕を残す。254は裏面に大きく自然面を残す。256はスクレイパー。刃部をわずかに加工するだけである。上部に自然面を残す。

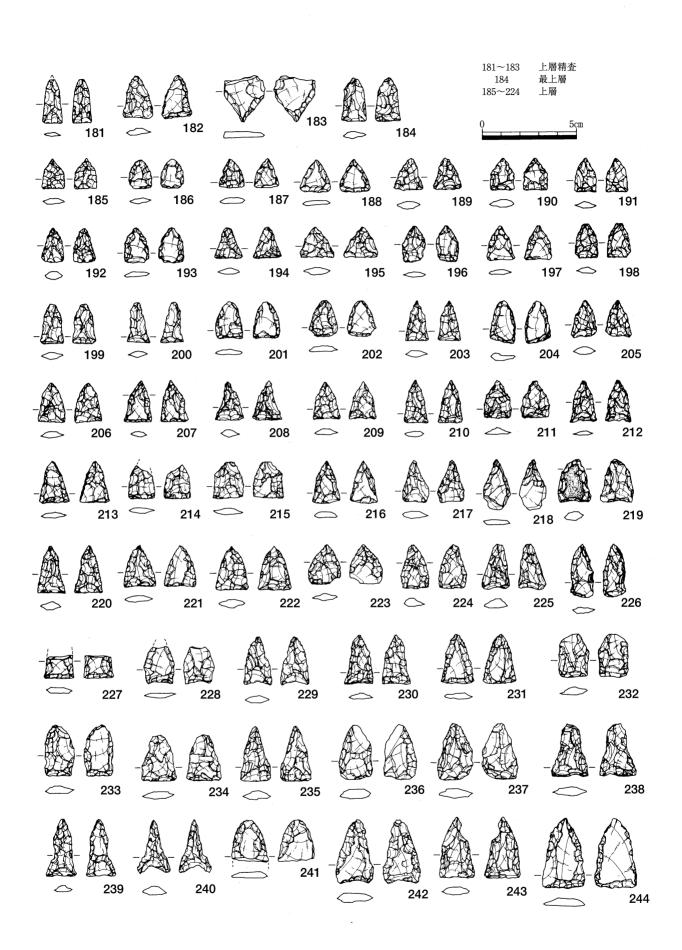
257~281は下層から出土した石器である。257~271は石鏃。265・271は凹基式。その他は平基式である。267・269は基部の加工が不充分で、未製品の可能性もある。258・259・261・267・271は縁辺部以外はほとんど加工していない。272~276は楔形石器。いずれも敲打痕が観察できる。272は片面に、275・276は上面に自然面を残す。277~281はスクレイパー。いずれも広い剥離面を残し、剥片の下部に加工しただけのものである。

282~291は出土層位不明の石器。いずれもサヌカイト製。282~290は石鏃。289は凹基式。残りは平基式である。285は縁辺のみを加工している。286は5角形の形状に近い。290は三角形の1角のみを作り出し、残りは未調整である。未製品。291は楔形石器。上・下部にも敲打痕を残す。

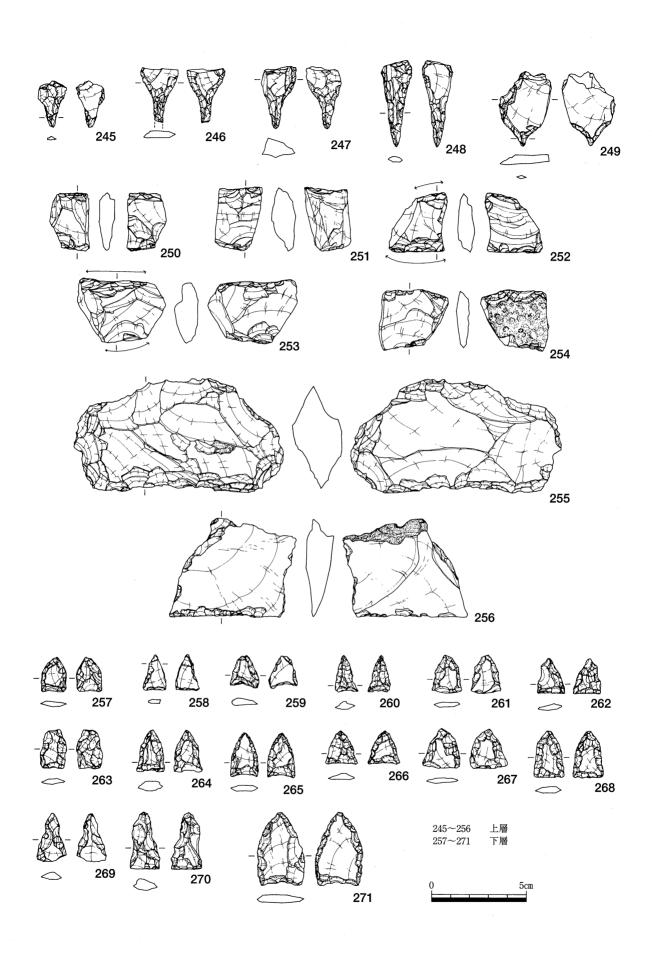
**SR02** (第46~55図、図版7・8、21~25)

Ⅱ区②南部、SR01の北側縁辺で検出した落ち込み状遺構である。SR01上層掘り下げ後に検出した。Ⅲ区②東南部からSR01a-a'トレンチの約1.1m西側まで検出した。幅2.3~2.55m、深さ0.5~0.6m、断面形状は逆台形、埋土は上部が茶褐色砂質土、下部が褐灰色砂質土(茶色土混じり)である。Ⅲ区③・④までは続かない。落ち込みの東南部では直径約3mの範囲の石・土器集中部が2ヶ所に見られた。遺物は石・土器集中部から多く出土したが、礫集中部の北西側からも一定量は出土した。遺物は上層下部(褐灰色砂質土層)と石・土器除去中にわけて掲載しており、上層下部の方がやや上面から出土した遺物であるが、基本的な層位は同じである。

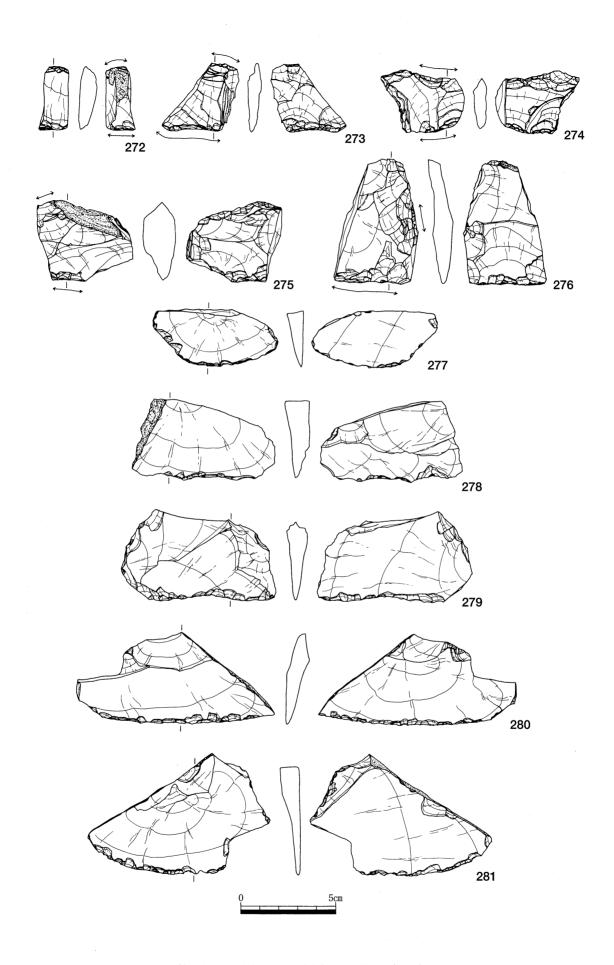
292~356は上層下部から出土した縄文土器である。292~335は深鉢。292~295は口縁端部に刻み目を持たないもの。293は外面にヘラミガキ風のナデ、294は貝殻条痕が観察できる。296~312は口縁端部に刻み目を持つ。304の刻み目は四角くした口縁端部の上端部と下端部の2ヶ所に付ける。外面調整は301は貝



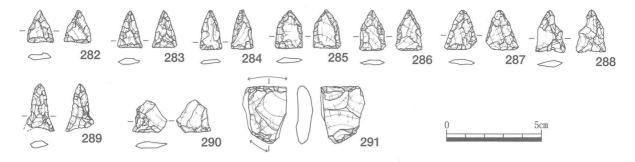
第42図 Ⅱ区SR01最上層・上層出土石器 1 (1/2)



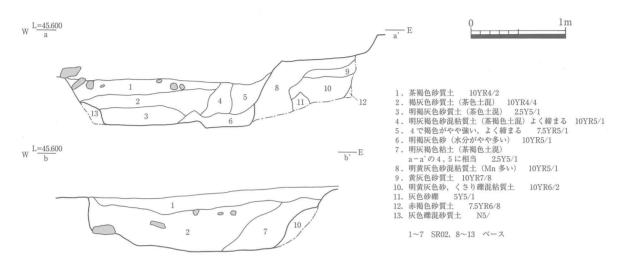
第43図 II区SR01上層出土石器 2,下層出土石器 1 (1/2)



第44図 Ⅱ区SR01下層出土石器 2 (1/2)



第45図 II区SR01 その他出土石器 (1/2)

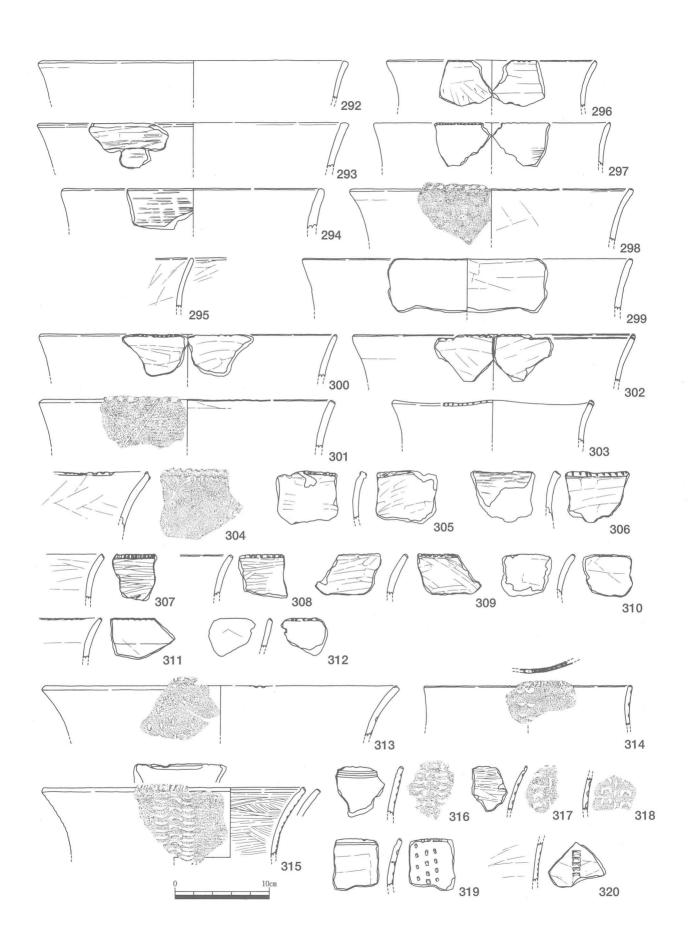


第46図 II区SR02 断面図 (1/40)

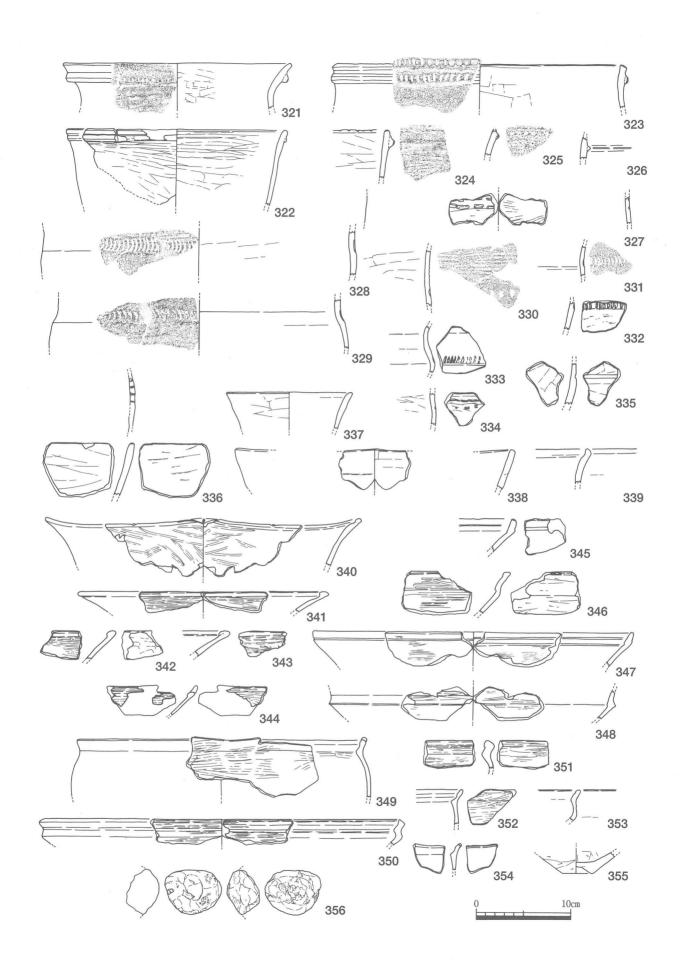
殻条痕、307・308は幅の広いヘラミガキ風のナデで、残りはナデ調整である。301は体部に山形のヘラ描 き沈線文を描く。302の口縁形態は段状になっているのが観察できる。303は波状口縁である。312は体部 に穿孔がある可能性がある。313~320は体部に縦方向の刺突文を施すもの。口縁端部が残るものにはいず れも刻み目が付く。刺突文の種類は313が3列以上の長めの列点文、314が2列の上向きの半円形の爪形文、 315・316が2列の上向きの爪形文の間に1列の下向きの爪形文を挟むもの、318が2列の下向きの爪形文 の間に1列の長めの列点文を挟むもので、317も同様である可能性が高い。319は3列以上の列点文、320 は1列の下向きのコの字型である。315は縦方向の刺突文がある部分だけ口縁端部内面に沈線を入れる。 316・317・319は口縁端部内面に沈線が観察できるが、315と同様に刺突文のある場所にだけ沈線を入れて いる可能性もあろう。外面調整は315が貝殻条痕、その他はナデ調整、内面調整は315・317にヘラミガキ が観察できる他はナデ調整である。321~326は貼付突帯が付くもの。321・323~325は突帯に刻み目が観 察できる。体部は強く外湾するもの(321)、緩く外湾するもの(323、325)、直線的に外側へ立ち上がる もの(322、324、326)がある。外面調整は321・324は貝殻条痕、322は幅の広いヘラミガキ風のナデ、 残りはナデ調整である。327~335は体部片。体部中程の横方向の刺突文を施す。327は横長の刺突文、328 ~333は左向きの爪形文を施す。334はヘラで左から右へ押し引き風にした文様とその下部に円形の刺突文 を施す。335はヘラ描き沈線を1条巡らせる。外面調整は文様から上部は328・330は貝殻条痕、331・333 はナデで調整し、文様から下部は327・328・332でヘラケズリが観察できる。328・329・333では体部文 様帯付近で緩く屈曲するが、他はほとんど屈曲しない。336~338は粗製の浅鉢か。336は口縁端部に刻み 目を持ち、外面はヘラケズリする。340~354は浅鉢。340は口縁端部内面に沈線を巡らせ、波状口縁にす る。内外面ともヘラミガキする。341~343は口縁端部を内側へ折って肥厚させるもの。体部はやや浅めで、



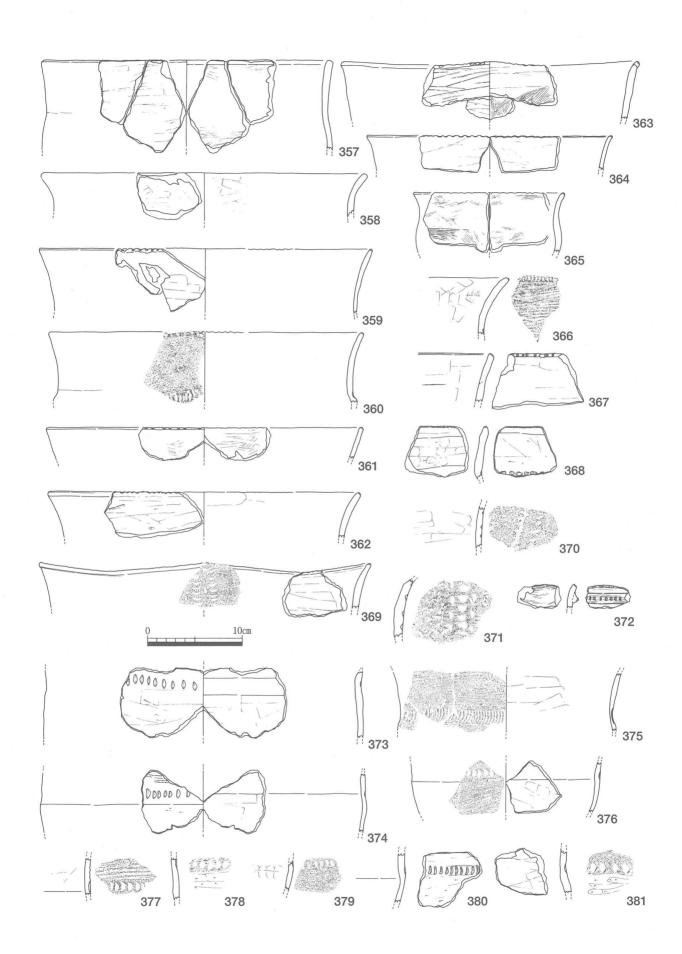
第47図 II 区 SR02 石・土器出土状況 (1/40)



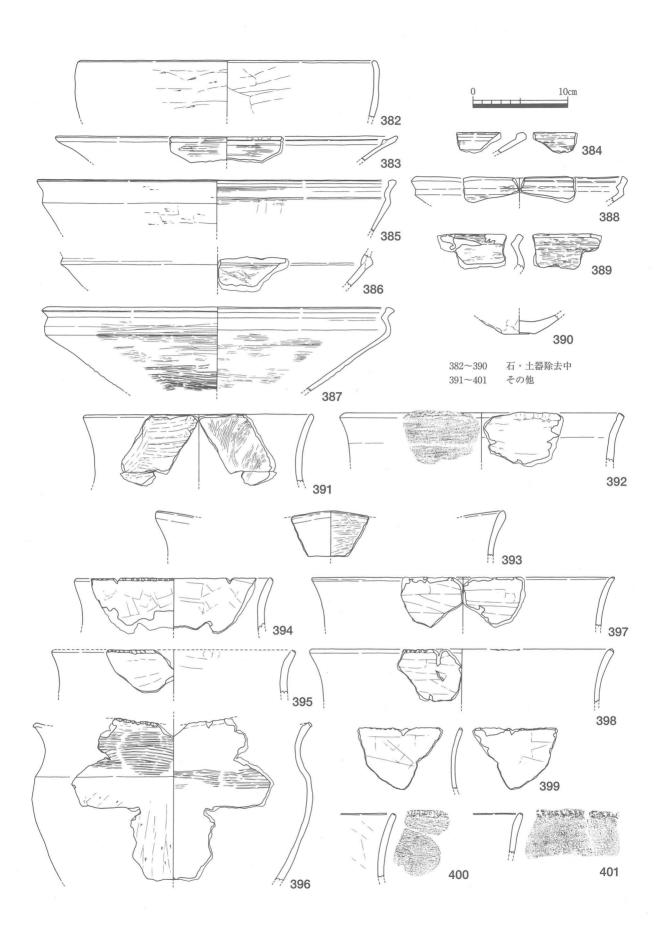
第48図 II区SR02上層下部出土土器1 (1/4)



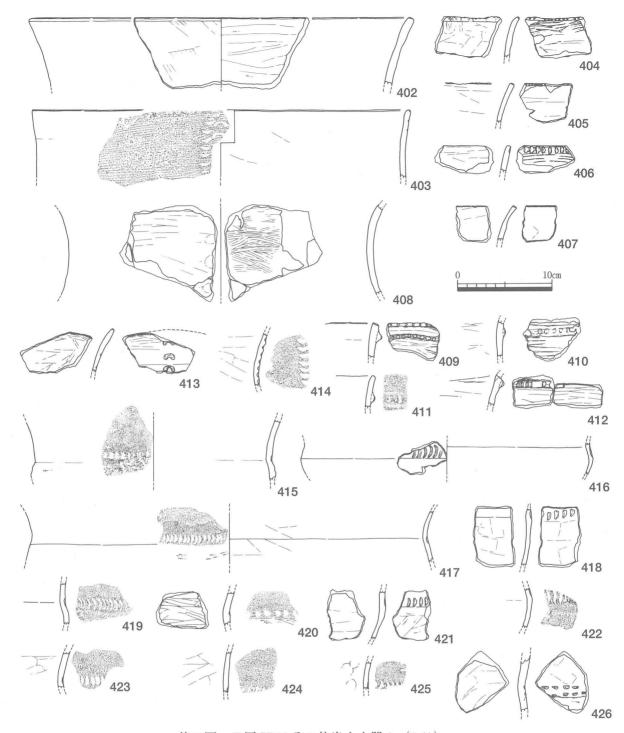
第49図 II区SR02上層下部出土土器 2 (1/4)



第50図 II区SR02石・土器除去中出土土器1 (1/4)

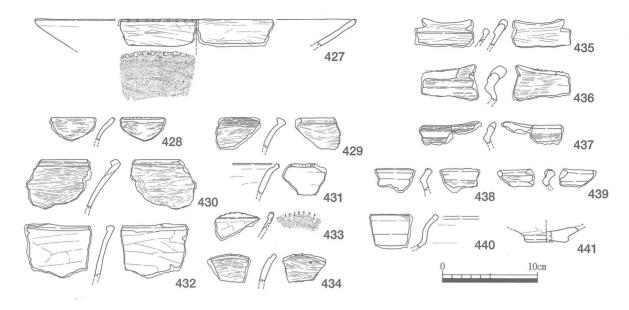


第51図 II区SR02石・土器除去中出土土器 2, その他出土土器 1 (1/4)



第52図 II区SR02その他出土土器 2 (1/4)

直線的に立ち上がる。内外面ともヘラミガキする。344は口縁端部が段になっているもの。口縁端部は低い部分は内側に肥厚し、高い部分は先細る。内外面ともヘラミガキする。345~348は斜め上方へ立ち上がる体部と口縁部の境に屈曲部を持つもの。345・347は口縁部の立ち上がりが短く、口縁部と体部の境に沈線を巡らせる。口縁端部は345は刻み目を持ち、347は細くする。347は内外面ともヘラミガキする。346は口縁部の立ち上がりがやや長めで高杯に近い形状。内面にはヘラミガキ、外面にはヘラケズリを施す。口縁端部は平たくする。348も同様の形状になると考えられる。349・352~354は体部と口縁部の境を屈曲させ、体部は丸く、口縁端部は内面に丸みを持ちながら緩く立ち上がるもの。口縁端部は丸く仕上げる。349は口縁端部に幅広い突起状の出っ張りを持たせる。内外面ともヘラミガキする。354は波状口縁。350は口縁部と体部の境と体部上部で二度屈曲する形態のもの。口縁端部には面を持つ。351も同様の形態のものか。内

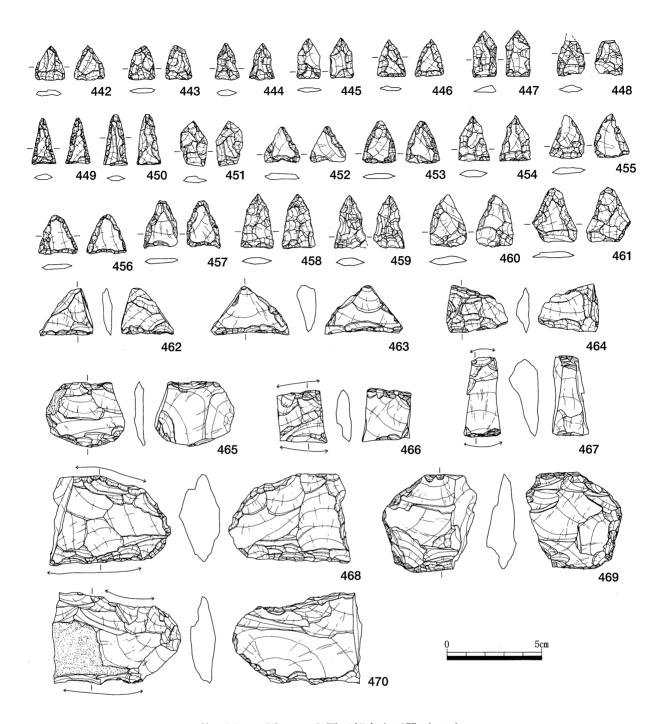


第53図 II区SR02その他出土土器 3 (1/4)

外面ともヘラミガキをする。355は底部。外面はヘラケズリ。底部外面は窪む。356は焼土塊。器種不明。

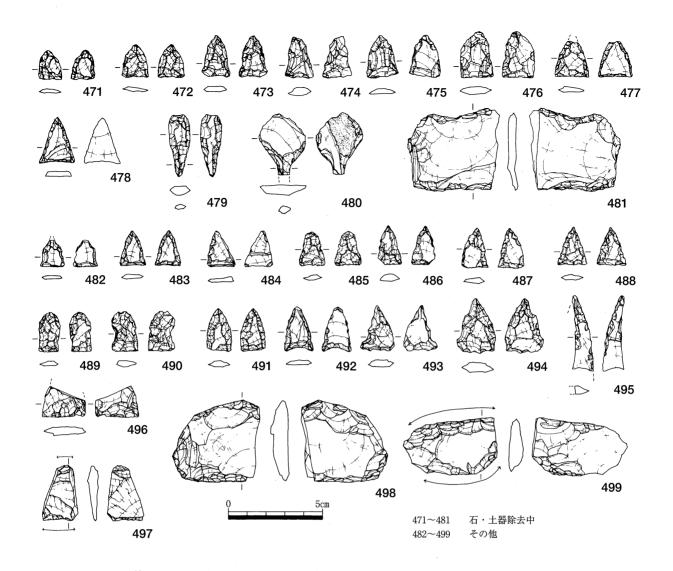
357~390は石・土器集中部の石・土器を除去中に出土した遺物である。357~381は深鉢。357・358は 口縁端部に刻み目を持たない。357は体部中央部屈曲部付近に爪形文などは巡らせない。内面にはヘラミガ キ状のナデ、外面上半ナデ、下半はヘラケズリする。359~368は口縁端部に刻み目を持つ。360は体部中 位で強く屈曲し、左向きの爪形文を施す。363は波状口縁。368の体部中位には円形の刺突文が施される。 外面調整は体部上半では363・366が貝殻条痕、362・368はヘラケズリが観察できる。365は小型のもの。 体部屈曲部付近に刺突文などはなく、外面体部上半にはヘラミガキ、下半には貝殻条痕の調整痕がある。 369~371は体部上半に縦向きの刺突文があるもの。369は縦向きに2列に並ぶ上向きの爪形文の間にやや 間隔の開いた刺突文を1列配する。口縁端部には沈線が巡り、波状口縁にする。370は2列の刺突文を配す る。371は上向きの半円形に近い爪形文の両側に縦長の刺突文を配する。372は貼付突帯を持つもの。突帯 には刻み目を持ち、口縁端部にも刻み目を施す。373~381は体部中位の屈曲部に爪形文などの刺突文を施 すもの。屈曲は強いものとほとんどないものがある。373は縦長の刺突文、他は左向きの爪形文を施す。外 面調整は374・375は上半部に貝殼条痕、373~376・378・380・381は下半部にヘラケズリを施す。382~ **389**は浅鉢。**382**は粗製のもの。外面はヘラケズリする。**383・384**は浅めの器形。**383**は口縁部内面に突帯 を巡らせ、384は内側へ折り曲げて肥厚させる。内外面ともヘラミガキする。385・386は口縁部と体部の 境を屈曲させる。385は口縁端部を内側へやや肥厚させる。387~389は体部上部と口縁部と体部の境の2 ヶ所を屈曲させるもの。体部の屈曲部は388は角を持ち、387・389は丸みを持つ。口縁端部は面を持ち内 外面ともヘラミガキするが、387は外面体部下半部に貝殻条痕を残す。390は底部。

391~441は出土層位不明出土遺物。391~426は深鉢。391~393は口縁端部に刻みを持たないもの。392は外面に貝殻条痕、393は内面にヘラミガキが観察できる。394~407は口縁端部に刻み目を持つ。396は体部外面上半部に貝殻条痕、下半部にヘラケズリで調整し、内面体部中位にも貝殻条痕を残す。体部の屈曲部には爪形文などの刺突文は施さない。402の刻み目は浅く、口縁端部外側にまで及ばない。403は口縁端部外側に浅い刻み目を施し、外面には縦方向2列の上向きの爪形文の間に下向きの半円形の刺突文を配する。406は口縁部外面に左向きの爪形状の刻みを施す。体部外面の貝殻条痕は403・404・406に観察できる。408は体部片。外面はナデ、内面は幅の広いヘラミガキ風のナデで調整する。409~412は外面に貼付突帯を巡らせるもの。いずれも貼付突帯には刻み目を施す。409は口縁端部に刻み目を施す。409・410は外面



第54図 Ⅱ区SR02上層下部出土石器(1/2)

に貝殼条痕を残す。413・414は体部上半部に縦方向の刺突文を持つもの。413は波状口縁を持つもので、口縁部の最も高い位置に下向きの半円形の刺突文を1列施す。414は上向きの爪形文が1列残る。415~426は体部中程の屈曲部に爪形文などの刺突文を施すもの。415~425は左向きの爪形文を持つ。外面体部上半の調整はいずれもナデで、下半部の調整は415・417・421でヘラケズリが観察できる。426は爪形文の代わりに2段の楕円形の刺突文を施す。427~440は浅鉢。427は浅めの器形。口縁部は直線的に立ち上がり、口縁端部には刻み目を持つ。粗製のものか。428~434はやや外湾しながら口縁が立ち上がるもの。調整はおおむね内外面ともヘラミガキである。429・430・432は口縁端部を内側へ肥厚させ、431・433・434は口縁端部内面に沈線を施す。433・434は波状口縁。433の沈線は波状に巡らず直線的に巡り、434の沈線は波状に巡る。435は口縁端部を幅の広い突起状にし、口縁端部内面に肥厚させる。436~439は口縁部と体部の境を屈曲させ、体部をさらに内側へ屈曲させる器形。436は角を持って屈曲させ、437・438は



第55図 II 区 SR02 石・土器除去中出土石器、その他出土石器 (1/2)

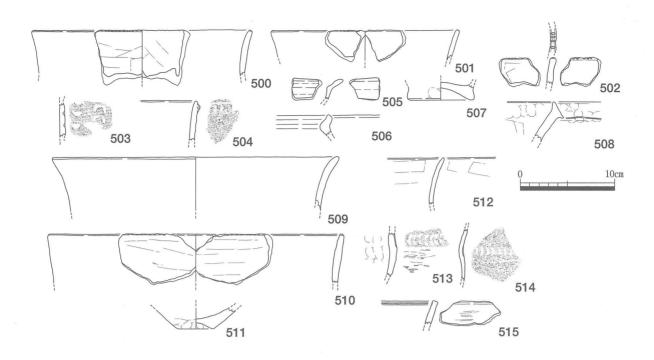
丸みを持って屈曲させると考えられる。436の口縁部形態は435と同様になる可能性が高い。437・439は波 状口縁にする。調整はおおむねヘラミガキである。440は弥生土器の高杯に似た形態。441は底部。

442~470はSR02上層下部、褐灰色砂質土層(茶色土混じり)から出土した石器である。すべてサヌカイト製。442~461は石鏃。448・452は凹気式、他は平基式。端部の欠損するもの(448)や縁辺部の調整が不充分のもの(452・455・460)もある。445・447・451は側縁部中程に角を持ち、5角形に近い形状である。452・456・457は剥片の縁辺部だけを加工しただけである。462~465はスクレイパー。466~470は楔形石器。469以外は上・下部ともに敲打痕が認められる。470は片面に自然面を残す。

471~481は石・土器集中部分で、その除去中に出土した石器である。層位的には上層下部の褐灰色砂質 土と同じである。471~478は石鏃。いずれも平基式。478は未製品で、裏面側は調整をまったくしていな い。479・480は石錘。480は上部はほとんど未調整で未製品である。481はスクレイパー。

482~499は出土層位不明石器。482~496は石鏃。482・483は剥片の縁辺部だけを加工したものである。484は側縁や下部の調整が不充分である。495は先端部と一側縁に加工を施す。未製品。石錐の未製品かもしれない。496は上半部欠損。大型の石鏃。497~499は楔形石器。497・499は上・下部に敲打痕を残す。II 区包含層(第56図、図版26)

Ⅱ区中央部南より付近、①~④が接する付近で検出した包含層である。 Ⅱ区①~④にまたがっておおむね東西8m、南北6mの範囲で検出し、厚さは30cm程度、埋土はおおむね上部が黄褐灰色・茶褐灰色砂混粘質



第56図 Ⅱ区包含層出土遺物 (1/4)

土など土壌化の進む層、下部が褐色シルトなどである。この包含層は弥生時代の溝のベースになっている。 SR01の東南側縁辺部として捉えられるものと考えられる。

500~508は II 区①から出土した遺物である。500~507は縄文土器。500~504は深鉢。500~502は口縁端部に刻み目を持つ。503は体部に縦方向に半円形の上向きの爪形文と下向きのコの字型文を1列ずつ配する。調整は貝殻条痕による。504は貼付突帯を持つもの。突帯には刻み目が付く。505・506は浅鉢。505・506は口縁部と体部の境が屈曲するもの。505は波状口縁で口縁端部を少し肥厚させる。506は短い口縁部に丸みを持つ体部が付く。507は底部。508は弥生土器壷口縁部。

**509~511**はⅡ区③から出土した遺物である。いずれも縄文土器。**509・510**は深鉢。**510**は口縁端部に刻み目を持つ。**511**は底部。

**512~515**はⅡ区④から出土した遺物である。いずれも縄文土器。**512~514**は深鉢。**513・514**は体部。**513**は右向きの、**514**は左向きの爪形文を巡らせる。**513**は爪形文の下部にヘラケズリ痕が観察できる。**515**は浅鉢。口縁端部内面に 2 条の沈線を巡らせる。外面にヘラミガキが観察できる。

### ②弥生時代後期後半

#### SK01 (第57図)

Ⅱ区①中央部付近で検出した土坑である。方形で一辺1.0m、深さ12cm、埋土は灰色シルト層で**SK02・04** と同じである。埋土中からは縄文土器小片、サヌカイト剥片が出土した。

#### SK02 (第57図)

Ⅱ区①中央付近で検出した土坑である。楕円形で長軸0.83m、短軸0.70m、深さ8cm、埋土は灰色シルト層でSK01・04と同じである。埋土中からはサヌカイト剥片が出土した。

### SK04 (第57図)

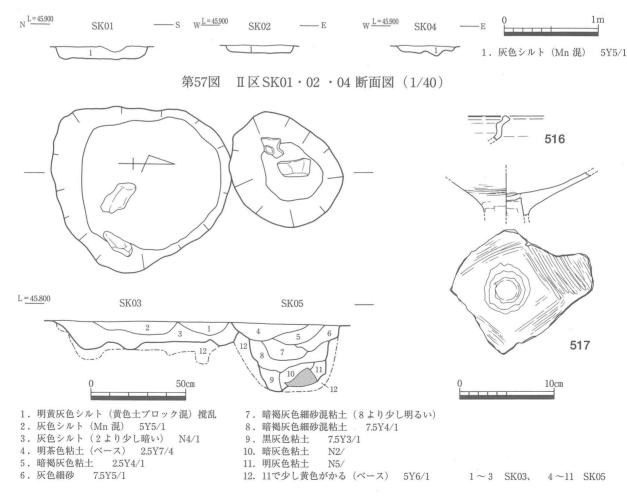
Ⅱ区①中央付近で検出した土坑である。円形で直径0.62m、深さ10cmで断面形状は底部に凹凸を持つ。埋土は灰色シルト層で**SKO1・04**と同じである。埋土中からは土器小片、サヌカイト剥片が出土した。

## SK03 (第58図)

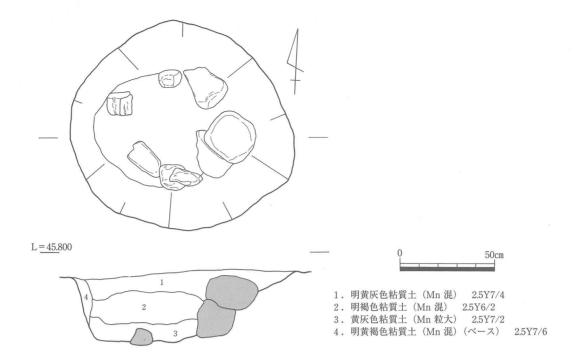
Ⅱ区①中央部付近で検出した土坑である。不整円形で直径0.9m、深さ14cm、断面形状はおおむね逆台形であるが底は凹凸がややある。埋土は**SK01**と類似し、おおむね灰色シルトである。この土坑は**SK05**に切られる。埋土中からは礫、土器小破片が出土した。遺構の時期は**SK05**に近い弥生時代後期後半で、縄文土器は紛れ込みと考えられる。

**516**は縄文土器浅鉢。口縁部と体部の境が屈曲し、体部中程でさらに内側へ屈曲する。縄文時代晩期後半。 **SK05**(第58図、図版9・26)

Ⅱ区①中央付近で検出した土坑である。円形で直径0.6m、深さ36cm、断面形状は逆台形で埋土はおおむ



第58図 II区SK03・05平・断面図 (1/20)、出土遺物 (1/4)



第59図 Ⅱ区SK08 平·断面図 (1/20)

ね上半部は暗褐灰色砂混じり粘土、下部は黒灰・暗灰色粘土である。わずかに**SK03**を切る。土坑の底部からは礫とともに弥生土器高杯が出土した。遺構の時期は弥生時代後期後半である。

**517**は弥生土器高杯。内外面に 4 分割のヘラミガキを施す。底部は円盤充填による。胎土中に角閃石を含む。下川津 B 類。

### SK08 (第59図)

Ⅱ区①中央部付近、SK03・05の東側約4mの位置で検出した円形の土坑である。直径1.2m、深さ38cm、断面形状は逆台形である。土坑の底部分のおもに縁辺部から15~20cm大の礫を検出した。埋土中からは遺物は出土しなかった。

## SX03 (第60図、図版 9)

Ⅲ区③中央部付近で検出した出水状遺構である。不整円形で直径約3m、深さ0.8m、断面形状は擂鉢状である。埋土は砂層が中心で深さは湧水層まで及んでいる。SX03はSD02の北肩に接するように掘削されている。SD03とは重複していない。SD02との前後関係は少なくともSX03の方が古くない。出水状遺構から溝へ水を流す機能を持ち、同時並存であった可能性が高い。

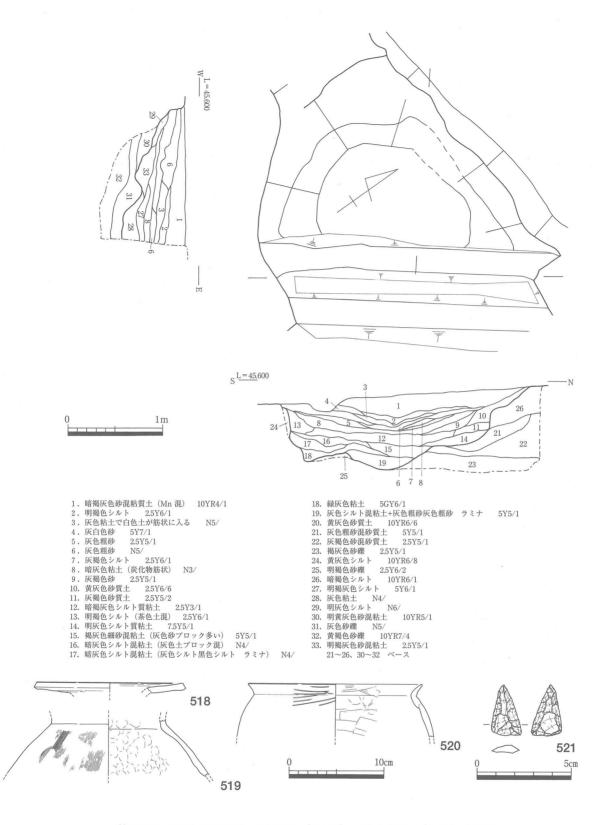
518~520は弥生土器。518・519は壷。518は口縁部が大きく開く。いずれも下川津 B 類。520は甕。口縁部付近にタタキ目が残る。521は石鏃。サヌカイト。平基式。遺構の時期は弥生時代後期後半と考えられる。

## SD01 (第61·62図、図版9·26)

Ⅱ区③を南西から北東へ流れる溝である。幅1.5m、深さ48cmで断面形状は半円状である。埋土は中位以下はおおむね砂層やシルト層で占められ、一定量の流量があったことが窺える。SD01はSD01~04d-d'土層によりSD02より新しい。また、SD01はSR03に切られる。

#### SD02 (第61·62図、図版 9·26)

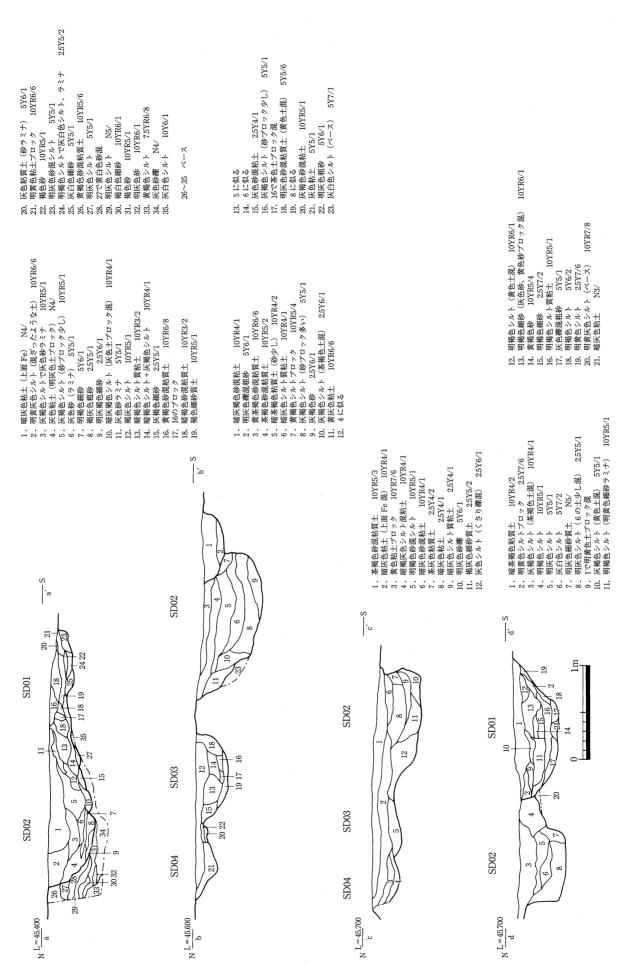
Ⅱ区③をSD01の北側をほぼ平行して流れる溝である。西から東へ傾斜し、溝の掘り込みも東側ほどしっかりしている。埋土はおおむね下層 - シルト・砂礫層、上層 - 粘土層であるが、Ⅱ区④部分では溝の掘り込



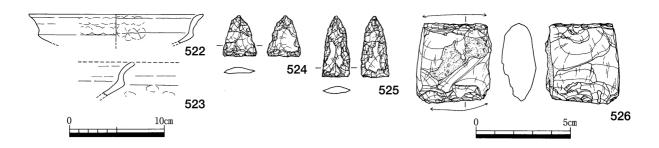
第60図 Ⅱ区SX03平・断面図 (1/40)、出土遺物 (1/4)・(1/2)

みはあまりはっきりしない。 II 区④で**SD03a**と合流するが、切り合い関係は認められなかった。溝の幅は  $1.4\sim2.0$ m、深さ $50\sim63$ cm、断面形状はおおむね半円形である。断面観察から**SD01**より古い。**SD03**とは **SD01\sim04c-c'**土層により、最上層では埋土を共有し、II 区④部分では合流する。最終的には同時に埋没していったと考えられる。

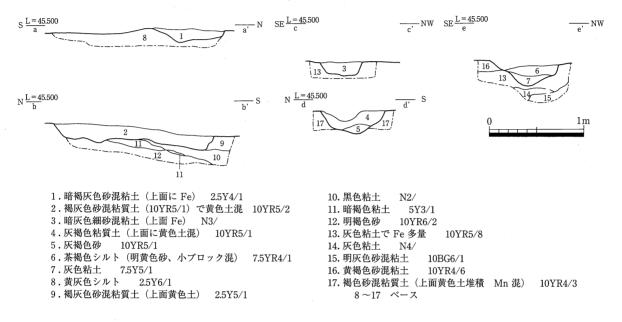
**522~526**は**SD01・02**トレンチから出土した遺物である。**522・523**は弥生土器高杯。**522**は胎土中に角閃石を含む。下川津B類。**524~526**は打製石器。サヌカイト製。**524・525**は石鏃。すべて平基式。**526**は楔



第61図 II区SD01~04 断面図 (1/40)



第62図 Ⅱ区SD01·02 出土遺物 (1/4)·(1/2)

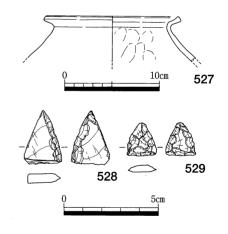


第63図 II区SD03 a · b断面図 (1/40)

形石器。上・下部とも刃を潰す。弥生時代後期後半。

**SD03** (第61·63·64図、図版 9)

Ⅱ区③をSD02の北側をほぼ平行して流れる溝である。西側へ傾斜している。幅1.0~1.5m、深さ15~34cmで、断面形状はⅡ区③部分では半円形、Ⅱ区④部分では浅い皿状である。埋土はおおむね下層がシルト層、中層は粘土層、上層は砂混粘土層である。SD02とはSD01~04c-c'断面部分では最上層の埋土を共有し、Ⅲ区④部分では合流することからおおむね同時併存であったと考えられる。SD04とは上面精査時にはSD04が新しいようにみえたが、SD01~04b-b'断面では上層の埋土を共有している。最終埋没は同時期であったかもしれない。また、SD03・04の上面を覆う埋土とSD02最上層直下の埋土は類似する。

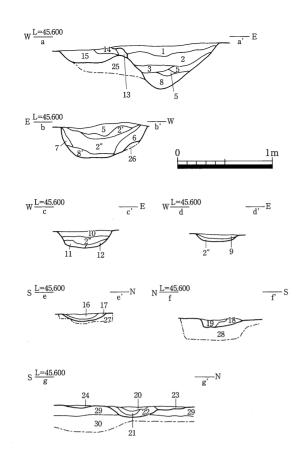


第64図 Ⅱ区SD03 a · b 出土遺物 (1/4)·(1/2)

**527**は弥生土器甕。口縁端部をわずかに上方へ上げる。胎土中に角閃石を含む。下川津B類。**528・529**は石鏃。**529**は石鏃の未製品か。片側側縁だけ刃を作り、他の縁辺部は未加工のままである。ともにサヌカイト製。

**SD04** (第61・65・66図、図版 9・26)

Ⅱ区①南東端からⅡ区③北端付近で緩く屈曲してⅡ区①南西端からⅡ区②へと続く溝である。Ⅱ区①南西



- 1. 暗茶褐色砂混粘土(Mn 混) 10VR4/2
- 2. 褐灰色粘土 25Y5/1
- 2'. 褐灰色砂混粘土 5Y4/1
- 2". 明灰色粘土 N5/
- 3. 灰色砂混粘土 N4/1
- 茶灰色シルト質粘土 10YR5/2
- 5. 暗灰色砂混粘土 5Y4/1
- 6. 灰褐色砂混粘土 (Mn多い) 10YR4/1
- 2" 黄色土ブロック混
- 明灰色粘土 (ベースブロック混) 5Y6/1
- 8'. 灰色砂質土 (黄色土ブロック混)
- 9. 褐灰色砂混粘質土(Mn 混)
- 7.5Y5/1
- 11. 暗灰褐色粗砂混粘質土
- 12. 暗灰色砂混粘土 5Y4/1
- 13. 褐灰色砂混粘土 (砂多い) 2.5Y5/1
- 14 苗褐色砂泥粘土 10YR5/3
- 15. 暗褐灰色砂混粘土 10YR4/1
- 16. 褐色砂混粘質土 10YR4/1
- 17、暗灰色粘土 5Y3/1
- 18. 暗灰褐色粘質土
- 10YR4/1
- 19. 明灰色シルト質粘土 N5/
- 20. 褐灰色砂混粘質土 2.5Y5/1
- 21. 褐灰色砂 25Y5/1
- 22. 褐灰色粘土(砂少1.) 25Y5/1
- 23. 明黄褐色粘質土 2.5Y6/4
- 24. 明灰色砂 5Y6/1
- 25. 灰褐色砂混粘土 (Mn 多) 包含層 2.5Y6/1
- 26. 茶色粘土 (ベース) 2.5Y6/6
- 27. 褐灰色砂混粘質土 (Fe, Mn 多) SR01上層 2.5Y5/1
- 28. 暗黄褐色砂混粘質土 (Mn 混) SR01 上層 10YR4/3
- 29. 黄褐色砂混粘質土 (Mn 混) SR01上層 2.5Y6/6
- 30. 褐色砂混粘質土(Mn 混) SR01上層 10YR4/2

Ⅱ区SD04 a · b断面図 (1/40) 第65図

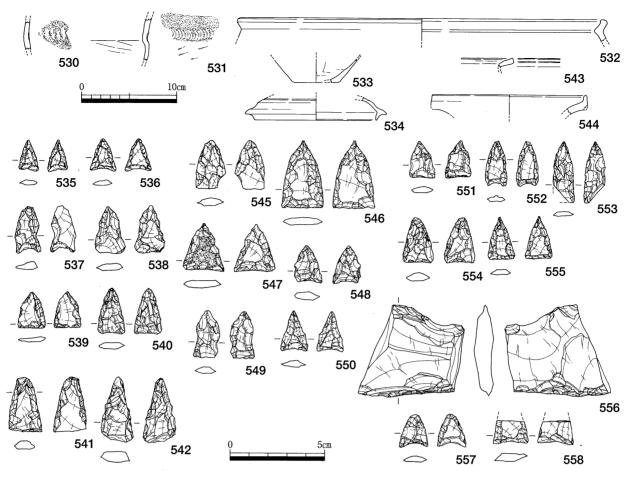
端で2条に分岐し、その南側の溝はさらにⅡ区②部分で3条に分岐し消失する。溝の幅は43~110cm、深さ 28~43cm、断面形状は逆三角形または半円形で、埋土は褐灰色砂混粘土、灰色砂質土などである。この溝は SD05より新しくSD06より古い。Ⅱ区①南西部で分岐する溝のうち、北側の溝をSD04a、南側をSD04bと した。SD04aとSD04bには切り合い関係がみられ、SD04bが古いようである。

530~542はSD04aから出土した遺物である。530~532はⅡ区①最下層部分から出土した遺物。いずれも 縄文土器。ベースとなる包含層の遺物が混入した可能性がある。530・531は深鉢体部。体部の傾斜変換点 で530は右向きの、531は左向きの爪形文を施す。531では爪形文の下部にヘラケズリが観察できる。532は 浅鉢。口縁部と体部の境を屈曲させる。丸みを持つ体部が付くものか。533・534はⅡ区②から出土した遺 物。533は弥生土器甕底部。534は須恵器杯蓋。口縁端部に返りを持つ。7世紀代。

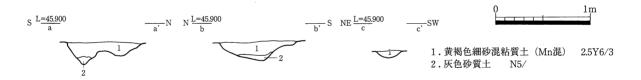
535~542は石鏃。いずれもサヌカイト製。535~539はⅡ区①から出土した。535・538・539は平基式、 536・537は凹基式である。537は片面に未調整部分を多く残す。539は縁辺部しか加工しない。540~542 はⅡ区②部分から出土した。いずれもサヌカイト製石鏃。540・541は平基式。ただし541は下部をほとん ど調整していない。542は下端部が左右対称になっていない。

543~550は SD04b から出土した遺物である。543は弥生土器甕口縁部。下川津 B 類土器。544は壷。545 ~550はサヌカイト製石鏃。548・550は凹基式、他は平基式。545・549は下部に未調整部を残す。547は 背面に自然面を残す。

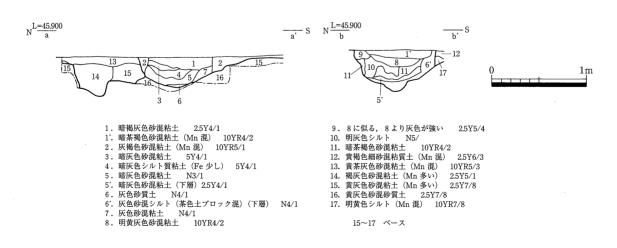
551~556はSD04a·b分岐地点で掘削したトレンチから出土した遺物。いずれもサヌカイト製石器。551 ~555は石鏃。552は凹基式、他は平基式。552·555は縁辺部のみ調整している。553は下部片側が折損し ている。556はスクレイパー。557・558はⅡ区①東南端部の北東から南西へ向く部分出土した石器である。 SD04が分岐していない部分である。いずれもサヌカイト製石鏃。ともに凹基式。558は上部欠損。



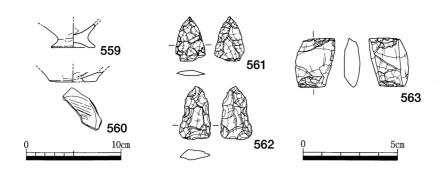
第66図 Ⅱ区SD04 a · b出土遺物 (1/4)·(1/2)



第67図 II区SD05 断面図 (1/40)



第68図 II区SD06 断面図 (1/40)



第69図 Ⅱ区SD06 出土遺物 (1/4)·(1/2)

#### SD05 (第67図、図版10)

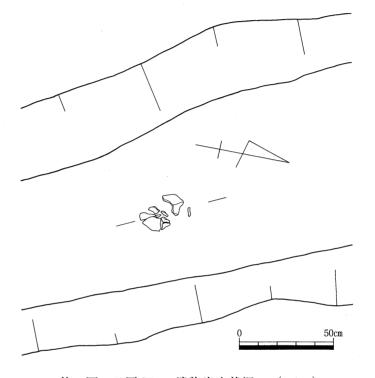
Ⅱ区①南東部で検出した溝である。幅80~86cm、深さ20~24cm、断面形状は逆三角形で東端付近で2又に別れる。埋土は黄褐色細砂混粘質土で最下部に灰色砂質土が堆積する。この溝はSD04・06より古い。SD06から北西側では明らかに連続する溝は検出できなかった。

#### SD06 (第68·69図、図版10)

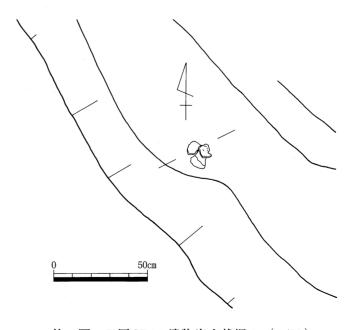
Ⅱ区①南端部を東北東から西南西へ向く 溝である。幅95cm、深さ44cm、断面形状は 逆台形に近い半円形である。埋土はおおむ ね暗褐灰色・暗茶褐色砂混粘土である。こ の溝は遺構の前後関係によりSD04、SD07 より新しい。遺構の時期は出土遺物や遺構 の切り合い関係から弥生時代後期後半~終 末頃と考えられる。

559・560は弥生土器。559は脚付鉢。560は甕底部。底部外面をヘラミガキする。下川津B類。561~563は石器。いずれもサヌカイト製。561・562は石鏃。平基式。561は下端部両先端部が欠損。563は楔形石器。

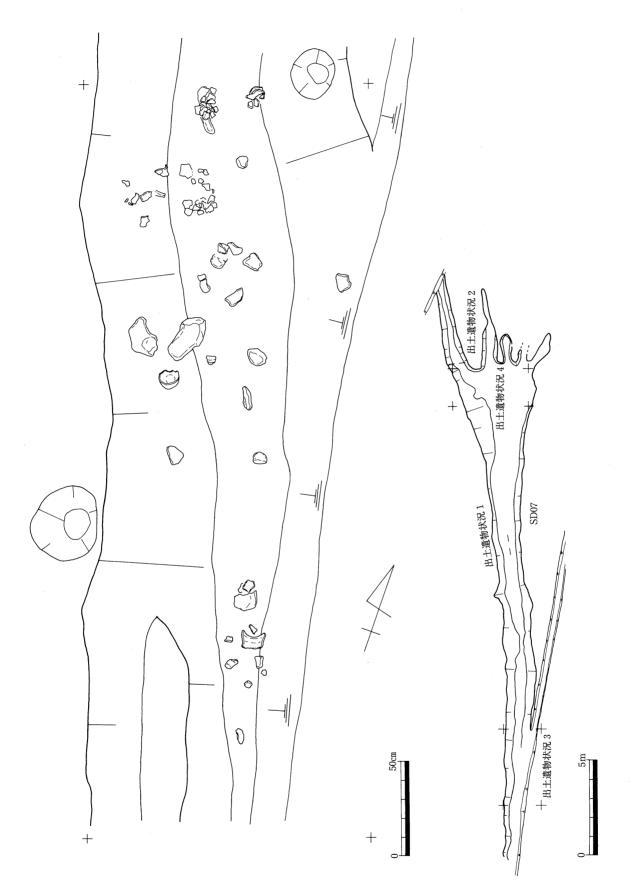
SD07 (第70~75図、図版10・11・27・28) Ⅱ区①中央部付近を北北西から南南東へ向く溝である。この溝は遺構の前後関係によりSD06より古い。また、この溝が埋没した後同位置にSD08が最掘削される。検出部分の北端付近では溝は4条に分岐し、消失する。溝は南南東側へ傾斜する。幅100~270cm、深さ28~46cm、断面形状はお

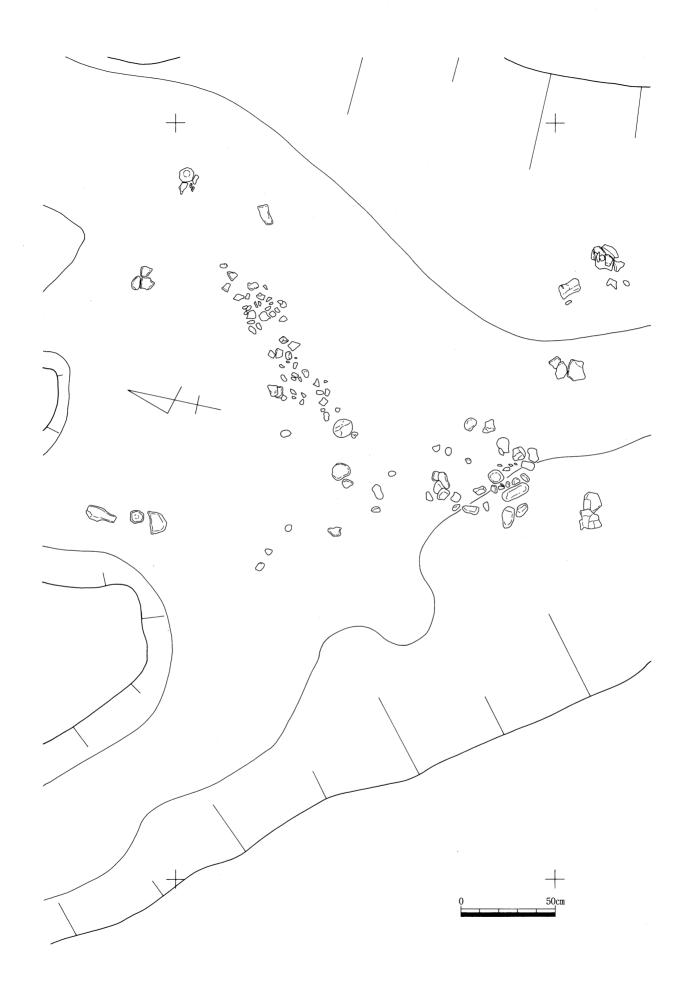


第70図 Ⅱ区SD07 遺物出土状況 1 (1/20)

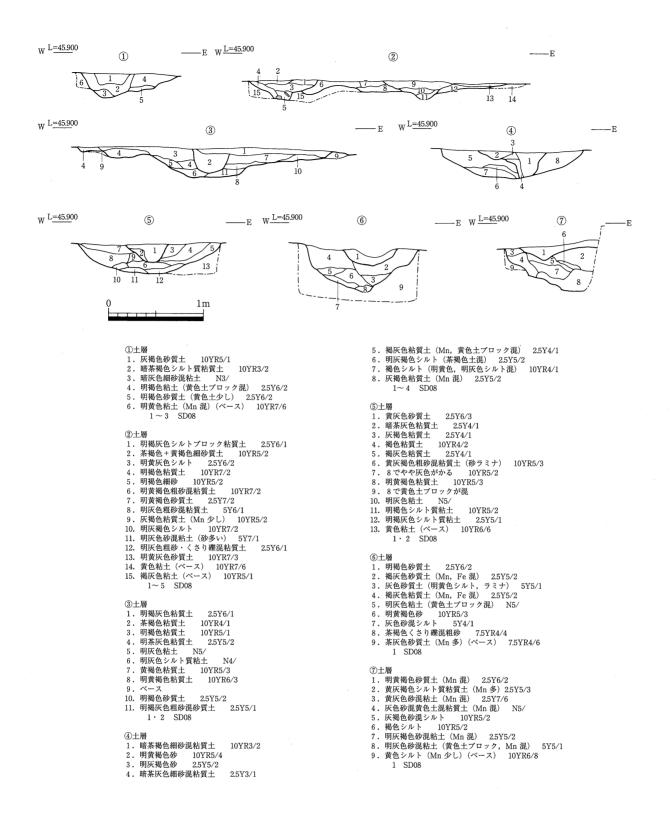


第71図 Ⅱ区SD07 遺物出土状況 2 (1/20)





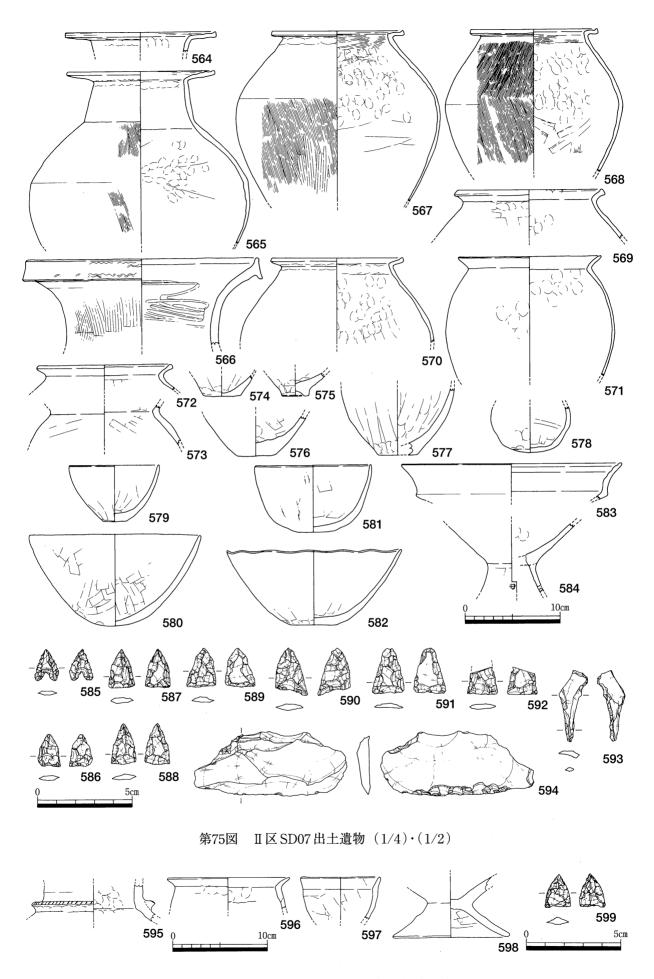
第73図 II 区 SD07 遺物出土状況 4 (1/20)



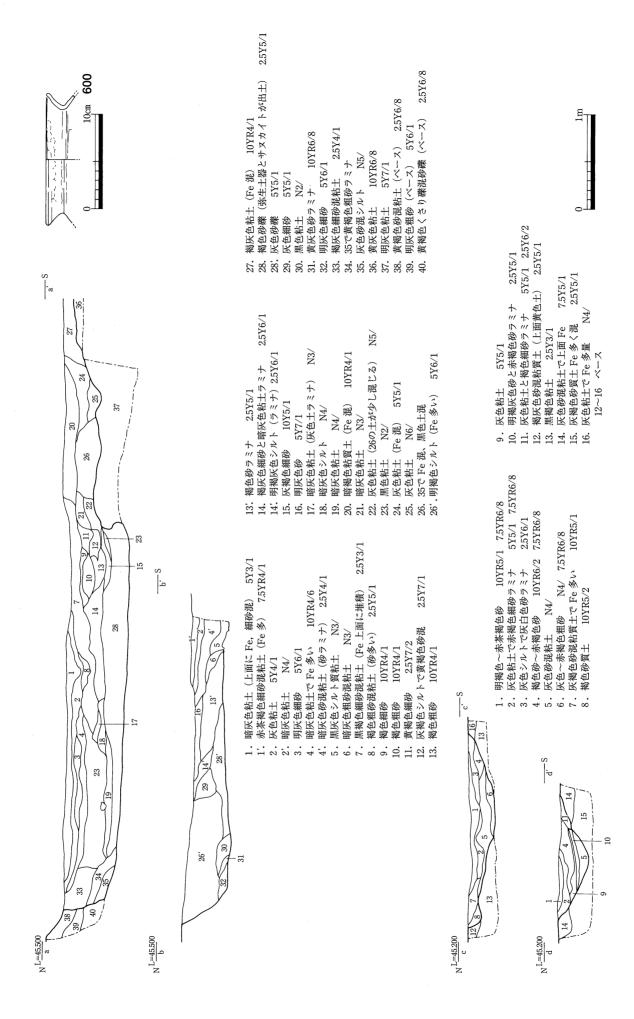
#### 第74図 Ⅱ区SD07断面図 (1/40)

おむねボウル状である。遺物はおもに北端近くの溝が分岐する付近と、南東端近くで多く出土した。**SD07** の中でやや離れた位置の破片が接合する例が数例あった。溝の時期は出土遺物より弥生時代後期後半~終末期と考えられる。

564~584は弥生土器。564~566は壷。いずれも下川津B類。564・565は直立気味の頸部に大きく開く口縁部が付く。566は口縁端部に面を持ち、そこに波状文を施す。端部は上下に拡張させる。567~573は甕。567~570・572は下川津B類。ただし、569は胎土中の角閃石は少ない。567・568は外面にハケメ、内面上



第76図 Ⅱ区SD08出土遺物 (1/4)·(1/2)



第77図 II 区 SR03 断面図 (1/40), 出土遺物 (1/4)

部にもハケを施し、567には外面下半部にヘラミガキも観察できる。口縁端部の屈曲は強く、口縁端部は上方へ引き上げる。574・576は甕底部。575は鉢底部。底部を高台状にする。577・578は壷の底部か。体部に丸みを持つ。579~582は鉢。581は体部外面にクラックが入る。582は口縁部に歪みがある。583・584は高杯。ともに下川津B類。584は底部に充填されていた円盤が剥離している。脚部には孔が1孔残存する。585~594は石器。いずれもサヌカイト製。585~592は石鏃。585・590は凹基式、他は平基式。593は石錘。下部の1側縁はほとんど加工していない。上部は欠損しており、未製品か。594はスクレイパー。刃部片面のみを加工。

#### **SD08** (第76図、図版10·11·28)

SD07の埋没後に同位置で掘削された溝である。この溝は北端部では分岐するSD07のうち最も西側の溝のみを踏襲する。幅40~70cm、深さ20~30cm、断面形状はボウル状である。溝の時期は出土遺物より弥生時代終末期頃と考えられ、SD07とそれほど時期差はないと考えられる。

595~598は弥生土器。595は壷。頸部と体部の境に刻目突帯を貼り付ける。596は甕。597・598は鉢。598は脚付。599は石鏃。サヌカイト製。平基式。

#### SR03 (第77図、図版10)

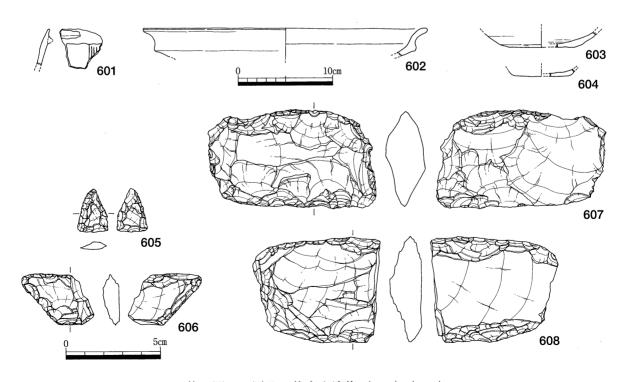
Ⅱ区③・④の南部を南西から北東方向へ向く落ち込みである。南肩は調査区外へ延びるため全体の規模は不明である。幅6.4m以上、深さ64cmである。SR03はSD01・02を切る。

600は土師器甕口縁部。古墳時代前期頃。

#### その他出土遺物 (第78図、図版28)

601・602はⅡ区①、予備調査トレンチの南部で出土した。601は縄文土器。深鉢。貼付突帯を付け、体部にはヘラ描きで縦方向の沈線を描く。602は弥生土器高杯。603はⅡ区②から出土した。須恵器壷底部。底部と体部の境をヘラケズリする。604はⅡ区④から出土した。土師質土器杯底部。

**605~608**は打製石器。サヌカイト製。**605・606・608**はⅡ区①から出土した。**605**は石鏃。平基式。**606・608**は楔形石器。**607**はⅡ区③ベース上から出土した。楔形石器。



第78図 Ⅱ区その他出土遺物 (1/4)・(1/2)

## 第4章 まとめ

### 第1節 遺構の変遷

#### 1. 縄文時代晚期後半

I区②を中心に落ち込み SR01を検出した。落ち込みの規模は幅14.3m、深さ0.2~0.4mであり、その落ち込みの除去後にさらに幅2.3~2.55m、深さ0.5~0.6mの落ち込み SR02を検出した他、サヌカイト集石遺構、火処としたと考えられる焼土塊を 4 ケ所検出した。予備調査の 21S1トレンチで出土した多量のサヌカイト剥片もこの遺構面上に集石遺構があったためと考えられる。SR02、火処 1~4 などの廃絶後に、低地を覆うように SR01が堆積した。SR01・02埋土中からは爪形文、刻目突帯文を持つ深鉢や浅鉢、サヌカイト製の石鏃や小剥片が多数出土した。火処については明確な掘り方はなく、出土遺物もほとんどなかったが、SR01の除去後に検出したので、この時期のものとしている。

SR01・02で出土した土器は小片や摩滅したものが多く、細かい傾向は把みづらいが、深鉢に胴部と体部の境や口縁部から体部にかけて縦方向に瓜型文や押引文を施すものが多くみられる一方、口縁端部に刻目突帯を貼り付けるものも一定量認められることから、遺物の時期はおおむね晩期Ⅳ期~晩期 Va ハハ期(平井泰男. 1999)と考えられる。

#### 2. 弥生時代後期後半

この時期の遺構はおもに微高地に位置する II 区①・③で検出した。ここは等高線図によると川岡地区の中では微高地上に相当する。遺構の大半は溝であり、土坑や柱穴はほとんど見られないので、集落域ではなく生産域で、溝は農業用水路と考えられる。溝の方向は北東から南西へ向くものと、おおむねそれに直交する方向の南東から北西へ向くものがあり、いずれも等高線の方向に規制されているものである。北東から南西方向へ向く溝はおもに II 区③で検出しており、一部 II 区①南端部でも検出している。この方向の溝は合計で最大 5 条検出しているが、SD02・03 は II 区④部分で合流する。溝の切り合い関係から、SD06 が最も新しく、次いで SD04、SD03・02、SD01 となる。SD04 は途中直角に屈曲し、SD07 と同方向に北西へ延びるが、SD01~03 は屈曲はしない。SD06 はこれと直角方向を向く SD07 よりも新しいが、SD07 と他の溝の前後関係は不明である。溝の底は航測図のレベルより北東よりは南西が、南東よりは北西が低い。調査区の東側には現在本津川の支流古川が流れており、これらの溝はおおむね調査区東側に位置する水源から取水していた農業用水と考えられる。また、SD02 の中程で北側に接して直径 3 m、深さ0.9mの出水状遺構 SX03 を検出した。SX03 は調査時から湧水が著しく、溝の補助的な水源になっていたと思われる。

I区では条里型地割に先行する南東から北西へ向く溝SD04・10を検出した。これらは埋土の大半を砂層で占めており、同様の溝は予備調査の際に5・38トレンチでも検出した。その中のSD10からは弥生土器小片が出土している。この時期の溝である可能性もあるが、明確な時期は不明である。

また、予備調査ではII区の南側17トレンチとのび西側32トレンチの低湿地帯の埋土中から弥生時代中期後半の土器が出土している。周辺に当該期の集落が存在する可能性があろう。

#### 3.6世紀後半頃

I区でSD05を検出した。この溝は条里型地割に先行する溝で南南東から北北西を向く。SD11も同方向の溝であるが、出土遺物や切り合い関係がなく、明確な時期は不明である。

#### 4. 13世紀後半まで

I区で条里型地割に関係する溝 SD01~03・SD09を検出した。SD01は坪界線に相当する溝である。SD01の約1.5m西側に併行して検出した SD02・03は互いに近接しており、もともと1条の溝の底が二又、三又になっていた可能性もあろう。SD01と SD02・03の間は畦道として機能していた可能性があろう。調査区の東側には現在も坪界線に相当する位置に農業用水路があり、SD01はこれに先行する溝として捉えられる。

SD09はSD01~03を切って検出した東西方向の溝である。この溝からは13世紀後半の土器がまとまって出土している。また、調査区北端付近ではSD01~03を覆う包含層が広がるが、この包含層の埋土中からも13世紀後半~14世紀前半の土器が出土している。SD01~03の時期は出土遺物に恵まれず特定できないが、13世紀後半までには廃絶したと考えられる。

当該期の柱穴、土坑はほとんどなく、生産域であったと考えられる。

#### 5. 近世以降

I区で土坑を検出した他、予備調査の際にもこの時期のピットや溝状遺構を検出しているが、いずれにしても遺構密度・遺物量とも極めて少なく、引き続き生産域であったと考えられる。

## 第2節 SR01・02出土のサヌカイトについて

Ⅱ区②の縄文時代晩期の遺跡群からは土器とともに多量のサヌカイトの剥片が出土した。サヌカイト剥片は縄文土器とともに他の弥生時代の遺構からも多く出土しているが、ここではⅡ区②の遺構出土のサヌカイトの数量をまとめた。

出土量は SR01 下層が最も多く,ついで SR02 上層である。おそらく SR01 と SR02 の境付近,SR02 が埋没して生活面となっていた時期頃に最も多くのサヌカイトが散乱したと考えられる。各遺構・層位によって多少の違いはあるが,おおむね総重量はその他剥片が最も多く,加工痕のある剥片がそれに続く。両者あわせておおむね70~80%に上り,楔形石器が20%前後である。製品は大部分が石鏃であるが,石鏃になれるのは全体の  $1\sim2$  %程度である。

剥片は大半が1g以下の小片であった。石鏃も1g以下の小型のものが大半で、2gまでで92%のものが収まる。また、途中で折損したと考えられるものや、1または2側縁しか加工していないものも見られた。

#### 個数集計

	SR01 下層	SR01 上層	SR01 最上層	SR01 その他	SR02 土器·石 除 去 中	SR02 上層	SR02 その他	SX01	SX02	合計
石鏃	14	82	6	11	8	30	13	1	3	168
石鏃未製品	8	70	3	8		17	3	4		113
石錐		5	1		1					7
石錐未製品		1								1
楔形石器	19	131	2	16	4	59	14	4		249
スクレイパー		6			1	11				18
加工痕のある石器	53	431	29	62	30	207	33	17	6	868
その他剥片	208	2120	197	162	79	820	94	36	12	3728
合 計	302	2846	238	259	123	1144	157	62	21	5152

第4表 川岡遺跡出土石器(1)

#### 重 量

	SR01 下層 (g)	SR01 上層 (g)	SR01 最上層 (g)	SR01 その他 (g)	SR02 土器·石 除去中(g)	SR02 上層 (g)	SR02 その他 (g)	SX01 (g)	SX02 (g)	合計 (g)
石鏃	19.4	90.6	4.8	9.2	7.9	32.4	13.2	1.1	2.6	181.2
石鏃未製品	11.9	126.6	3.2	9.4		18.3	5.2	3.8		178.4
石錐		15.2	2.8		6.1					24.1
石錐未製品		1								1
楔形石器	260.2	1171	15.2	179.3	64.9	617.7	145.8	150.9		2605
スクレイパー	154.9	121.4			16.8	167.6				460.7
加工痕のある石器	233.3	1881.9	93.4	266.4	110.2	1177.6	191.8	169	6.4	4130
その他剥片	357.2	2737.8	165.8	340.7	198.5	1773.4	158	63.5	13.4	5808.3
合 計	1036.9	6145.5	285.2	805	404.4	3787	514	388.3	22.4	13388.7

第5表 川岡遺跡 出土石器(2)

第6表 SR01 出土石器

										%	1	2	16		31	45	0	0	100																	
										総重量	90.6	126.6	1171	_	1882	2738	15.2		6146		,								_							
													29.5		44.9					ĺ	%	2					m		100							
													28.8		38.4	38					総重	18.6			155	233	357.2	1000	1033	%			23			
													27.4		25.6	22.2								ניי	36.1					総重量	9.2	9.4	189.3		266.4	340.7
%	0	0	10	0	30	09	0	100					22	22	21.1	22					•			27.1	34.8	22							62.6			
総重量	4.8	3.2	15		93	166	2.8	285					3 28	20	20	21								20.7	34.2	24							29.3		47.9	
$\sim 20g$										$\sim 20 \mathrm{g}$			6.	1	-	П					$\sim 20 \mathrm{g}$									$\sim 20g$						
$\sim 19g$										$\sim 19g$				1		2					$\sim 19 \mathrm{g}$			-						$\sim 19g$						
$\sim 18 \mathrm{g}  $										$\sim 18g$						3					$\sim 18g$						-			~ 18g			П			
$\sim 17 \mathrm{g}$										$\sim 17g$			-	1	-	-					$\sim 17g$						1		<u>:</u>	~ 17g						
$\sim 16 \mathrm{g}   \sim$						П				$\sim 16g$					2	-					$\sim 16 \mathrm{g}$						-			~ 16g ~						
$\sim 15 \mathrm{g}  $										$\sim 15 \mathrm{g}$			-	1		2					$\sim 15 \mathrm{g}$			1	1	1				$\sim 15 \mathrm{g} \sim$			П			
$\sim 14 \mathrm{g}   \sim$										$\sim 14 \mathrm{g} \sim$			6	1		2					$\sim 14$ g $\sim$			-				1		$\sim 14g \sim$						_
$\sim 13g \sim$										$\sim 13g \sim$			4		7	2				ł	$\sim 13g \sim$				-		-	-		$\sim 13g \sim$					П	_
$\sim 12 \mathrm{g}   \sim$										$\sim 12 \mathrm{g} \sim$			cr.	0 1-1	6	4					$\sim 12 \mathrm{g} \sim$				+		-			$\sim 12g \sim$					-	
$\sim 11 \mathrm{g} \sim$							_			$11g \sim$			4	+	12	2					$\sim 11 \mathrm{g} \sim$					2	_			$\sim 11g \sim$						-
$\sim 10g \sim$										$10g \sim$			4	-	∞	6					$\sim 10 \mathrm{g} \sim$			5		1	г	+	_	$\sim 10 \mathrm{g} \sim$					-	c
					2					[ ~ ] g <sub>6</sub>			×		7.	8					. ~   36					1		-	-	$\sim$ 86 $\sim$					2	-
~8g ~9g						2				~ 8g ~			10	2	12	11					$\sim 8g \sim$			1	-	2	н		_	$\sim 8g \sim$					3	
					2	1				$7g \sim 8$	_		=		01						$^{7}$ g $\sim$	-		2		-	2	-	-				2		3	6
g ~ 7g			-		4	2				\		1	13		92		_				₹	-		1	_	2	4	+		$g \sim 7g$			2		3	٥
$g \sim g$						2				g9 ~ g		1	01		39	L	_				$5g \sim 6g$					2	4		-	$g \sim g$					4	_
$z \sim 5g$					2	4				$z\sim 5g$	1	4	01		29						₹	_	-1	3		2	12	1		$g\sim 5g$			4		∞	9
$\sim 4 \mathrm{g}$						7	1			$\sim 4$ g		7					2				$s\sim 4g$	_		2						g 2 ~ 4g	-					
~ 3g										$\sim 3g$	ì		66		78		-				$\sim 3g$			,,			. 18			$\sim 3g$		10	27			
$\sim 2\mathrm{g}$		2				23				$\sim 2g$		36	rc		103						$\sim 2g$	4	5				51			$\sim 2$ g		5	2			
$\sim 1$ g	5	1			4	155				$\sim$ 1g	46	21			04	1400	1	1			$\sim 1$ g	∞	2			7	110			$\sim 1$ g	10	3			7	02
	石鏃	石鏃未製品	楔形石器	スクレイパー	L痕のある石器	その他剥片	石錘		SR01 (上層)		石鏃	石鏃未製品	楔形石器	スクレイパー	加工痕のある石器	その他剥片	石錘	石錘未製品		SR01 (下層)		石鏃	石鏃未製品	5石器	スクレイパー	「痕のある石器	その他剥片	石錘	SR01 その他	!	石鏃	石鏃未製品	楔形石器	スクレイパー	加工痕のある石器	上語を

SR01 (最上層)

第7表 SR02 出土石器

	$\sim 1$ g	$\sim 2\mathrm{g}$	$\sim 3\mathrm{g}$	$\sim 4g$	$\sim 1$ g $\sim 2$ g $\sim 3$ g $\sim 4$ g $\sim 5$ g $\sim 6$ g $\sim$	$\sim$ 6g	7g	~ 8g ~	~ 9g ~	$\sim 10 \mathrm{g} \sim$	11g	12g	13g	14g	$15g \sim 1$	$6g \sim 1$	$7\mathrm{g}\sim1\mathrm{s}$	$\sim 9g \sim 10g \sim 11g \sim 12g \sim 13g \sim 14g \sim 15g \sim 16g \sim 17g \sim 18g \sim 19g \sim 20g$	~ 20g			総重量	%
石鏃	11	17	2																	-		32.4	1
石鏃未製品	∞	∞	П								-											18.3	0
楔形石器		4	7	7	9	3	2	12	4	3	က	1	-	2	1	-	1	1	100	36.8 5	58.6	68.6 617.7	16
スクレイパー				1	2		П			2	2			1				1				167	4
加工痕のある石器	17	52	37	25	17	15	∞	7	4													1178	31
その剥片	493	141	7.1	25	16	15	11	13	5	4												1773	47
合計			1							-											-	3786	66

SR02(石・土器集中部)	等)																						
	$\sim 1 \mathrm{g}$	$\sim 1g \sim 2g \sim 3g \sim 4g \sim 5g \sim$	$\sim 3g$	$\sim 4g$	$\sim 5g$	eg	~ 7g	~ 8g ~	~ 96 ~	· 10g ~	· 11g ~	$12g \sim$	$13g \sim$	$14g \sim$	$15g \sim 1$	$6g \sim 17$	$ g  \sim 18$	$\sim 9g \ \sim 10g \ \sim 11g \ \sim 12g \ \sim 13g \ \sim 14g \ \sim 15g \ \sim 16g \ \sim 17g \ \sim 18g \ \sim 19g \ \sim 20g$	- 20g		鑢	総重量 6	%
石鏃	4	4																				7.9	2
石鏃未製品																							0
楔形石器					П				-					_						23.1	28.3	64.9	16
スクレイパー																	-				Ī	16.8	4
加工痕のある石器	8	10	9	9	П	2		3	-	П	. —									33.6		110	27
その剥片	51	6	∞	П	П	2		3		-	-				-					22.5	52.9 19	198.5	49
石錘		1							-													6.1	2
合計																					` 	404	100

SR02 (その他)																							
-	$\sim 1g$	$\sim 2g$	$\sim 1g$ $\sim 2g$ $\sim 3g$ $\sim 4g$ $\sim 5g$	$\sim 4 \mathrm{g}$	$\overline{}$	$\sim$ 6g	$\sim$ 7g	$\sim 8g$	$\sim 6g \sim 7g \sim 8g \sim 9g \sim 10g \sim 11g \sim 12g \sim 13g \sim 14g \sim 15g \sim 16g \sim 17g \sim 19g \sim 19g$	$\sim$ g01	$11g \sim 1$	$2\mathrm{g}\sim13$	$3\mathrm{g}\sim16$	$g \sim 15$	$3 \sim 16g$	$\sim 17g$	$\sim 18g$	$\sim 19 \mathrm{g}$				総重量	%
石鏃	10	3	1																			13.2	3
石鏃未製品		2	-																			5.2	1
楔形石器			1	2	3	2	Н	П					1						20	23.4	41.2	146	28
スクレイパー																							0
加工痕のある石器	П	11	7	2	4			2		-	-				П			1	27	40.8		192	37
その剥片	49	19	7	9	വ	3	3	-				-										158	31
合計																						514	100

SX01

	%	0	П	43	0	38	18	100
ŀ	総重量	1.1	3.8	150.9		58.9 133.2	63.5	352.5
					:	58.9		
				121		35.8		
	$\sim 20 \mathrm{g}$							
	$\sim 19g$							
	$\sim 6g \ \sim 7g \ \sim 8g \ \sim 9g \ \sim 10g \ \sim 11g \ \sim 12g \ \sim 14g \ \sim 15g \ \sim 16g \ \sim 17g \ \sim 18g \ \sim 19g \ \sim 20g \ \simeq 20g \ \simeq 10g \ \sim 10g \ $							
	$\sim 17g$							
	$\sim 16g$			1				
	$\sim 15g$							
	$\sim 14g$							
	$\sim 13g$					1		
	$\sim 12g$					1		
	$\sim 11g$						1	
	$\sim 10g$					1		
	$\sim 9 \mathrm{g}$			1				
	$\sim 8g$					•	1	
	$\sim$ 7g					3		
	$\sim 6 \mathrm{g}$			1		2		
	$\sim 5 { m g}$						П	
	$\sim 4$ g						П	
	$\sim 3g$					3	П	
	$\sim 1 \mathrm{g} \sim 2 \mathrm{g} \sim 3 \mathrm{g} \sim 4 \mathrm{g} \sim 5 \mathrm{g}$	П	2			2	П	
	$\sim 1g$		2			2	28	
		石鏃	石鏃未製品	楔形石器	スクレイパー	加工痕のある石器	その剥片	合計
- 000		石鏃	石鏃未	楔形石;	スクレ	加工痕(	その剥	

SX02

	~ ·				~ I		
%	12			)	28	09	100
総重量	2.6				6.4	13.4	22.4
$\sim 20g$							
~ 19g							
- 18g							
- 17g							
. 16g ~							
$\sim 5g \ \sim 6g \ \sim 7g \ \sim 8g \ \sim 9g \ \sim 10g \ \sim 11g \ \sim 12g \ \sim 13g \ \sim 14g \ \sim 15g \ \sim 16g \ \sim 17g \ \sim 19g \ \sim 20g \ \text{\&nmass} = 10g \ \sim 10g \$		,					
$14\mathrm{g}$							
$13g$ $\sim$							
$12g$ $\sim$						-,	
11g							
$\sim$ g01							
$_{\rm I}\sim 10^{-3}$							
$\sim$ gs							
$\sim g$							
$g \sim 7$						-	
$9\sim $ g							
$\sim 1 \text{g} \sim 2 \text{g} \sim 3 \text{g} \sim 4 \text{g}$							
$\sim 3g$							
$\sim 2$ g						3	
$\sim 1$ g	2				4	2	
	石鏃	石鏃未製品	楔形石器	スクレイパー	加工痕のある石器	その剥片	合計

第8表 SX01·火処1出土石器

#### 〈参考文献〉

平井泰男 1999 「中部瀬戸内地方における縄文時代後期末葉から晩期の土器編年試案」『突帯文と遠賀 川』土器持寄会論文集刊行会

藤井雄三・山元敏裕 1995 「居石遺跡」『一般国道高松東道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告 第7冊』 高松市教育委員会 建設省四国地方整備局

平井泰男 1995 「第3節 縄文時代晩期中葉の土器について」「第4節 縄文時代晩期後葉の土器について」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』100

## 土 器 観 察 表

報文 図版 ※号 ※号	四 区名	報告書語時機久	層位	器種	法量(cm)	残存率	胎士	色調・内面(胎土)	色調·外面 (内外納色調)	外面調整	内面調整	形態上の特徴	備考
-	,	13NV.7	ı	土・蹇	底径20.7	底部完存 (	長石 石英·1~2m·普,赤色粒子· 0.5~1m·やや少	2.5Y6/2灰黄	2.5Y6/2灰黄	板ナデ・回転ナデ・ハケメ	板ナデ・回転ナデ		
<del>                                     </del>		171424	ı	弥·商	口径15.4	口縁部1/8	Ⅲ·多,赤色粒子·1	2.5Y6/1黄灰	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・マメツ	指押さえ・マメツ・ナデ	口綠部:凹線1条+刻目	
		27S2kv.4		湖·目	底径10.2	底部1/8	長石 石英·lum·少,黑色粒子·lum· 少	N6/灰	N6/灰	回転ナデ	回転ナデ		内外面火欅
4 13	e e	32トレンチ	1	弥·高杯	口径25.6, 器高16.7, 底径10.2	脚部完存	長石 石英·0.5~2m·多,赤色粒子·0.5m·普	2.5Y8/2灰白	7.5YR7/4にぶい橙	ョコナデ・不明・沈線1条・ヨコナデ	ナデ(不明)・指押さえ・板ナデ		
5 13	-	20トレンチ東	-	弥·鉢		底部小片	長石 石英・1回・普,赤色粒子・1~2 間・やや少	7.5YR6/4にぶい橙	10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・指押さえ・マメツ	指押さえ後板ナデ・マバッ		
L		21SIトレンチ	_	網·深鉢		口縁部小片		10YR6/8明黄褐	10YR5/3にぶい黄褐	条痕	マメツ	口唇:刻目	
<i>L</i>		21SIhv>#	ı	網·深鉢	-	体部小片	色粒子:	2.5Y5/1黄灰, 2.5Y7/1灰白	10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	文:爪形	
.80		21SIトレンチ		縄·底部	底径3.3	底部3/8	長石 石英・1~2mm・やや多	10YR4/4褐	10YR8/2灰白	マメツ	マメツ		
26	<u>-</u>	SD01	ı	海·幹	口径14.6	口縁部小片	長石 石英·0.5㎜·少,黒色粒子·0.5 💼·少	5Y7/1灰白	5Y7/1灰白, N6/灰	回転ナデ	回転ナデ		
57	<u>-</u>		1	須·杯身	口径9.0	屯	_	N6/灰	N7/灰白	7.	回転ナデ		
28	<u>-</u>		-	弥·甕			長石 石英・0.5~1回・普 長石 石英・0.5~1回・普	10YR6/4にぶい黄橙	10YR6/4にぶい黄橙		ナデ・板ナデ		接合部には円弧状の
69	N	5 SD05	1	土·高杯	ı	脚部5/8	$\overline{}$	7.5YR8/6浅黄橙	7.5YR8/6浅黄橙	回転ナデ	回転ナデ		対み
60 15	5 1 🗵	SD09		土・小皿	口径8.5, 器高1.6, 底径6.4	口縁部6/8	長石 石英・0.5~1㎜・やや少・赤色   粒子・0.5㎜・普	10YR8/3浅黄橙, 5YR6/8橙	10YR8/3浅黄橙, 5YR6/8橙	回転ナデ・回転へう切り	回転ナデ		
61 15	⊠ 1 ≤	SD09	ı	土・杯	口径14.3, 器高4.0, 底径8.5	ほぼ完形	長石 石英・0.5mm・少,赤色粒子・0.5 ~1mm・やや多	10YR8/3浅黄橙	10YR8/3浅黄橙	回転ナデ	回転ナデ		
62 15	図1 9	5 SD09		土・杯	口径14.6, 器高2.9, 底径9.0	底部2/8		10YR8/2灰白	10YR8/2灰白	回転ナデ・回転へう切り	回転ナデ		
63	<u> </u>	5 SD09	ı	弥·壺	-	体部1/8	長石 石英・0.5~1㎜・やや多,赤色 粒子・0.5㎜・少	10YR8/3浅黄橙	10YR7/2にぶい黄橙	板ナデ・マメツ	板ナデ・マメツ		
64 15	5 I K	5 SD09	-	須・碗	口径14.2, 器高4.8, 底径5.8			2.5Y7/1灰白	2.5Y7/1灰白	町り後ナデ・マメツ			重ね焼き痕あり
65	N	5 SD09	_	須·碗	底径5.2	底部2/8		2.5Y7/3浅黄	7.5YR7/4にぶい橙	回転ナデ・マメツ	回転ナデ・マメツ		
99	⊠ I			須·碗	口径15.2	口縁部2/8		2.5Y7/1灰白	5Y8/1灰白	· 7×"	ヘラミガ・キ・マメツ		重ね焼き痕あり
29	<u>_</u>	€ SD09	-	海·巍		口縁部小片	口縁部小片 ほとんど砂粒を含まない	5Y7/1灰白	10Y5/1灰	回転ナデ	回転ナデ		重ね焼き痕あり
68 15	2 1 区	北部 包含層		土・小皿	口径7.8, 器高1.3, 底径5.6	口縁部6/8	長石 石英・0.5~1㎜・普,赤色粒子・, 0.5~1㎜・普	7.5YR7/8黄橙	7.5YR7/8黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ,		
69	N I	北部 包含曆	1	土・杯	口径10.0, 器高2.0, 底径6.4	底部1/8	長石 石英・0.5~1㎜・普,赤色粒子・ 0.5㎜・やや少	5YR5/6明赤褐	5YR4/6赤褐	回転ナデ・回転ヘラ切り・マメツ	回転ナデ・マメツ		
10	N I	北部 包含層	- 1	須·杯	底径7.0	底部1/8	長石 石英・0.5~1㎜・普	5PB青灰	5PB青灰	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ		
71	N			須·弼	底径7.0	底部小片	長石 石英・0.5mm・やや少,黒色粒子・0.5mm・やや少	2.5Y7/1灰白	2.5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ後ハケメ		
72	N N	-	1	須·蘇	口径14.0	口綠部小片	長石 石英·0.5㎜·少	N7/灰白	N7/灰白	回転ナデ	回転ナデ	. 1	
7.3	<u></u>			邃·干	底径5.2	底部2/8	長石 石英・0.5㎜・少	10YR6/6明黄褐	10YR6/6明黄褐	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ・マメツ		
74	MI	≤ 西壁壁切り		須·碗	底径3.6	底部2/8	4	N7/灰白	5Y7/1灰白	板ナデ・回転ナデ	板ナデ		
75	M	₹ SP01		須·築	底径3.8	底部2/8	長石 石英·0.5㎜·少,赤色粒子·0.5㎜·少	10YR7/1灰白	10YR7/1灰白	指押さえ後ナデ・ナデ	板ナデ	-	

図版         KA         報告書         層位         器種         法量(cm)         残存率	報告書	層位 器種 法量(cm)	法量(cm)		残存率	1	胎土	色調・内面(胎土)	色調·外面 (内外釉色調)	外面調整	內面調整	形態上の特徴	備考
I区 SK03 -   陶器・碗   底径4.2   底部2/8  ほとんど砂粒を含まない	SK03 - 陶器·碗 底径4.2 底部2/8	底径4.2 底部2/8	底径4.2 底部2/8	2 底部2/8	_	ほとんど砂粒を含まない	1	胎)10YR7/2にぶい黄橙	釉)2.5GYオリーフ'灰	回転ナデ・削出高台	回転ナデ		貫釉有り
	区 SK06 - 福·深鉢 - 口線節小片 長石 石英·0.5~3■·多	- 口縁部小片 長石 石英·0.5~3㎜·多	- 口縁部小片 長石 石英·0.5~3㎜·多	長石 石英・0.5~3㎜・多	長石 石英・0.5~3㎜・多	石英・0.5~3㎜・多	1 27	7.5YR6/6橙	10YR7/3にぶい黄橙	+7.	† <del>;</del>	口綠部:貼凸	
II区 SK06 - 編・後鉢 - 口縁部小片 長石 石英・1画・やや少 5Y	SK06 - 福·後鉢 - 口縁部小片 長石 石英・1画・やや少	- 口縁部小片 長石 石英・1㎜・やや少	- 口縁部小片 長石 石英・1㎜・やや少	長石 石英・1㎜・やや少	長石 石英・1㎜・やや少	石英・1冊・やや少	12	5Y8/1灰白	5Y8/1灰白	77'	75'	口唇:刻目	
最大長5.5, SK06 - 焼土塊 最大幅6.4, 破片 長石 石英・0.5~1mm・少 最大學3.9	最大長5.5, SK06 - 焼土塊 最大幅6.4, 破片 長石 石英・0.5~1mm・少 最大學3.9	最大長5.5, 最大幅6.4,破片 最大年3.9	最大長5.5, 最大幅6.4,破片 最大年3.9	破片 長石 石英・0.5~1㎜・少	破片 長石 石英・0.5~1㎜・少	5∼1mm·4}	1.5	žfrd	7.5YR6/6橙	指押さえ・マメツ	指押さえ・マメツ		象形物?
	大処  - 編・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1㎜・やや多,赤色   対処	- 口縁部小片   長石 石英・0.5~1m・やや多,赤色   粒子・1m・少	- 口縁部小片   長石 石英・0.5~1m・やや多,赤色   粒子・1m・少	長石 石英・0.5~1㎜・やや多,赤色 粒子・1㎜・少	長石 石英・0.5~1㎜・やや多,赤色 粒子・1㎜・少	5~1㎜・やや多,赤色	ξO3	10YR4/2灰黄褐	7.5YR6/4にぶい橙	1.5	† <del>†</del> *	口:彼状口緣? 口唇:刻目	
5~1㎜·普,赤色粒子・	大処! - 福·深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm·普·赤色粒子・   1mm・少	- □縁部小片   長石 石英·0.5~1㎜・普·赤色粒子・ 1㎜・少	- □縁部小片   長石 石英·0.5~1㎜・普·赤色粒子・ 1㎜・少	長石 石英·0.5~1㎜·普,赤色粒子· 1㎜·少	長石 石英·0.5~1㎜·普,赤色粒子· 1㎜·少	5~1㎜·普,赤色粒子・	7.5	7.5YR6/4にぶい橙	10YR6/31こぶい黄橙	† <del>*</del> *	77.	-	
17   11区   火処    -   編・深体   -     体部小片   長石 石英・1~2m・やや多 雲母・1 7.5YI   m・少・赤色粒子・1m・やや少	大型  -	- 本部・1~2m・やや多・ - 本部・1~2m・やや多・ - 本部・1・2・m・やや少・ - 本部・1・2・m・ややか・	- 本部・1~2m・やや多・ - 本部・1~2m・やや多・ - 本部・1・2・m・やや少・ - 本部・1・2・m・ややか・	長石 石英·1~5回·やや多,蝦母·1 同・少,赤色粒子・1回・やや少	長石 石英·1~5回·やや多,蝦母·1 同・少,赤色粒子・1回・やや少	·やや多,雲母·1 11·やや少	7.5YI	7.5YR5/3にぶい褐	5YR5/6明赤褐	へう描き沈線・マメツ	ナデ・マメツ	文:爪形	
位子・1	大処1         -         翻,底部         底径1.8         底部完存         長石 石英·1~3m·普·茅色粒子·1	展径1.8 底部完存	展径1.8 底部完存	底部完存 - 長石 石英・1~3mm・普,赤色粒子・1 - 3mm・普,その他・1~2mm・普	長石 石英・1~3mm・普,赤色粒子・1~3mm・普,その他・1~5mm・普	_	10YR	10YR6/4にぶい黄橙	10YR6/3にぶい黄橙	17.047	17:047		
- 網·深鉢 口径33.8 口縁部1/8	SX01 - 縄・深鉢 口径33.8 口線部1/8 長石 石英・0.5~1mm・やや多	口径33.8 口縁部1/8 長石 石英・0.5~1㎜・やや多	口径33.8 口縁部1/8 長石 石英・0.5~1㎜・やや多	口縁部1/8 長石 石英・0.5~1㎜・やや多	長石 石英・0.5~1㎜・やや多		/LX5		2.5Y7/2灰黄	77,	+7.		
SX01 - 細·深鉢 - 口綠部小片 長石 石英·0.5~1㎜·普	SX01 - 細·深鉢 - 口綠部小片 長石 石英·0.5~1㎜·普	- 口縁部小片 長石 石英·0.5~1㎜·普	- 口縁部小片 長石 石英·0.5~1㎜·普	長石 石英・0.5~1㎜・普	長石 石英・0.5~1㎜・普	石英・0.5~1㎜・普	3.5Y	2.5Y8/2灰白	2.5Y8/2灰白	ナデ・マメツ	マメツ	*	
II区   SX01   - 網・深鉢   - 口縁部小片   長石 石英・1~4mm・やや多・その   2.5½	SX01	- 口縁部小片   長石 石英·1~4mm·やや多,その   他·1~5mm·普	- 口縁部小片   長石 石英·1~4mm·やや多,その   他·1~5mm·普	長石 石英・1~4mm・やや多,その他・1~5mm・普	長石 石英・1~4mm・やや多,その他・1~5mm・普	石英・1~4mm・やや多,その ~5mm・普	2.5YE	2.5Y5/2暗灰黄	2.5Y7/2灰黄	ナデ・ケスツ	マメツ	口唇:刻目	
- 口縁部小片 長石 石英·1~2㎜·普	SX0   -	- 口縁部小片 長石 石英·1~2㎜·普	- 口縁部小片 長石 石英·1~2㎜·普	長石 石英·1~2㎜音	長石 石英·1~2㎜音	石英・1~2㎜・普	2.5Y3	2.5Y3/1黒褐	10YR7/2にぶい黄橙	+7.	† <del>7</del> °	口:波状口縁 口唇:刻目 文:爪形	
石英・0.5㎜・やや少	SX01 -   編・梁鉢   -   体部小片   長石 石英・0.5mm・やや少	- 体部小片 長石 石英・0.5mm・やや少	- 体部小片 長石 石英・0.5mm・やや少	長石 石英・0.5㎜・やや少	長石 石英・0.5㎜・やや少	石英・0.5㎜・やや少	3.5Y7	2.5Y7/2灰黄	10YR7/3にぶい黄橙	17.	+ <del>7</del> '	文:爪形	
- 体部小片 長石 石英·0.5~2m·普·憲母·0.5 m· 中 (本部・1 m・2 を) を	A	- 体部小片 長石 石英·0.5~2m·普/ 選母·0.5 m· 中 (本部・4・1年・4・1年・4・2・4・4・1年・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・	- 体部小片 長石 石英·0.5~2m·普/ 選母·0.5 m· 中 (本部・4・1年・4・1年・4・2・4・4・1年・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・	長石 石英・0.5~2mm・普,雲母・0.5 mm・少,赤色粒子・1mm・やや少	長石 石英・0.5~2mm・普,雲母・0.5 mm・少,赤色粒子・1mm・やや少	石英・0.5~2mm・普,雲母・0.5 赤色粒子・1mm・やや少	10YR6	10YR6/1褐灰	10YR7/2にぶい黄橙	ケスリ・マメツ	指押さえ・マグ	文:爪形	
	SX01 -	- 口祿部小片 長石 石英·0.5~1mm·少	- 口祿部小片 長石 石英·0.5~1mm·少	長石 石英·0.5~1mm·少	長石 石英·0.5~1mm·少		10YR	10YR4/2灰黄褐	10YR4/2灰黄褐	37年	沙洋	口:彼状口緣	
底部3/8 長石 石英・1~2mm・普・赤色粒子・1 ~2mm・少・その他・1~3mm・やや少	SX01	底径4.0     底部3/8     長石 石英・1~2m·普·赤色粒子・1       ~2mm·少,その他・1~3mm・やや少	底径4.0     底部3/8     長石 石英・1~2m·普·赤色粒子・1       ~2mm·少,その他・1~3mm・やや少	底部3/8 長石 石英・1~2mm・普・赤色粒子・1 ~2mm・少・その他・1~3mm・やや少	底部3/8 長石 石英・1~2mm・普・赤色粒子・1 ~2mm・少・その他・1~3mm・やや少	1	2.5Y	2.5Y7/1灰白	2.5Y6/2灰黄	ケスリ・マメツ	ナデ・マメツ		
石英・0.5~2㎜・やや少	最上層 暗褐色粘土         焼土塊         最大幅5.5,         株土塊         最大幅5.6,         破片         長石 石英・0.5~2mm・やや少           最大厚4.8         最大厚4.8         最大厚4.8         日本7年・0.5~2mm・やや少         日本7年・0.5~2mm・やや少	最大長5.5, 焼土塊 最大幅5.6, 破片 長石 石英・0.5~2mm・やや少 最大厚4.8	最大長5.5, 最大幅5.6, 破片 長石 石英・0.5~2mm・やや少 最大厚4.8	破片 長石 石英・0.5~2㎜・やや少	破片 長石 石英・0.5~2㎜・やや少	石英・0.5~2㎜・やや少	2.5Y	2.5Y8/2灰白	2.5Y8/2灰白	指押さえ	指押さえ		
	SR01         上層 暗褐色粘質土         縄・深鉢         口径33.8         口線部1/8         長石 石英・0.5~1㎜・少、霊母・0.5	暗褐色粘質土 縄・深鉢 口径33.8 口縁部1/8 長石 石英・0.5~1mm・少・雲母・0.5	日径33.8 日縁期1/8 長石 石英・0.5~1mm・少・雲母・0.5 mm・少・雪母・0.5	口縁部1/8 長石 石英・0.5~1㎜・少,雲母・0.5 ㎜・少	長石 石英·0.5~1㎜·少,雲母·0.5 ㎜·少	石英・0.5~1㎜・少,雲母・0.5	10YR	10YR6/2灰黄褐	10YR6/2灰黄褐	+7,	† <del>;</del>	口:波状口縁	
II区   SR01   上層 暗褐色粘質土   縄・深鉢   口径31.6   口線部小片   長石 石英・0.5~1m・やや少 黒母・10YF   10分割・水色粒子・0.5~1m・少   10分割・10分割・10分割・10分割・10分割・10分割・10分割・10分割・	SR01         上層 暗褐色粘質土         縄・深鉢         口径31.6         口縁部小片         長石 石英・0.5~1m・やや少・霊母・	暗褐色粘質土 縄・深鉢 口径31.6 口縁部小片 長石 石英・0.5~1m・やや少・霊母・ 0.5m・少・赤色粒子・0.5~1m・少	日径31.6 日縁部ハ片 長石 石英・0.5~1㎜・やや少・雲母・ 0.5㎜・少・赤色粒子・0.5~1㎜・少	口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少,雲母・0.5mm・少,赤色粒子・0.5~1mm・少	長石 石英・0.5~1mm・やや少,雲母・ 0.5mm・少,赤色粒子・0.5~1mm・少	長石 石英・0.5~1mm・やや少,雲母・ 0.5mm・少,赤色粒子・0.5~1mm・少	10YF	10YR6/3にぶい黄橙	10YR4/2灰黄褐	+7,	† <i>†</i> '	口唇:刻目	
17         II区         SR01         上層 暗褐色粘質土         縄・深鉢         口径33.4         口縁部小片         粒子・1~2mm・やや多・赤色         N3/暗灰	SR01         上層 暗褐色粘質土         縄・深鉢         口径33.4         口縁部小片         長石 石英・0.5~3mm・やや多・赤色	暗褐色粘質士 縄・深鉢 口径33.4 口縁節小片 技石 石英・0.5~3mm・やや多,赤色 粒子・1~2mm・少	口径33.4     口径33.4     口線部小片 粒子・1~2mm・少	口綠部小片	長石 石英・0.5~3mm・やや多,赤色 粒子・1~2mm・少	石英・0.5~3mm・やや多,赤色 1~2mm・少	√3/E		2.5Y5/2暗灰黄	幅広さがキ風ナデ・ナデ	幅広さガキ風ナデ後タテミガキ風 ナデ	口唇:刻目	口縁部下に焼成前穿 孔1孔残
SR01 上層 暗褐色粘質土  網·深鉢   口径20.0   口線部小片   長石 石英·0.5~2mm·やや多	SR01 上層 暗褐色粘質土  網·深鉢   口径20.0   口線部小片   長石 石英·0.5~2mm·やや多	暗褐色粘質士 縄・深鉢 口径20.0 口縁部小片 長石 石英・0.5~2mm・やや多	編·深鉢 <a> □径20.0 □線部小片長石石英·0.5~2mm·やや多</a>	口縁部小片 長石 石英・0.5~2mm・やや多	長石 石英・0.5~2㎜・やや多	長石 石英・0.5~2㎜・やや多	2.5Y		2.5Y6/1黄灰	マメツ	<i>+</i> <del>7</del> ′	口:波状口縁	
上層 暗褐色粘質土 網·深鉢 - 口線部小片 長石 石英·0.5~1mm·少	SR01 上層 暗褐色粘質土 網·深鉢 - 口線部小片 長石 石英·0.5~1mm·少	暗褐色粘質土 網·深鉢 - 口線部小片 長石 石英·0.5~1mm·少	- 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・少	長石 石英・0.5~1㎜・少	長石 石英・0.5~1㎜・少	長石 石英・0.5~1㎜・少	50	槾	10YR6/2灰黄褐	扩	+7.	口:波状口縁	
	SR01 上層 暗褐色粘質土   縄·深鉢 - 口線部小片 長石 石英·1~5mm·多	暗褐色粘質土 網·深鉢 - 口緣部小片 長石 石英·1~5mm·多	- 口縁部小片 長石 石英·1~5mm·多	長石 石英・1~5㎜・多	長石 石英・1~5㎜・多		10YR	10YR4/1褐灰	10YR3/2黒褐	+7.	+7,	口唇:刻目	
	SR01 上層 暗褐色粘質土 縄·深鉢 - 口縁部小片 長石 石英·0.5~2mm·やや多·赤色 粒子·1~2mm·少	暗褐色粘質土 網·深鉢 - 口緣部小片 長石 石英·0.5~2mm·やや多·赤色 裕色粘質土	- 口縁部小片   長石 石英・0.5~2mm・やや多,赤色   粒子・1~2mm・少	長石 石英・0.5~2㎜・やや多,赤色 粒子・1~2㎜・少	長石 石英・0.5~2㎜・やや多,赤色 粒子・1~2㎜・少	~2mm·やや多,赤色	2.5Y5	2.5Y5/2暗灰黄	10YR4/6褐	ナデ・マメツ	マメツ	口唇:刻目	
•	SR01         上層 暗褐色粘質土         縄・深鉢         -         口縁部小片         長石 石英・0.5~1㎜・やや少・雲母・	暗褐色粘質士	- 口縁部小片   長石 石英・0.5~1㎜・やや少・雲母・ 1㎜・少・その他・1㎜・少・	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,雲母・ 1㎜・少,その他・1㎜・少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,雲母・ 1㎜・少,その他・1㎜・少		2.5Y7	2.5Y7/2灰黄	2.5Y8/3浅黄	<i>+</i> <del>7</del> *	<b>ナ</b> デ'	口唇:刻目	
暗褐色粘質土 編・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1m・やや少・赤色 桁を粘質土 細・深鉢 - 1 は線部小片 粒子・1m・少・その他・1m・少	RR01   上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 口縁部小片   長石 石英・0.5~1mm・やや少・赤色   松子・1mm・少・その他・1mm・少・	暗褐色粘質士 縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1m・やや少・赤色 粒褐色粘質土 (	長子 -   日禄部小片   長石 石英・0.5~1m・やや少・赤色   14条部小片   粒子・1m・少,その他・1m・少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子・1㎜・少,その他・1㎜・少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子・1㎜・少,その他・1㎜・少	',赤色	10YR	10YR6/4にぶい黄橙	2.5Y4/1黄灰	ナデ	<i>ታ</i> <del>- 7</del> ·	口唇:刻目	
SR01 上層 暗褐色粘質土 縄·深鉢 - 口縁部小片 長石	SR01 上層 暗褐色粘質土 網·深鉢 - 口縁部小片 長石 石英·0.5~3mm·多	暗褐色粘質士 網·深鉢 - 口綠部小片 長石 石英·0.5~3mm·多	- 口縁部小片 長石 石英·0.5~3mm·多	長石 石英·0.5~3mm·多	長石 石英·0.5~3mm·多		5Y2/	1]黒	10YR3/2黒褐	ミガキ風ナデ・マメツ	んそと	口唇:刻目	
SR01 上層 暗褐色粘質土 細·深鉢 - 口縁部小片 長石 石英·0.5~1㎜·やや少	SR01 上層 暗褐色粘質土 細·深鉢 - 口縁部小片 長石 石英·0.5~1㎜·やや少	暗褐色粘質士 縄·深鉢 - 口線部小片 長石 石英·0.5~1㎜·やや少	縄·深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	石英・0.5~1㎜・やや少	2.5	1	10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ・幅広さがキ風ナデ	口唇:刻目	
SR01 上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	SR01 上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	編・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	石英・0.5~1㎜・やや少	10Y	にぶい黄橙	10YR7/2にぶい黄橙	条痕・マグ	ナデ・マメツ	口唇:刻目	
	SR01 上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~3mm・やや多	暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~3mm・やや多	- 口縁部小片   長石 石英・0.5~3mm・やや多	長石 石英・0.5~3mm・やや多	長石 石英・0.5~3mm・やや多	石英・0.5~3㎜・やや多	N3/	N3/暗灰	10YR7/3にぶい黄橙	ナデ後へう描き沈線	不明	口唇:刻目	
網·森鉢 - 体部小片 長石 石英·0.5~2㎜·普	SR01 上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢 - 体部小片 長石 石英・0.5~2mm・普	暗褐色粘質土 縄·深鉢 - 体部小片 長石 石英·0.5~2mm·普	- 体部小片 長石 石英・0.5~2回・普	長石 石英・0.5~2㎜・普	長石 石英・0.5~2㎜・普	石英・0.5~2回・普	2.	2.5Y7/2灰黄	2.5Y7/2灰黄	条痕後~う状工具による縦方 向の沈線	<del>1</del> 7.		
17   II 区   SR01   上層 暗褐色粘質士   縄・深鉢   -   口縁部小片   長石 石英・0.5~1mm・やや少   10	SR01 上層 暗褐色粘質士   縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	暗褐色粘質士  縄・深鉢 - 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	- 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少		10YR5/1褐灰	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ	+÷*	文:爪形	
17     区   SR0    上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢   口径28.8   口線部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや多   10	SR01 上層 暗褐色粘質土 縄・深鉢 口径28.8 口縁部小片 長石 石英・0.5~1mm・やや多	暗褐色粘質士 縄・深鉢 口径28.8 口縁節小片 長石 石英・0.5~1mm・やや多	口径28.8 口縁部小片 長石 石英·0.5~1m·やや多	口縁部小片 長石 石英・0.5~1㎜・やや多	長石 石英・0.5~1mm・やや多	長石 石英・0.5~1mm・やや多	2	10YR5/2灰黄褐	2.5Y6/3にぶい黄	指押さえ・ナデ・マメツ	マメツ	口唇:刻目口縁部:貼凸(刻目)	

開土
長石 石英・0.5~5mm・やや多,赤色 粒子・1~5mm・やや少,その他・1~2 m・普
長石 石英・0.5~2mm・普,赤色粒子・0.5mm・少,その他・0.5~1mm・少
長石 石英・1~2回・やや多・赤色粒子・1~2回・少・その色・1~2回・サ
長石 石英・1~3㎜・やや多
最石 石英・0.5~2m・やや多・赤色 口礫部小片 粒子・0.5~1m・少・その色・0.5~1 m・少
長石 石英・0.5~1mm・やや少 2.5Y6/1黄灰
版有 有英・0.5~3回・やや多 2.574/1 <u>国</u> 灰
や多,雲母・
長石 石英・0.5~1㎜・やや少・赤色 10YR7/3にぶい黄橙粒子・0.5㎜・少
長石 石英・0.5~2mm·普,赤色粒子・12.5V7/4浅黄 1mm・少,その他・1~2mm・やや少
長石 石英・0.5~1mm・やや少,赤色 10YR6/3にぶい黄橙粒子・0.5~1mm・少
長石 石英・0.5~1m·やや少,雲母・ 0.5m·少,赤色粒子・0.5m·少
長石 石英・0.5~1mm・普,その他・1 10YR7/1灰白目・少
長石 石英・0.5~3mm・普 10YR6/3にぶい黄橙
長石 石英·0.5~1.5㎜·普,赤色粒 子·1㎜·少
長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子・4㎜・少
長石 石英・0.5~2㎜・普,赤色粒子・ 0.5~2㎜・やや少
長石 石英・0.5~11㎜・やや少,角閃 石・0.5㎜・少,赤色粒子・0.5㎜・少
長石 石英·0.5mm·少 2.5Y5/1黄灰
m·普,赤色粒子·
長石 石英·0.5~1㎜·普   2.5Y4/1黄灰
長石 石英・0.5~2mm・やや少,赤色   10YR5/2灰黄褐粒子・0.5mm・少
長石 石英・0.5~2mm・やや多,赤色 2.5Y5/2暗灰黄粒子・1mm・少
長石 石英・0.5~1mm・やや少,赤色 2.5A4/1黄灰粒子・1mm・少
長石 石英·1~2mm·普 7.5YR4/6褐
長石 石英·1~2㎜·やや多,赤色粒 구·1㎜·少
長石 石英·0.5~1㎜·普,赤色粒子·7.5YR4/1褐灰0.5~1㎜·少
長石 石英·1~5mm·非常に多,赤色 約2.0 5mm. 並

報文 図版 番号	版 B 区名	名 報告書 遺構名	層位	器種	法量(cm)	残存率	干뫺	色調・内面(胎土)	色調·外面 (内外輪台調)	外面調整	内面調整	形態上の特徴	備老
-	믜	区 SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	口径33.0	口縁部小片	長石 石英·0.5~1㎜·少	10YR6/3にぶい黄橙	10YR6/3にぶい黄橙	+7.	3分字風ナデ		
155 18	-	区 SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	口径38.8	口縁部1/8	長石 石英·0.5~2㎜·多,赤色粒子· 0.5㎜·少	2.5Y6/2灰黄	2.5Y6/2灰黄	<del>1</del> 7.	† <del>;</del>	口唇:刻目	
156 18	п	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	1	口縁部小片	長石 石英・1~4回・やや多,銀母・1 回・少	10YR7/2にぶい黄橙	10YR6/3にぶい黄橙	+7.	† <del>*</del> *	文:刺突	
157 18	3 II 🗵	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢		口縁部小片	-	2.5Y5/1黄灰	2.5Y5/2暗灰黄	条痕	ナデ	口唇:刻目	
158	<u> </u>	II ⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普,赤色粒子・ 1㎜・少,その他・1㎜・少	2.5Y6/1黄灰	10YR6/3にぶい黄橙	77,	447	口唇:刻目	
159 18	3 II 🗵	区 SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	口径24.6	口縁部小片	長石 石英·0.5~1㎜·少	10YR7/6明黄褐	10YR6/2灰黄褐	+7,	77,	文:爪形	
160   18		II ⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	口径23.8	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普,その他・1 ㎜・少	2.5Y6/3にぶい黄	10YR5/6黄褐	+7.	ナデ・マメツ	文:刺突	
161	꼬	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	口径15.0	口縁部1/8	長石 石英・0.5~2㎜・やや少	10YR8/2灰白	2.5Y8/1灰白	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	文:爪形	
162 18	п	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	. 1	口縁部小片	長石 石英·0.5~1㎜·普,赤色粒子· 1㎜·少	10YR6/1褐灰	10YR5/3にぶい黄褐	<del>1</del> 7.	ナデ・沈線1条	文:爪形	
163 18	п	⊠ SR01	下層:灰色砂質土	網·深鉢		口縁部小片	長石 石英·0.5~2㎜・普,赤色粒子・1㎜・少	5YR5/6明赤褐	10YR6/3にぶい黄橙	うがキ風ナデ・ナデ	1 <del>7</del> .	口唇:刻目 口縁部:貼凸(刻目) 文:刺突	
164 18	3 II K	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	ı	口縁部小片	長石 石英・1mm・普,赤色粒子・1mm・ やや少	10YR7/3にぶい黄橙	5YR6/6橙	指押さえ・ナデ	+7.	口祿部:貼凸(刻目)	
165 18	3 II K	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢		口縁部小片	_	5Y7/2灰白	10YR6/6明黄褐	ナデ・ハクリ	ナデ・ハクリ	口縁部:貼凸(刻目)	
166 18	N II 8	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	ı	体部小片		10YR6/3にぶい黄橙	7.5YR4/6褐	77,	指押さえ・ナデ	文:爪形	
167	M	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·深鉢	,	体部小片	長石 石英·1㎜·普,赤色粒子·1㎜· 少	2.5Y4/1黄灰	2.5Y4/1黄灰	77.1)	不明	文:爪形	
891	N	⊠ SR02	下層 灰色砂質土	網·深鉢	ı	体部小片	-	10YR4/2灰黄褐	2.5Y7/2灰黄	条痕後1-5	77,		
169	図Ⅱ	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·浅鉢	1	口縁部小片		7.5YR5/4にぶい褐	2.5Y7/2灰黄	ナデ・シガキ	ナデ・シガキ		
170	N	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·浅鉢	t	口綠部小片		5YR5/6明赤褐	2.5Y4/1黄灰	37.4	不明		
171	N	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·浅鉢	ļ	口縁部小片	長石 石英・1~3㎜・やや多,赤色粒子・1㎜・少	2.5Y7/3浅黄	5YR6/6橙	マメツ	447		
172	NI	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·浅鉢	.1	口縁部小片	m·やや多,赤色	10YR2/1黒	10YR4/1褐灰	ナデ・マメツ	シガキ・マメツ		
173	M	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	編·浅鉢		口縁部小片		2.5Y6/2灰黄	7.5YR5/6明梅	<del>1</del> 7.	77.		
174	MI			網·浅鉢	1		m·普,赤色粒子·	2.5Y4/1黄灰		+7,	77,		
175	凶口	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	網·浅鉢	口径11.5	口縁部小片		10YR7/4にぶい黄橙	10YR3/1黒褐	指押さえ後ナデ・ジガキ・マグツ	ナデ・マメツ		
921	M	⊠ SR01	下層 灰色砂質土	縄·底部	底径3.4	底部完存		2.5Y7/2灰黄	10YR7/4にぶい黄橙	+ <del>-</del>	ナデ		
177	=	II ⊠ SR01	ş	網·浅鉢	1	口縁部小片	8,赤色	5Y6/1灰	5Y4/1灰	3.7.4 	3.D'.*	口:该状口緣	
178	四:		1	網·浅鉢	口径23.8			10YR4/2灰黄褐	<b>®</b>	ナデ・マメツ・ケス・リ	ナデ・シガキ		
179	N N	× SR01	1 1	網·浅鉢	- 口径32.5	口祿部小片口綠部小片	長石 石英・0.5~1mm・やや少 長石 石英・0.5~1mm・普	10YR4/1褐灰 2.5Y6/2灰黄	10YR4/1褐灰 2.5Y7/3浅黄	マメツ・ハクリ ミガキ	マメツ・ハクリ	口:波状口緣	
292	NIK	⊠ SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径32.0		m·普,赤色粒子·	7.5YR4/1褐灰	7.5YR4/1褐灰	77,	<b>ナ</b> デ		
293 21	NE	⊠ SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	口径32.0	口縁部小片	長石 石英・0.5~2㎜・やや少	2.5Y6/1黄灰	2.5Y6/2灰黄	ナデ後:35*キ	77.		
294 21	NE	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径27.3	口縁部小片		2.5Y7/1灰白	5YR6/6橙	条痕	<i>حاد</i> "		
295	N N	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	ı	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや多,赤色 粒子・0.5㎜・少	5Y4/1灰	2.5Y4/1黄褐	ナデ・マメツ	ナデ		

10. Storo 上部下部	図 梅	図版 番号 区名	報告書 遺構名	屠位	器種	(m) ]	残存率	干鼎	色調・内面(胎土)	台調·外面 (內外釉色調)	外面調整	內面調整	形態上の特徴	備考
15   15   15   15   15   15   15   1	2	<del>                                     </del>	S	上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	口径21.8		石英・0.5㎜・少					⊐唇:刻目	
10   1 回   1	l .	N		上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	口径24.8		•	2.5Y5/1黄灰		ハクリ		□唇:刻目	
15   200   1987   1987   1982   1	2	<del>                                     </del>		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径29.8	口縁部1/8	長石 石英・0.5~3㎜・やや多・赤色 粒子・0.5~1.5㎜・やや少	10YR8/2灰白				口唇:刻目	
12   2002   2.48	1	国国	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径34.4	口縁部小片	長石 石英・0.5~5mm・やや少,赤色粒子・1mm・少,その他・1mm・少	10YR6/3にぶい黄橙				口唇:刻目	
10.0   10.0	1 2		SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径31.2	口縁部小片	長石 石英·0.5~1mm·少,赤色粒子·0.5~2mm·少	10YR5/3にぶい黄褐		ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口唇:刻目	
12   2002	2		SR02	上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	口径30.6	口祿部1/8	長石 石英·0.5~1.5m·普	2.574/1黄灰		条痕・ヘラ描き沈線・マメツ		口唇:刻目	
15   2002   2007-200-200-200-200-200-200-200-200-200	1 2			上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径29.4	口縁部小片	長石 石英・0.5~2㎜・普	2.5Y4/1黄灰				口:段状 口唇:刻目	
10         10         20         最終終	1	NI		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径20.6	口縁部小片	長石 石英・0.5~2m・やや多,赤色 粒子・1m・少,その他・1~1.5m・や や少	2.5Y5/1黄灰		† <del>7</del> '		口:被状口緣 口唇:刻目	
10   12   12   12   12   12   12   12	l ∾			上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1		m·普,赤色粒子·	2.5Y4/1黄灰		77,		口唇:刻目	
10 E S002	2	$\vdash$		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1	口縁部小片	長石 石英·0.5~2㎜·多,赤色粒子· 1㎜·普	2.5Y5/1黄灰		ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口唇:刻目	
11         NR 2002         地系等的 地系を的できます。         一個 10 報酬のできます。         日本 2000         地系等的 地系ののできます。         一個 10 報酬のから、しかいのできます。         20 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75 75	1	NII		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	-1	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普,赤色粒子・ 1㎜・やや少	2.5Y7/2灰黄		ナデ	ミガキ風ナデ	口唇:刻目	
10   10   10   10   10   10   10   10	ı	凶口		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普	2.5Y4/1黄灰		幅広沙华風ナデ	<i>+</i> <del>7</del> .	口唇:刻目	-
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1 2			上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1			10YR8/2灰白		幅広さがキ風ナデ	15.	口唇:刻目	
ILC St02   北京 新年		N 11	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	I		長石 石英・0.5~1mm・やや多,雲母・0.5mm・少,赤色粒子・0.5~1mm・少,その他・0.5~1mm・少の他・0.5~1mm・少	5Y5/1灰		+ <del>7</del> '	幅広さがキ風ナデ・ナデ		外面スス付着
IR   SRO2   上端下的   編楽幹   一   日縁的小片   長石 石英・0.5-2mm・普(音符・1mm   2.577/20天黄褐   2.577/20天黄褐   7.79   7.79   7.79   145/20   146/2		NI		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや多	10YR4/1褐灰	10YR5/2灰黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・	口唇:刻目	
INC   SRO2   上層下部   #8·深林   - 日藤部小片   長石 石英 0.5-2mi·普   10/YR6/2RC	1	図Ⅱ		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1	口縁部小片	長石 石英·0.5~2㎜·普,雲母·1㎜· 少	2.5Y7/2灰黄		マメツ	マメツ	口唇:刻目	
INE   SR02   上層下部   操・深体   口径3.7.2   口縁的小片   m-ペキシ赤色粒子・0.5~2m-等・変申・0.5   IOYR6/14 場形   10YR6/12   IOYR6/14 場形   10YR1/4    IOYR6/12   IOYR6/14 に	1	NII		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢				10YR5/2灰黄褐		マメツ	ナデ・マメツ		本部に穿孔
IIE SR02         上層下部 地灰色砂質士 地灰色砂質士         網・深鉢 地深色砂質士         口径21.4         口縁的小片 長石 石英・1~2m・やや少         10YR6/3Lにおい黄橙         10YR6/3Lにおい黄橙         10YR6/3Lにおい黄橙         10YR6/3Lにおい黄橙         17・スタン         7・大線2条           IIE SR02         上層下部 地灰色砂質士         網・深鉢 地灰色砂質士         -         日縁部小片 長石 石英・0.5~1m・普・赤色粒子         10YR6/3Lにおい黄褐 1m・やや少         2.5Y8/1農梅         2.5Y8/1農梅         7・マタン 1CVR6/3Lにおい黄褐 5とY8/1農梅         7・マタン 1CVR6/3Lにおい黄褐 1CVR6/3Lにおい黄褐 1CVR6/3Lにおい黄梅 1CVR6/3Lにおい黄梅 1CVR6/3Lにおい黄褐 1CVR6/3Lにおい黄梅 1CVR6/3Lにおい黄褐 1CVR6/3Lにおい黄梅 1CVR6/3Li 1CVR6	1 2	=		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径37.2	口縁部小片	長石 石英・0.5~2m·普·雲母・0.5 m·やや少,赤色粒子・0.5~1m·や や少	10YR4/1褐灰		ナデ・マメツ		口唇:刻目 文:爪形	
1区 SR02         上層下部         網·深鉢         口径27.4         口縁的1/8         長石 石英・0.5~1mm・普赤色粒子         10VR6/31にぶり黄橙         10VR5/4にぶり黄橙         10VR5/4にぶり黄橙         4所・7・メッツ         3沖風ナデ・スツ           1区 SR02         地層下部         網·深鉢         -         日縁的小片         長石 石英・0.5~1mm・普赤色粒子         10VR5/4にぶり黄梅         ナデ・スツ         ナデ・スツ         オデ・スタック           1区 SR02         地層下部         網・深鉢         -         日縁的小片         長石 石英・0.5~1mm・普赤色粒子         7.5VR5/4にぶい 樹         10VR6/2度黄梅         ナデ・スツ         オデ・スクル         オデ・スクル           1区 SR02         地層 医内砂質士         網・深鉢         -         日縁的小片         長石 石英・0.5~2mm・普赤色粒子         10VR6/2度黄梅         オデ・スクル         オデ・スクル         オデ・スクル           1区 SR02         上層下部         網・深鉢         -         日縁的小片         長石 石英・0.5~2mm・普赤色粒子         10VR6/2度黄梅         オデ・スクル         オデ・スクル         オデ・スクル           1区 SR02         上層下部         網・深鉢         -         本部小片         長石 石英・0.5~2mm・普赤色粒子         2.5V5/1黄灰         オデ・条種         オデ・スクル         <	1 2	-		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径21.4	口縁部小片	長石	10YR5/1褐灰		† <del>;</del>		口唇:刻目 文:爪形	
IIE         SR02         上層下部         網·深鉢         -         日縁部小片         長石 石英・0.5~1mm・普赤色粒子         10VR5/41~5% ) 黃褐         5 Y4/6赤褐         才デ・大数2条         十デ・沈線2条           IIE         SR02         地唇砂質士         網·深鉢         -         日縁部小片         長石 石英・0.5~2mm・管赤色粒子         2.5V3/1黒褐         2.5V6/1黄灰         十デ・イグ         1/デ・イグ         3/美國十デ・イグ         1/デ・イグ	N 1			上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径27.4			10YR6/3にぶい黄橙	10YR5/2灰黄褐	条痕・ナデ・マメツ		口唇:刻目 文:爪形	
1区 SR02         上層下部 極反色砂質士 地反色砂質士 地区の砂質士 1区 SR02         推:森鉢 地区の砂質士 地で鉢 地で鉢 1区 SR02         上層下部 地で鉢 地で鉢 地で鉢 地で砂質士 地で砂質士 地で鉢 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂質士 地で砂砂質 地で 地で 地で 地で 地で 地で 地で 地で	24	П		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	-1		長石 石英・0.5~1 1mm・やや少	10YR5/4にぶい黄褐		ナデ		口唇:刻目 文:爪形	
IE         SR02         上層下部         網·突鉢         本の一方面         表ものまる。        「SONE	L 64	П		上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢		口縁部小片	元 元 元	2.5Y3/1黒褐		ナデ・マメツ		口唇:刻目 文:爪形	
IE         SR02         上層下部         編·深鉢         -         日稼部小片         長石 石英・0.5~2mm・やや少・赤色         10VR6/2灰黄褐         17: 朱蘋         十7: 北線1条           IE         SR02         地反色砂質士         編・深鉢         -         体部小片         左石 五美・0.5~2mm・岩・赤色粒子         2.5Vs/1/2 成黄         17: 朱蘋         十7: 北線1条           IE         SR02         上層下部         網・深鉢         日径24.0         日禄部小片         長石 石英・0.5~1mm・やや少・赤色         10VR5/41にぶい 黄褐         10VR5/31にぶい 黄褐         十7: 朱蘋         十7: 木須         十7: 木刈	27			上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	ı		m·普,赤色粒子·	7.5YR5/4にぶい掲		ナデ		文:爪形	
IE         SR02         上層下部         網·深鉢         -         体部小片         長石 石 英・0.5~2mm 普·赤色粒子         2.575/1 黄灰         2.577/2 灰黄         十デ・          ・デ・	1 67			上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	1		長石 石英・0.5~2mm・やや少,赤色 粒子・1mm・少	10YR6/2灰黄褐		ナデ・		口唇:刻目 文:刺突	
IR   SRO2   上層下部   網・深鉢   口径24.0   口縁部小片   長石 石英・0.5~1mm・やや少・赤色   10YR5/4にぶい・黄褐   10YR5/14形以   17・条痕   17・それ   17・	2			上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	-		m·普,赤色粒子·	2.5Y5/1黄灰		ナデ・		文:爪形	
	67			上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径24.0	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子・0.5~1㎜・少	10YR5/4にぶい黄褐		ナデ・条痕	ナデ・マメツ	口縁部:貼凸(刻目)	

報文 図版 番号 番号	版 区名	報告書遺構名	層位	器種	法量(cm)	残存率		色調·内面(胎土)	色調·外面 (内外釉色調)	外面調整	内面調整	形態上の特徴	備考
322 22	2 II K	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	口径23.0	口縁部2/8	長石 石英・0.5~1回・普,その他・ 0.5~1回・少	2.5Y5/1黄灰	10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・幅広ミガキ風ナデ	幅広さかも風ナデ	口縁部:貼凸(貼り付け 前にへう描き沈線1条)	
323 22	2 IIK	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	口径30.0	口縁部1/8	_	10YR6/2灰黄褐	10YR6/4にぶい黄橙	77.	† <del>†</del>	口唇:刻目口像部:貼凸(刻目)	
324 22	2 II K	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	_	口縁部小片	長石 石英・0.5~2mm・やや少、雲母・、0.5mm・少,赤色粒子・0.5mm・少	2.5Y7/2灰黄	10YR5/3にぶい黄褐	† <b>デ·</b> 条痕	† <del>†</del> ′	口唇:刻目 口縁部:貼凸(刻目)	
325	ПК	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1	口縁部小片		10YR7/2にぶい黄橙	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・マメツ	447	口縁部:貼凸(刻目)	
326	NE	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	- 1	口縁部小片	長石 石英・0.5~3㎜・やや少	2.5Y4/1黄灰	2.5Y7/3浅黄	٠	† <del>†</del> *	ロ縁部:貼凸(刻目は不明)	
327 22	2 IIK	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	1	体部小片	長石 石英・0.5~1mm・普、雲母・0.5 m・少,赤色粒子・1mm・少	10YR5/2灰黄褐	10YR5/3にぶい黄褐	ケスツ	† <del>†</del> '	文:刺突	6
328 22	2 II E	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	ŀ	体部1/8		2.5Y4/1黄灰	10YR7/4にぶい黄橙	条痕・ケス"リ	77,	文:爪形	
329 22	2 IIE	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	1	体部1/8		10YR7/3にぶい黄橙	7.5YR6/4にぶい橙		(,¥2	文:爪形	
330 22	NI 2	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢		体部小片	-1.5mm・やや少,赤 n・少,その他・0.5~1	2.5Y6/2灰黄	10YR6/3にぶい黄橙	条痕・マメツ・	ナデ・マメツ	文:爪形	
331 22	2 IIE	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	, I	体部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普	10YR6/2灰黄褐	10YR6/3にぶい黄橙	++.	+7:-219	文:爪形	
332 22	2 II K	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	_	体部小片	長石 石英・0.5㎜・やや少	10YR3/2黒褐	10YR5/2灰黄褐	ケズリ	† <del>†</del>	文:刻目	
333	N II	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	. !	体部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普	2.5Y5/1黄灰	2.5Y7/3浅黄	マメツ	マメツ	文:爪形	
334	図口	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·深鉢	_	体部小片		10YR5/2灰黄褐	2.5Y7/3浅黄	† <del>†</del>	+7,	文:沈綠状刺突+刺突	
335 22	2 II K	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	縄·深鉢	- 1	体部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子・1㎜・少	10YR5/2灰黄褐	10YR5/2灰黄褐	++.	† <del>†</del> ′	文:沈線1条	
336	N	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	1	口縁部小片	長石 石英·0.5~2mm·やや多	10YR6/2灰黄褐	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・	† <del>;</del> '	口唇:刻目(マメツ)	
337	II N	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	口径13.0	口綠部1/8	長石 石英·1~3mm·普	2.5Y7/2灰黄	10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	7**		
338	M H	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	口径29.0	口縁部小片	長石 石英・0.5~2㎜・普	10YR4/1褐灰	10YR4/1褐灰	不明	+7'	口:彼状口緣?	
339	II X	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~3㎜・多	2.5Y5/1黄灰	N4/灰	ナデ・不明	ナデ・不明		
340 22	2 II K	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	縄·浅鉢	口径33.2	口縁部2/8	長石 石英・0.5~2mm・やや多	10YR4/1褐灰	10YR4/2灰黄褐	ナデ・ミカキ・マメツ	ナデ・ミカ・キ・マメツ	口:遊状口縁	
341	NI	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	口径26.0	口綠部1/8	長石 石英・0.5~2㎜・やや多	2.5Y3/1黒褐	10YR4/1褐灰	<i>37</i> '+	<b>ジゲキ・ナデ・シガキ</b>		
342	П	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~1mm・やや少	2.5Y3/1黒褐	10YR5/3にぶい黄褐	ミカ'キ・ナデ	<b>えがキ・ナデ・ミガキ</b>		
343	II N	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	-	口縁部小片		10YR6/2灰黄褐	10YR6/2灰黄褐	ナデ・シガキ	† <del>†</del>		
344 22	2 II K	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	1	口縁部小片		7.5YR5/2灰褐	2.5Y6/1黄灰	ナデ・ミカキ・マメツ・ハクリ	ミカキ・マメツ・ハクリ	口:突起状	
345 22	2 II 🗵	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	ı	口縁部小片	長石 石英·1~2mm·普,赤色粒子·1 ~2mm·少	10YR3/2黒褐	10YR4/1褐灰	沈線1条·ተデ	沈線1条・マグ	口唇:刻目(マメツ)	
346 22	2 11区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	. 1	口縁部小片	長石 石英·1~3㎜·普	10YR4/1褐灰	10YR5/1褐灰	ナデ・ケスツ	ナデ・シガキ		
347 22	2 II Z	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	網·浅鉢	口径33.7	口縁部小片		2.5Y4/1黄灰	10YR4/2灰黄褐	<b>沈線1条・ジゲキ</b>	沈線1条・沙キ		
348	N	SR02	上層下部褐灰色砂質土	網·浅鉢		体部小片	長石 石英・0.5~1㎜・少,赤色粒子・0.5㎜・少	10YR5/2灰黄褐	2.5Y6/2灰黄	シガキ・ナデ・ケスリ・ハクリ	<i>:</i> 77'+		

					_				_															_				_	_		
備考																															
形態上の特徴	文:爪形	文:爪形	文:爪形	文:爪形	文:爪形	口唇:刻目?(マメツ)										口唇:刻目	口:波状口綠	口唇:刻目	口唇:刻目	口:波状口線 口唇:刻目	口唇:刻目	口唇:刻目	口唇:刻目	口唇:刻目	口唇:刻目	口唇:刻目(マメツ)	文:爪形+半裁竹管	口唇:刻目	口唇:刻目	口唇:刻目 口唇:刻目	
内面調整	† <del>†</del> *	+7.	指押さえ後ナデ・マバツ	77.	77.9	ナデ・マメツ	指押さえ・ミガキ	ミガキ・ナデ・ミガキ	ナデ・ミカギ	不明・沙キ	ナデ・ミカキ	77.	沙牛	マメツ	ナデ・後ミガキ風ナデ	ナデ・指押さえ・マメツ	<b>ミガ'キ風ナデ</b>	+7.	ナデ・ハクリ	ナデ・条痕・ナデ	ナデ・マメツ	マメツ	+7.	<i>ナデ</i>	<del>1</del> 7,	ナデ	ナデ	さか'キ風ナデ・ナデ	17.	<del>/ 7.</del> <del>/ 7.</del>	ナデ後幅広ジがキ風ナデ
外面調整	条痕	ナデ・ケスツ	マメツ	ナデ・ケスツ	ナデ・ケス・リ	ケスリ・マメツ	沙牛	<b>3</b> 7'+	ナデ・ケスツ	ナデ・不明	ナデ・シガキ・条痕	3,7*	37.4	ナデ・マメツ	+7*	十5"後条痕	ナデ・ミガキ	7.5	+7,	条痕・ナデ・ケスツ	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	+7.101	条痕	+7,	<i>†</i> デ'	条痕	条痕・ナデ	† <del>7</del> ,	条頂 ナデ・ハグリ・ナデ	ナデ後指押さえ
色調·外面 (內外釉色調)	7.5YR6/4にぶい橙	2.5Y6/2灰黄	2.5Y4/1黄灰	10YR5/2灰黄褐	10YR5/1褐灰	10YR6/3にぶい黄橙	10YR5/2灰黄褐	7.5YR5/4にぶい褐	10YR5/2灰黄褐	10YR6/2灰黄褐	10YR5/2灰黄褐	5YR4/3にぶい赤褐	10YR4/1褐灰	10YR7/2にぶい黄橙	10YR6/3にぶい黄橙	10YR8/3浅黄橙	2.5Y7/2灰黄	10YR5/2灰黄褐	10YR5/2灰黄褐	10YR5/2灰黄褐	10YR5/3にぶい黄褐	2.5Y7/2灰黄	10YR5/2灰黄褐	10YR6/3にぶい黄橙	10YR6/3にぶい黄橙	10YR5/2灰黄褐	7.5YR6/4にぶい橙	10YR4/2灰黄褐	2.5Y8/2灰白	N3/暗灰 7.5YR5/3にぶい掲	2.5Y7/3浅黄
色調·内面(胎土)	2.5Y6/2灰黄	10YR7/3にぶい黄橙, 2.5Y3/1黒褐	10YR5/2灰黄褐	10YR4/2灰黄褐	2.5Y5/1黄灰	10YR6/3にぶい黄橙	10YR6/1褐灰	10YR6/3にぶい黄橙	10YR4/1褐灰	10YR6/2灰黄褐	2.5Y5/2暗灰黄	5YR4/3にぶい赤褐	10YR4/1褐灰	2.5Y3/1黒褐	2.5Y7/3浅黄	10YR6/1褐灰, 2.5YR3/1黒褐	2.5Y7/2灰黄	10YR4/1褐灰	10YR6/2灰黄褐	10YR4/1褐灰	2.5Y7/2灰黄	10YR7/2にぶい黄橙	10YR6/2灰黄褐	2.5Y8/2灰白	2.5Y4/1黄灰	10YR5/1褐灰	2.5Y7/3浅黄	10YR5/3にぶい黄褐	具褐	N3/暗灰 10YR3/1黒褐	2.5Y8/2灰白
	長石 石英・0.5~1㎜・普,赤色粒子・ 0.5~1㎜・少	長石 石英·0.5~2m·普		長石 石英·0.5~3㎜·普,赤色粒子· 0.5㎜·少	長石 石英·1~2m·多	長石 石英·lim·多,赤色粒子·lim· 少	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子1㎜・少	長石 石英·0.5~1mm·普,赤色粒子· 0.5~1mm·普		長石 石英・0.5~1mm・やや少・蜜母・0.5mm・少,赤色粒子0.5~1mm・少		長石 石英・0.5~1mm・少,赤色粒子・0.5mm・少	長石 石英・0.5~1㎜・少	長石 石英・1~2m・やや多,その他・1~2m・普	2mm·普,赤色粒子·			長石 石英・0.5~1mm・やや少,赤色 粒子・0.5~1mm・少	長石 石英・1~3mm・やや多,その他・1~2mm・普	長石 石英·0.5~3㎜·多,雲母·1㎜· 少	長石 石英・0.5~1mm・やや少,雲母・ 0.5mm・少,赤色粒子・0.5~1mm・少	長石 石英・0.5~1㎜・普,赤色粒子・ 1㎜・少,その他・1~2㎜・やや少	長石 石英・1mm・普,赤色粒子・0.5~ 1mm・やや少	長石 石英·1~2mm·普	最石 石英・0.2~5mm・やや多/戦母・0.5mm・ツ・その色・0.5mm・やや少	長石 石英・0.5~3㎜・やや多	<u>₹</u>	口縁部小片 長石 石英・0.5~1㎜・やや少		長右 石英・0.5~2mm・多 長石 石英・0.5~1mm・普,赤色粒子・ 1mm・小	5英・1~2mm・やや多,赤色粒 2mm・やや多
残存率	体部小片	体部小片	口縁部小片	体部小片	体部小片	口縁部小片	口縁部小片	口縁部小片	口縁部小片	口縁部小片	口縁部1/8	口縁部小片	口縁部小片	底部4/8	口縁部小片	口縁部小片	口縁部小片	口縁部1/8	口縁部小片	頸部2/8	口縁部小片	口綠部小片		口縁部小片	口縁部小片	口縁部小片	口縁部1/8	□縁部小片	1縁部小片	日稼部小片日縁部小片	頸部2/8
法量(cm)	-	,				口径31.0	口径36.0		口径37.2	_	口径36.2	口径22.0		底径3.1	口径24.4	口径29.0	口径36.6	口径20.4	口径(25.2)	口径28.8	口径32.0	口径32.0		_		口径39.7	口径39.8				SA
器種	網·深鉢	網·深鉢	網·深鉢	網·深鉢	網·深鉢	縄·浅鉢	網·浅鉢	網·浅鉢	縄·浅鉢	網·浅鉢	網·浅鉢		網·浅鉢	編·底部	網·深鉢	縄·深鉢	網·深鉢	縄·深鉢	縄·深鉢	縄·深鉢	縄·深鉢	縄·深鉢	網·深鉢	縄·深鉢	網·深鉢	網·深鉢		網·深鉢	編·深鉢	相·深幹 網·深鉢	網·深鉢
層位	石·土器除去中	中干粉器干·史	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中	石·土器除去中		石·土器除去中	石·土器除去中	1	ı	1	ı	1	1	1	ı	ı	_	1	_	_		1	1	ı
報告書 遺構名	20	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02	SR02
	SR02	SI	S	(/)	S		S		S	0)																		9,1	S	77 07	
名名	II 🗵 SR(	IS NI	N	N	S ⊠II	N Z II	国区	S NII	NZ S	N N	N N	N	벨	II N	NK	Π⊠	ПK	ПK	N	N	H N	N	N	ΠK	図Ⅱ	ПK	ШK	_		N N	図Ⅱ
					$\overline{}$				-				$\neg$					ΠK	II	23 II K	II N			23 II 🗵	23    II    E	24 Ⅱ区			N		四四

報文図番号番	図版 区名番号	名報告書選構名	層位	器種	法量(cm)	残存率	干場	色調・内面(胎土)	色調·外面 (内外釉色調)	外面調整	内面調整	形態上の特徴	備考
-	<u> </u>	⊠ SR02	-	網·深鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~2㎜・やや多	2.5Y7/1灰白		条痕	77.	口唇:刻目 口縁部:貼凸(刻目)	
410 2	24 II K	⊠ SR02		網·深鉢	1	口縁部小片		7.5YR4/3褐	10YR6/2灰黄褐	ナデ後条痕	ナデ・マメツ	口縁部:貼凸(刻目)	
411	回図	⊠ SR02		網·深鉢		口縁部小片	長石 石英·11m·やや多,赤色粒子・ 0.5~11m·少	2.5Y4/1黄灰	10YR7/3にぶい黄橙	<del>1</del> 7;	17.	口綠部:貼凸(刻目)	
412 2	24 IIE	⊠ SR02		網·深鉢		体部小片	0.5~2㎜・普	2.5Y3/1黒褐	10YR6/3にぶい黄橙	<i>†</i> <del>7</del> *	1+7:	口綠部:貼凸(刻目)	
413 2.	24 II K	K SR02	ı	網·深鉢	ı	dг		2.5Y7/2灰黄	2.5Y7/2灰黄	† <del>7</del> '	++.	口:波状口線 口唇:刻目 文:爪形	
414 2	24 II K	⊠ SR02	1	網·深鉢	-	体部小片		10YR4/4褐	10YR6/2灰黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	文:爪形	
415 2	24 Ⅱ区	⊠ SR02	1	網·深鉢	1	体部1/8		10YR4/1褐灰	10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ケスツ	+7.	文:爪形	
416	国区	区 SR02	_	網·深鉢	1	体部小片	III·多	2.5Y3/1黒褐	10YR7/2にぶい黄橙	マメツ	ナデ・マメツ	文:爪形	
417 2	24 II 🗵	K SR02	1	網·深鉢	1	体部小片	m·普,赤色粒子·	10YR6/2灰黄褐	10YR5/2灰黄褐	ハクリ・ナデ・ケスツ	+7'	文:爪形	
418 2	24 II K	⊠ SR02		網·深鉢	-	体部小片	-	10YR6/1褐灰	10YR8/2灰白	+7.0017	+7.	文:爪形	
419 2	24 II K	X SR02	ı	網·深鉢	,	体部小片	Jun.やや多,赤色 や多	2.5Y7/2灰黄	7.5YR7/4にぶい橙	不明・ケスツ	マメツ	文:爪形	
420 2	24 II K	区 SR02	1	網·深鉢		体部小片	長石 石英・0.5~2mm・普,雲母・0.5 mm・少,その他・0.5~2mm・少	10YR6/4にぶい黄橙	10YR5/2灰黄褐	ナデ・ケスリ	幅広さがキ風ナデ	文:爪形	
421 2	24 II K	⊠ SR02	-1	網·深鉢		体部小片	長石 石英・0.5~3㎜・やや多,赤色 粒子・1㎜・少	10YR6/2灰黄褐	10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ケスツ	+7.	文:爪形	
422	図回	⊠ SR02	1	網·深鉢		体部小片	·5mm·少	2.5Y3/1黒褐	10YR4/2灰黄褐	<i>h</i> x'l)	不明	文:爪形	
423 2	24 IIK	K SR02		網·深鉢	1	体部小片	長石 石英·0.5~2㎜·普,赤色粒子·0.5㎜·少	2.5Y6/1黄灰	7.5YR6/4にぶい橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	文:爪形	
424 2	24 11 [	II ⊠ SR02		網·深鉢		体部小片	長石 石英・0.5~1mm・やや少,赤色粒子・1mm・少,その他・1mm・少	10YR4/2灰黄褐	2.5Y6/2灰黄	<del>1</del> 7.	ナデ・マメツ	文:爪形	
425	ΠK	⊠ SR02		縄·深鉢		体部小片	長石 石英・0.5~1㎜・少	10YR4/2灰黄褐	10YR4/2灰黄褐	<b>ナデ</b>	指押さえ	文:爪形	
426 2	24   11	Ⅱ ⊠ SR02	-1	網·深鉢		体部小片	長石 石英・0.5~5㎜・やや多,赤色 粒子・0.5㎜・少	10YR6/2灰黄褐	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ケスツ	+7.	文:刺突	
427 2	24 II K	⊠ SR02	1	網·浅鉢	口径33.6	口縁部1/8	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	10YR5/2灰黄褐	2.5Y6/2灰黄	77.		口唇:刻目	
428	lΠ	11 ⊠ SR02	ŀ	縄·浅鉢	,	口縁部小片	長石 石英・0.5~1	5Y5/1灰	5Y5/1灰	ジボキ・ハグリ	沙牛	口唇浏目	
429		Ⅱ⊠ SR02		網·浅鉢	ı	口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色 粒子・0.5㎜・少	2.5Y5/1黄灰	2.5Y3/1黒褐	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ		
430 2	24 11 [	II ⊠ SR02		網·浅鉢	1	口縁部小片		10YR4/2灰黄褐	2.5Y4/1黄灰	ナデ・ミガキ	ナデ・ミカキ		
431	п	II ⊠ SR02	1	網·深鉢	1	口縁部小片	長石 石英·1~3m 他·1m·少	10YR6/3にぶい黄橙	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口唇:刻目	
432 2	24 11	11 ⊠ SR02	1	網·深鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや少	10YR6/1褐灰	10YR6/2灰黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口:突起状?	
433 2	24 11 [	II 🗵 SR02	1	縄·浅鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~1	2.574/1黄灰	2.5Y7/2灰黄	ミガキ・ナデ・マメツ	ミガキ・ナデ・マメツ	口:彼状口緣 口唇:刻目 文:爪形	
434 2	24 II I	II ⊠ SR02	ı	網·浅鉢		口縁部小片	長石 石英·0.5~] 他·0.5㎜·少	2.5Y4/1黄灰	2.5Y7/2灰黄	ナデ・シガキ	へう描き沈線1条後ナデ・ミガキ	口:彼状口綠	
435 2	24 II [	II ⊠ SR02	-	網·浅鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~	10YR6/2灰黄褐	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ミガキ・マメツ	シガキ・マメツ	口:突起状	
436 2	24   11	ⅡK SR02		網·浅鉢		口綠部小片	長石 石英・0.5~5mm・やや少,雲母・ 0.5mm・少	10YR5/1档灰	7.5YR5/2灰褐	<i>:</i> 77.*	<b>:</b> 77:+	口:被状口縁	
437 2	24 II	II K SR02	-	網·浅鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~	2.5Y5/1黄灰	10YR5/2灰黄褐	ナデ・ミガキ	ミガキ・ナデ・ミガキ	口:波状口縁	
438	-	⊠ SR02	-	網·浅鉢		口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・やや少 長石 石英・0.5~1㎜・やや少	10YR4/1褐灰	10YR4/1褐灰	ジカキ	1,791)	\$ 5 1	
	-	ΠK SR02	1	縄·浅鉢		口縁部小片	女石 石灰-0.5~ 粒子-0.5㎜・少	7.5YR5/1褐灰	7.5YR4/3褐	マメツ	ミガキ・マメツ	口:彼状口緣	
440 2	24 11	Ⅱ区 SR02		網·浅鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~2㎜・多	N2/黑	N2/黒	ナデ・マメツ	ミガキ・ナデ・マメツ		

報文図	図版区名	名報告書	層位	器種	法量(cm)	残存率	干架	色調・内面(胎土)	色調·外面	外面調整	内面調整	形態上の特徴	備考
	7 II	S		網·底部	底径4.1	底部3/8	長石 石英・1~2㎜・やや少・赤色約	10YR6/3にぶい黄橙	(P/3/P/相巴詢) 2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・マメツ	マメツ		
500 2	26 II K	区 包含層		網·深鉢	口径23.0	口縁部小片	T・1mm・ダ,その他・1mm・グ 長石 石英・0.5~1mm・普,鐶母・1mm・ 少.赤色粒子・1mm・少	10YR5/3にぶい黄褐	10YR6/3にぶい黄褐	<del>1</del> 7°	++.	口唇:刻目	
201	NI	区 包含層	1	網·深鉢	口径19.6	口縁部小片	長石 石英·0.5~1㎜·普,赤色粒子·0.5~1㎜·少	7.5YR5/6明褐	10YR6/3にぶい黄橙	++.	+7.	口唇:刻目	
502	日冈	区 包含層	1	網·深鉢	ı	口縁部小片	□・やや多,赤色粒	5YR6/6橙	7.5YR5/6明褐	マメツ	+7.	口唇:刻目	
503 2	26 II K	区包含層	ı	網·深鉢		体部小片	).5~1㎜·普,赤色粒子·	7.5YR5/4にぶい掲	10YR5/3にぶい黄褐	条痕	+7,	文:爪形	
504	26 Ⅱ区	区 包含層	_	縄·深鉢		口縁部小片	長石 石英·1~3㎜・多	10YR4/2灰黄褐	7.5YR4/4褐	マメツ	(メン)	口縁部:貼凸(刻目)	
505	図Ⅱ	区 包含層	-	網·浅鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~1mm・やや少,黒色 2 粒子・1mm・やや少	2.5Y7/2灰黄	10YR7/4にぶい黄橙	447	マメツ	口:被状口縁	
206	II 🗵	区 包含層		縄·浅鉢		口縁部小片	2mm·やや多	10YR6/3にぶい黄橙	10YR6/2灰黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ		
507	ΠK	区 包含層	-	縄·底部	底径6.1	底部2/8	長石 石英・0.5~1mm·普,赤色粒子・1 0.5mm·普	10YR7/3にぶい黄橙	2.5Y7/2灰黄	指押さえ・マメツ	ナデ・マメツ		
208	M	区 包含層	ı	弥·茜		口縁部小片	長石 石英・0.5~1㎜・普	5Y2/1黒	10YR5/6黄褐	指押さえ後ヨコナデ・指押さ え・マバ	指押さえ後3コナデ・板ナデ・マメ ッ		
609	NI	区 包含層		網·深鉢	口径30.0	口縁部小片	長石 石英·0.5~3㎜·多,赤色粒子· 0.5~3㎜·少	10YR7/2にぶい黄橙	7.5YR6/6橙	マメツ・ハクリ	マメツ・ハクリ		
510 2	26 IIE	区 包含層	1	網·深鉢	口径30.6	口縁部小片	長石 石英・0.5~1.5㎜・やや多,赤 色粒子・0.5~1㎜・やや少,その他・ 0.5~1㎜・やや少	10YR5/2灰黄褐	10YR7/3にぶい黄橙	† <del>Ť</del>	77,	口唇:刻目	
511	MI	区 包含層	·	網·底部	底径3.7	底部3/8	長石 石英・1~2㎜・やや多	2.5Y5/3黄褐	7.5YR5/4にぶい掲	ナデ後指押さえ・指押さえ・マメ ツ	マメツ		
512	回区		-	網·深鉢		口縁部小片	口綠部小片 長石 石英・0.5~4㎜・多	10YR3/1黒褐	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ		マタン著しい
-	-		ı	縄·深鉢			2mm·華	10YR5/6黄褐	10YR8/3浅黄橙	<i>ታ</i> አ' <u>ሀ</u>	Pさえ・マグソ	文:爪形	
+	26 IIK	区 包含層	-	縄·深鉢		体部小片	1mm・やや多	10YR5/6黄褐	10YR5/2灰黄褐	マメツ・ハクリ		文:爪形	
515			-	網·浅鉢		口縁部小片	111・やや多	10YR5/1褐灰	10YR5/1褐灰	ナデ・ミカ・キ・マメツ	ナデ・沈線2条・マバツ		
516	四区	≤ SK03		網·浅鉢	1	口縁部小片	長石 石英・0.5~1mm・普,赤色粒子・10.5mm・少	10YR7/4にぶい黄橙	10YR7/4にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ		
517 29	26 IIE	⊠ SK05		弥·高杯		接合部完存	按合部完存 2m·多·赤色粒子·1m·等	7.5YR6/4にぶい橙	10YR6/4にぶい黄橙	ヘラミガキ・板ナデ・マメツ	んダム		接合部には円弧状の 刻み 底部内面円盤充填痕 あり 下川津B額
518	N N	× SX03	1	弥·商	口径15.4	口縁部1/8	長石 石英0.5~2mm·やや多,角閃 石・0.5mm・普,赤色粒子・0.5mm・少	2.5YR4/4にぶい赤褐	7.5YR5/4にぶい掲	+ <del>7</del> .	+7.		下川津B類
519	N II	<u>×</u> SX03	ı	弥 電	-	頸部1/8	;	5YR4/4にぶい赤褐	7.5YR5/6明梅	ナデ・ハケメ・マメツ	指押さえ		下川津B類
520	図Ⅱ	₹ SX03	1	弥·甕	口径18.4	頸部2/8	長石 石英·0.5mm·少	2.5Y8/2灰白	2.5Y8/2灰白	タタキ目・ナデ	ハケメ・指押さえ後ナデ・板ナデ		
522	回図	× SD01. SD02	-	弥·高杯	口径18.5	口縁部小片	長石 石英・0.5~2㎜・やや多,角閃石・1㎜・普,赤色粒子・1㎜・普	7.5YR5/4にぶい掲	7.5YR5/4にぶい掲	指押さえ後ヨコナデ・マメン	指押さえ・ヨコナデ・マメツ		下川津B類
523	MI	SD01 ⋅ SD02	1	弥·高杯	ı	口縁部小片	長石 石英・0.5~3㎜・やや多	10YR7/2にぶい黄曜	10YR7/2にぶい黄1橙	ナデ・指押さえ・マメツ	マメツ		
527	NI	∑ SD03	-	弥·甕	口径14.0	口縁部1/8	長石 石英・1~3mm・やや多,角閃石・1mm・やや少,赤色粒子・1mm・少	7.5YR5/4にぶい褐	7.5YR5/4にぶい掲	ナデ・マメツ	ナデ・指押さえ		下川津B類
530 2	図Ⅱ 97	ĭ SD04a	1	縄·深鉢		体部小片	П	2.5Y3/1黒褐	10YR5/3にぶい黄褐	+7*	不明	文:爪形	
531 2	26 IIE	⊠ SD04a	1	縄·深鉢		体部小片	長石 石英・0.5~1.5㎜・やや多,赤 色粒子・1㎜・やや少	10YR6/1褐灰	10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ケスツ	+7.	文:爪形	
532	₫Π	II ⊠ SD04a		縄・浅鉢	口径38.8	口縁部1/8	押	2.5Y4/1黄灰	2.5Y6/1黄灰	ナデ・ハクリ	ナデ・ハクリ	-	
533	図Ⅱ	ĭ SD04a	I	弥·魏	底径4.4	底部1/8	赤色粒子。	2.5Y6/2灰黄	7.5YR4/3褐	マメツ	板ナデ・マメツ		
534	311	II ⊠ SD04a	-	須·杯蓋	底径12.8	底部1/8	長石 石英・0.5㎜・やや少	N7/灰白	N6/灰	回転ナデ	回転ナデ		

10K SDO46 - 称・	國大學	区名	5 報告書 遺構名	層位	器種	法量(cm)	残存率	胎士	色調·内面(胎土)	色調·外面 (内外釉色調)	外面調整	內面調整	形態上の特徴	備考
10   2004   2004   2005   186		=	S	1	弥·蹇	ı			7.5YR6/4にぶい権			<del>/</del> <del>/</del> ·		下川津B類
10   10   10   10   10   10   10   10		N II		1	弥·壺	口径16.1			2.5Y8/2灰白		ヨコナデ・マメツ	ヨコナデ・マメツ		
15   15   15   15   15   15   15   15		집		ı	弥·鉢	底径4.6		普,赤色粒子·1			指押さえ・ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ		
10   2007				1	弥·底部	底径5.0		角閃石・ 0.5~1㎜・			板ナデ・ヘラミがキ	板ナデ		
10   2007   1   2   2   2   2   2   2   2   2   2					游·歯	口径15.8	1	石·1㎜·수			ヨコナデ・指押さえ・マパソ	ョコナデ・指押さえ・マメツ		下川津B類
15   2007   1   1   1   1   1   1   1   1   1		27 11 🗵		i	ッ 一 売・	口径15.4		角閃石・ 1~3㎜や	7.5YR6/4にぶい橙		ヨコナデ・指押さえ・ハケメ・マメツ	ヨコナデ・指押さえ・板ナデ・マメソ		下川津B類
10   10   10   10   10   10   10   10				ı	弥·醴	口径24.4		長石 石英·0.5~1㎜·普,角閃石· 0.5㎜·普,赤色粒子·0.5㎜·普	10YR5/2灰黄褐		ナデ・ハケメ	ナデ・ヘラミガキ		下川津B類
11   12   12   12   12   12   12   12		27 II 🗵		1	弥·甕	口径13.7		,角閃 少,赤	7.5YR5/4にぶい掲		ョコナデ・指押さえ・ナデ・ハケメ・ヘ テミガキ	ヨコナデ・ハケバ・指押さえ・板ナデ		下川津B類
5007         一般地面		27 II IS		ı	弥·甕	口径13.3		5英・1~3m・やや多,角閃~1m・やや少,赤色粒子・1~	7.5YR5/4にぶい掲		ヨコナデ・ハケメ	ヨコナデ・ハケメ後ナデ・指押さえ・ ハケメ・マメツ		下川津B類
15   15   15   15   15   15   15   15		3 II		1	弥·甕	口径15.2		長石 石英・0.5~1㎜・やや多,角閃石・0.5㎜・少,赤色粒子・1㎜・少	10YR5/3にぶい黄褐		ヨコナデ・指押さえ・板ナデ・マメツ	指押さえ・マメツ・ハグリ		下川津B類
10   SD07   -		п		1	弥·甕	口径13.7			7.5YR5/6明褐		ヨコナデ・マメツ	ョコナデ・指押さえ・ナデ・ヘラ削り・マメツ		下川津B類
10   2007				ı	弥·甕	口径15.0			5YR6/6橙		ナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・指押さえ・マバ		
10   15   15   15   15   15   15   15		II [		1	弥·甕	口径13.8			7.5YR6/4にぶい橙		ナデ	ナデ・板ナデ		下川津B類
11   12   12   13   14   14   14   14   15   15   15   15		3 II	₹ SD07	-	弥·甕	1	П	長石 石英·1~2mm·多	2.574/1黄灰		ナデ・マメツ	ナデ後板ナデ		
10区         SDO7         一条・鉢         施径2.9         庭網完存         長石 石炭・0.5~1m·・や・多赤色粒         10VR6/1にSt) (24.5.5.) (業権         10VR7/1にSt) (実験         10VR7/1にSt) (表験         10VR7/1にSt) (表別         10VR8/1に対し         10VR8		<u> 11                                  </u>			弥·底部	底径4.0		長石 石英・1~4回・普,赤色粒子・1回・やや少	10YR6/6明黄褐	10YR5/6黄褐	板ナデ後指押さえ・マバ	板ナデ・マメツ		
11   12   12   13   14   14   14   14   14   14   14		3 II		1	弥·鉢	底径2.9	底部完存	長石 石英·0.5~1mm·普	<del>                                     </del>		指押さえ後板ナデ	板ナデ		
ID   SD07   -		ПВ			弥·底部	底径4.0	底部完存	長石 石英・1~2mm・やや多,赤色粒子・1mm・少		10YR8/1灰白	ヨコナデ・マメツ	指押さえ後板ナデ		外部スス付着
IE         ND (No.)         L (No.)         A (No.)		11			弥·壺	底径4.0	底部2/8	長石 石英・1~2mm・やや多,赤色粒子・0.5mm・少		10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・指押さえ	指押さえ後ナデ		
IDE         SD07         -				1	弥·壺	底径4.0	底部6/8	長石 石英・0.5~1㎜・やや多	N3/暗灰, 2.5Y7/2灰黄	_	ヨコナデ後指押さえ	ョコナデ後指押さえ後板ナデ		
IDE         SD07         -         計・鉢         語為7.         長前完存         長石 五英・1mm・やや少赤色粒子。 1のYRS/5K付載         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/5K付前         1OYRS/3K 持押さえ後板打ディック         1OYRS/3K 持押さえのおかった         1OYRS/3K 持押さえのおかった         1OYRS/3K 持押さえのおかった         1OYRS/3K 持押さえのかった         1OYRS/3K 持押さんのかった         1OYRS/3K 持押さんがかった         1OYRS/3K 持押さんがった         1OYRS/3K 持押さんがった         1OYRS/3K 持押さんがった         1OYRS/3K 持押さんがった         1OYRS/3K 持押さんがかった         1OYRS/3				ı	弥·鉢	口径9.4, 器高6.0, 底径2.5		長石 石英・1~2mm・やや多,赤色粒子・0.5~1mm・多		5YR7/4にぶい橙	ョコナデ・板ナデ・マメツ	板ナテ・マメツ		
IIE         SD07         -         赤・鉢・         口径12.2         口縁節3/8         長石 石英・0.5~1mm・やや少・赤色         IOYRB/3は着櫓         10YRB/3は着櫓         17・マパ         板子デ         板子デ           IIE         SD07         -         弥・鉢・ 高杯         日経8.3, 程名・0.5~1mm・やや少・赤色         5 YRB/6明赤櫓         10YRB/3浅黄櫓         板子子後指押さえ・マパ         小ケパ・スパ           IIE         SD07         -         弥・高杯         口径29.0         口縁部小片         長石 石英・0.5~2mm・普/角閃石・0.5mm・や・多多         5 YRB/6櫓         5 YRB/6櫓         3コナデ・マパ         コナデ・マパ				ı	弥·鉢	口径18.3, 器高9.7, 底径3.9		長石 石英・1㎜・やや少,赤色粒子・ 0.5~1㎜・やや少			ヨコナデ後指押さえ後板ナデ・マ メツ	ョコナデ'後板ナデ'		外面スス付着
SD07       -       所・鉢       器商8.0, 底径5.0       底径5.0       長行 石英・0.5~1mm・やや少       57R6/6期赤褐       10YR8/3浅黄橙       板井で後指押さえ・マが       小力パ・マが         SD07       -       弥・高杯       口径29.0       口縁部小片       長石 石英・0.5~2mm・普・角閃石・5~2mm・普・角閃石・5~2mm・普・角閃石・5~2mm・音・角閃石・5~2mm・音・角閃石・5~2mm・音・角影石・0.5mm・やや多       57R6/6橙       57R/1成、3コナデ・マが       3コナデ・マが       3コナデ・マが					弥·鉢	口径12.2		長石 石英・0.5~1mm・やや少,赤色 粒子・0.5mm・少	10YR5/6黄褐		ナデ・マメツ	板ナデ		クラックあり
SD07         -         弥・高杯         口径29.0         口縁部小片         長石 石英・0.5~2mm・普・角 閃石・         5 YR6/6権         5 YR6/6権         5 YR6/6権         3コナデ・マメッ         3コナデ・マメッ		11			弥·鉢	口径18.3, 器高8.0, 底径5.0		長石 石英・0.5~1㎜・やや少,赤色粒子・1㎜・やや少	5YR5/6明赤褐	10YR8/3浅黄橙	板ナデ後指押さえ・マパ	ハケメ?・マメツ		
		1		1	弥·高杯	口径29.0	口縁部小片	長石 石英・0.5~2m·普,角閃石・0.5mm·少,赤色粒子・0.5mm·やや多	5YR6/6橙	5Y7/1灰, 5YR6/6橙	ョコナデ・マメツ	ヨコナデ・マメツ		下川津B類

					·		r			r
備考	孔1功所残 下川津B類									マが著しい
形態上の特徴		体部:貼凸(刻目)						i		
內面調整	指押さえ・マグツ	指押さえ・マメツ	ヨコナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・板ナデ	ヨコナデ・板ナデ・マメツ	指押さえ後3コナデ・板ナデ・マメ ッ	77.	3277	回転ナデ	回転ナデ
外面調整	板ナデ・マメツ	3コナデ・指押さえ後回転ナデ	ヨコナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・板ナデ	9277.ex?	ヨコナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・ヘラ描き沈線4条	37+7	回転ナデ・回転ヘテ削り・回転ヘ ラ切り	回転ナデ
色調·外面 (内外釉色調)	5YR5/6明赤褐	10YR8/4浅黄橙	10YR6/2灰黄褐	10YR7/3にぶい黄橙	10YR8/2灰白	10YR7/3にぶい黄橙	2.5Y7/3浅黄	2.5Y8/1灰白	N7/灰白	10YR8/2灰白, 5YR8/4淡橙
色調·内面(胎土)	5YR5/6明赤褐	2.5Y7/2灰黄	10YR6/2灰黄褐	10YR7/3にぶい黄橙	10YR7/1灰白	10YR7/3にぶい黄橙	10YR7/4にぶい黄橙	2.5Y8/1灰白	N7/灰白	10YR8/2灰白, 5YR8/4淡橙
胎士	長石 石英・1㎜・やや多,角閃石・1 ㎜・やや少,赤色粒子・1㎜・普	■•普,赤色粒子・	口祿部小片 長石 石英·0.5~1㎜·普,赤色粒子· 0.5㎜·少	口縁部小片 長石 石英・0.5~1㎜・やや多	長石 石英·1~2m·やや多,雲母· 0.5m·普	長石 石英・0.5mm・やや少,赤色粒子・0.5mm・少	口綠部小片 0.5~1mm·普,赤色粒子· 0.5~1mm·少	長石 石英·0.5~1mm·普	長石 石英・0.5㎜・少	長石 石英・1mm・やや少・赤色粒子・ 107R8/2灰白, 1mm・普
残存率	頸部2/8	頸部2/8	口縁部小片	口縁部小片	底部5/8	口縁部1/8	口縁部小片	口縁部1/8	底部1/8	底部2/8
法量(cm)		ı	口径12.8	口径8.3	底径12.4	口径13.6	-	口径30.2	底径7.0	底径6.0
器種	弥·高杯	<b>弥·</b> 壺	弥·甕	弥・ミニチュア 甕	弥·高杯	土·甕	網·深鉢	弥·高杯	須・壺	少・干
層位		ı						-		
報告書 遺構名	SD07	SD08	SD08	8D08	8DOS	SR03	上面精査	上面精査	② 上面細削	④ 西壁側溝
区名	N	IK	回区	回区	пк	図四	ПΚ	囚囚	пK	NE (
図版 番号		28			28					
報文 番号	584	262	596	262	298	009	601	602	603	604

# 石器観察表

13   13   13   13   13   13   14   14	報文 番号	図版 番号	区名	報告遺構番号	土層	器種	現存長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	形態・手法の特徴	備考
15   15   15   15   15   15   15   15				21S1トレンチ			9.5	8.3	1.7	151.64	サヌカイト		
11   13   13   13   13   13   13   14   13   14   14	10	13		21S1トレンチ		加工痕のある	9.0	10.0	1.7	162.11	サヌカイト		
13   13   2   2   2   2   2   2   2   2   2	11	13		21S1トレンチ		加工痕のある	7.0	8.8	1.0	81.91	サヌカイト		572と同一に近い?
13   13   28   18   19   28   19   29   18   18   18   18   18   18   18   1	12	13		21S1トレンチ		加工痕のある	6.6	6.9	1.0	47.21	サヌカイト		
14   13   2   2   2   2   2   2   2   2   2	13	13		21S1トレンチ		加工痕のある	5.7	10.4	1.3	65.27	サヌカイト		
15   21511シナ   製工版のから   3.8   5.8   6.4   12.40   ヤスカイ	14	13		21S1トレンチ		加工痕のある	8.2	11.6	1.5	116.01	サヌカイト		
15   15   15   15   15   15   15   15						加工痕のある	5.3	5.8	0.4	12.40	サヌカイト		
13						加工痕のある	3.9	3.5	1.4	14.34	サヌカイト		
18   13   25   13   25   14   27   27   27   27   27   27   27   2						加工痕のある				6.62	サヌカイト		
10   2015  シナ   20		13				加工痕のある							
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		13				加工痕のある	ļ						
22   1		13											
23   14   215111-7	21			21S1トレンチ		楔形石器	5.2	2.0	1.2				
24   14   2  5  1  1  7  7  7  7  7  7  7  7  7  7  7  7  7													
25	23	14		21S1トレンチ									風化あり
25   15   15   15   15   15   15   15	24	14		2151トレンチ		スクレイパー	11.0	4.7	1.5				
28   21511レグチ   スクレイベー 10.6   3.3   1.2   54.98 サヌカイト   1.2   11.24 サヌカイト   1.2   12.24 サヌカイト   1.2				21S1トレンチ		スクレイパー	9.3	4.6	0.7	33.16	サヌカイト		
27   14   21SIP-/F   スクレイハー   10.5   7.9   1.2   112.94 サスカイト   10.5   3.03   サスカイト   10.5   3.05   4.88   サスカイト   10.5   4.89   4.89   4.89   4.99   4.89   4.99				2151トレンチ		スクレイパー	8.6	6.3	1.2	54.98	サヌカイト		
28 2 151ドレチ 加工値のから 2.2 2.6 0.5 3.08 サヌカイト 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		14				スクレイパー			1.2				
2   2   2   2   2   2   2   3   0   0   8   4.85   サヌカト													
30   21SIkVチ   加工仮のから   1.8   3.1   0.6   4.2   サヌカト   1.8   3.1   1.8   3.1   1.8   3.1   1.8   3.1   1.8   3.1   3.1   3.0   3	29			2181トレンチ		加工痕のある	2.2	3.0	0.8	4.85	サヌカイト		
31	30			2181トレンチ		加工痕のある	1.8	3.1	0.6	4.22	サヌカイト		
32   1	31			2181トレンチ		加工痕のある	2.4	3.0	0.2	2.08	サヌカイト		
33   2    2    15    レノチ   10    15	32			2181トレンチ		加工痕のある	2.5	3.8	0.6	5.10	サヌカイト		
34   21S1kシチ   別工策のある   3.8   3.8   0.7   9.21 サヌカイト   3.8   3	33			21S1トレンチ		加工痕のある	3.0	2.5	0.7	5.34	サヌカイト		
15    2  15    10   2  15	34			2181トレンチ		加工痕のある	3.8	3.8	0.7	9.21	サヌカイト		
15  トレデ   その他の別片   6.9   4.9   1.1   47.85 サスカイト   2151トレデ   その他の別片   6.9   4.9   1.1   47.85 サスカイト   38   2151トレデ   その他の別片   6.9   5.8   1.4   39.73 サスカイト   39.73   15.74   1.0   47.85 サスカイト   39.73   15.85 サスカイト   39.73   15.85	35			2151トレンチ			4.4	6.4	0.8	16.26	サヌカイト		
2  15    10		_	-										
38   2151トンチ   その他の割片   6.9   5.8   1.4   39.73 サヌカイト													
39   21S1トンチ   加工痕のある   8.4   6.4   0.9   51.62 サヌカイト   1.4   21S1トンチ   加工痕のある   9.9   6.5   1.6   135.55 サヌカイト   1.4   21S1トンチ   加工痕のある   9.9   6.5   1.6   135.55 サヌカイト   1.3   89.80 サヌカイト   1.4   21S1トンチ   加工痕のある   8.2   1.3   89.80 サヌカイト   1.3   89.80 サヌカイト   1.4   21S1トンチ   加工痕のある   8.5   11.1   1.2   103.99 サヌカイト   1.4   112.13 サヌカイト   1.5   1.4   21S1トンチ   加工痕のある   11.1   1.2   103.99 サヌカイト   1.5   1.4   113.07 サヌカイト   1.5   1.6   1.6   1.6   1.6   1.6   1.6   1.6   1.6   1.8   1.3   1.2   1.3													
39		_											
## 21S1トレナ	39					剥片							-
14   14   2151トンチ   割片   5.0   6.2   1.3   63.8   9.8	40	14				剥片			<u> </u>				
14   21S1トンチ   別片   6.8   6.3   1.3   92.00   9 メルイト   1.4   1.4   1.4   21S1トンチ   加工渡のある   6.4   12.0   1.4   112.13   サヌカイト   11.6   1.4   112.13   サヌカイト   11.6   1.6   1.6   1.3   1.7   1.5   1.4   112.13   サヌカイト   1.5   1.5   1.6   I.5   4.2   1.4   112.13   サヌカイト   1.5   1.5   I.5   I	41	14		2181トレンチ		剥片							
3	42	14		21S1トレンチ		剥片	6.8	8.3	1.3				
44	43			21S1トレンチ		剥片	6.8	11.1	1.2			_	
46	44	14		21S1トレンチ		剥片	6.4						
21S1トレンチ   利片   2.5   6.4   1.0   11.34	45	14		2181トレンチ		剥片	-						
21S1トレッチ   対片   4.2   5.2   0.7   13.07   タメカイト   148   21S1トレッチ   使用痕のある   対片   使用痕のある   対片   使用痕のある   対片   がまかれた   対方   がまかれた   がまがまかれた   がまがまがまかれた   がまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまが	46			21S1トレンチ		剥片	2.5	6.4	1.0	11.34	サヌカイト		
48   21S1トレンチ   利片   4.1   4.7   0.5   10.83 サヌカイト   使用痕のある   利片   4.1   4.7   0.5   10.83 サヌカイト   使用痕のある   利片   6.4   7.0   1.2   29.91 サヌカイト   1.2   29.91 サヌカイト   1.3   61.21 サヌカイト   1.4   21S1トレンチ   使用痕のある   4.9   9.3   1.2   43.85 サヌカイト   1.2   43.85 サヌカイト   1.3   43.85 サヌカイト	47			21S1トレンチ		剥片	4.2						
1.2   29.91   y メカイト   21.2   29.91   y メカイト   29.91   y メカイト   29.91   y メカイト   21.2   29.91   y メカイト   29.91   y ×カイト   29.91   y	48			2151トレンチ		剥片	4.1	4.7	0.5	10.83	サヌカイト		
21S1トレンチ   剥片   0.8   0.6   1.3   01.21 リメガイト   使用痕のある   利片   0.8   1.2   43.85   サヌカイト   1.4   21S1トレンチ   使用痕のある   4.9   9.3   1.2   43.85   サヌカイト   1.1   64.58   サヌカイト   1.1   64.58   サヌカイト   1.2   1.3   1.4   21S1トレンチ   使用痕のある   1.3   99.55   サヌカイト   1.3   99.55   サヌカイト   1.4   21S1トレンチ   使用痕のある   12.9   6.6   1.6   109.29   サヌカイト   1.5   1.9   283.67   サヌカイト   1.5   1	49			21S1トレンチ		剥片							
51 14     21S1トレンチ     剥片     4.9     9.3     1.2     43.83 リメガイト       52 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     6.9     10.0     1.1     64.58 サヌカイト       53 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     6.4     10.8     1.3     99.55 サヌカイト       54 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     12.9     6.6     1.6     109.29 サヌカイト       55 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     10.8     11.5     1.9     283.67 サヌカイト       77 15・16 I 区     集石遺構     分割素材     6.0     7.3     1.0     40.63 サヌカイト     78・79と接合       78 15・16 II 区     集石遺構     分割素材     6.6     7.1     1.7     77.16 サヌカイト     77・79と接合	50			21S1トレンチ		剥片							
52 14     21S1トレンチ     剥片     6.9 10.0 1.1 64.58 y メガイト       53 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     6.4 10.8 1.3 99.55 サヌカイト       54 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     12.9 6.6 1.6 109.29 サヌカイト       55 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     10.8 11.5 1.9 283.67 サヌカイト       77 15・16 II 区 集石遺構     分割素材     6.0 7.3 1.0 40.63 サヌカイト     78・79と接合       78 15・16 II 区 集石遺構     分割素材     6.6 7.1 1.7 77.16 サヌカイト     77・79と接合	51	14				剥片	<u> </u>	-					
53 14     21S1トレンチ     剥片     6.4 10.8 1.3 99.53 y メノイト       54 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     12.9 6.6 1.6 109.29 サヌカイト       55 14     21S1トレンチ     使用痕のある 剥片     10.8 11.5 1.9 283.67 サヌカイト       77 15・16 I 区 集石遺構     分割素材     6.0 7.3 1.0 40.63 サヌカイト     78・79と接合       78 15・16 II 区 集石遺構     分割素材     6.6 7.1 1.7 77.16 サヌカイト     77・79と接合	52	14				剥片	-		-				
54     14     2151トレンチ     剥片     12.9     6.6     1.0     109.29 リメルイト       55     14     2151トレンチ     使用痕のある 剥片     10.8     11.5     1.9     283.67 サヌカイト       77     15・16 II区 集石遺構     分割素材     6.0     7.3     1.0     40.63 サヌカイト     78・79と接合       78     15・16 II区 集石遺構     分割素材     6.6     7.1     1.7     77.16 サヌカイト     77・79と接合	53	14				剥片							
55     14     21S1トンナ     剥片     10.8     11.5     1.9     283.67リメンイト       77     15・16     II 区 集石遺構     分割素材     6.0     7.3     1.0     40.63 サヌカイト     78・79と接合       78     15・16     II 区 集石遺構     分割素材     6.6     7.1     1.7     77.16 サヌカイト     77・79と接合		14				剥片							
78 15・16 II区 集石遺構 分割素材 6.6 7.1 1.7 77.16 サヌカイト 77・79と接合			πIP			剥片	l					L	78・79と接合
10 10 10 10 D N 1-2 N													
- METERSTON A TENTRE A TOTAL TOTAL AND A													

報文	図版	区名	報告遺構番号	土層	器種		最大幅		重量	石材	形態・手法の特徴	備考
番号	番号		集石遺構		分割素材	(cm) 4.6	(cm) 6.2	(cm) 0.9	(g) 26,29	サヌカイト		
84			SK06		石鏃	1.8	1.4	0.5		サヌカイト		
85			SK06		石鏃	1.6	1.4	0.3		サヌカイト		
86			SK06		石鏃	2.2	1.2	0.4		サヌカイト		
87			SK06 SK06		石鏃 石錐	2.3	1.6 1.3	0.4		サヌカイト サヌカイト		未製品
93			火処1		石鏃	2.7	1.8	0.3		サヌカイト		7,7,7,11
94			火処1		石鏃	2.0	1.3	0.3		サヌカイト		
95 104			火処1 SX01		石鏃 石鏃	1.7 2.5	1.4 1.6	0.3		サヌカイト		
104			SX01		ク 嫉 楔形石器	3.7	3.9	0.4		サヌカイト		
106			SX01		楔形石器	5.5	7.7	1.9		サヌカイト		
181		Ⅱ区	SR01	上面精査	石鏃	2.3	1.1	0.2		サヌカイト		
182			SR01	上面精査	石鏃	2.3	1.6	0.4		サヌカイト		1
183 184			SR01 SR01	上面精査 最上層 暗黄褐色粘質土	石錐 石鏃	2.4	2.2	0.4		サヌカイト		未製品
185			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.6	1.2	0.3		サヌカイト		
186			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.5	1.2	0.3		サヌカイト		風化が著しい
187 188		II区	SR01 SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	1.5	1.3	0.3		サヌカイト		
189	19		SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.7	1.7	0.2		サヌカイト		
190	$\overline{}$		SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.7	1.3	0.4		サヌカイト		
191			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.8	1.1	0.4		サヌカイト		
192 193			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土 上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	1.8	1.2 1.4	0.5		サヌカイト サヌカイト		
193	19	11区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.6	1.4	0.3		サヌカイト		
195	19	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.6	1.9	0.4	0.69	サヌカイト		
196			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	1.9	1.3	0.3		サヌカイト		
197 198			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	1.8	1.5 1.2	0.2		サヌカイト サヌカイト		
199	19	国区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.1	1.3	0.4		サヌカイト		風化あり
200		国区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.2	1.2	0.3		サヌカイト		
201			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土 上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	2.0	1.4 1.5	0.3		サヌカイト サヌカイト		風化が著しい
203			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.1	1.2	0.4		サヌカイト		
204			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.3	1.4	0.4		サヌカイト		
205 206			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土 上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	2.0	1.4 1.5	0.4		サヌカイト サヌカイト		
207			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.2	1.5	0.3		サヌカイト		
208		Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.1	1.5	0.4	0.81	サヌカイト		
209			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.0	1.4	0.3		サヌカイト		
210 211			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土 上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	2.3	1.3 1.5	0.3		サヌカイト サヌカイト	,	
212			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.2	1.4	0.2		サヌカイト		
213			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.2	1.6	0.3		サヌカイト		[5] (Ik.)o
214 215			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	1.8	1.3 1.6	0.3		サヌカイト サヌカイト		風化あり
216			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.3	1.5	0.3	_	サヌカイト		
217			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.3	1.9	0.4		サヌカイト		
218 219			SR01 SR01		石鏃 石鏃	2.7	1.4	0.3		サヌカイト サヌカイト		表面に自然面を残す
220			SR01		石鏃	2.5	1.5	0.4		サヌカイト		<b>東面に自然面と次</b> )
221			SR01		石鏃	2.2	1.7	0.3		サヌカイト		
222			SR01 SR01	上層 暗褐色粘土 上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	2.3	1.7	0.5		サヌカイト サヌカイト		
224			SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.4	1.5	0.5		サヌカイト		
225			SR01		石鏃	2.4	1.5	0.5		サヌカイト		風化が著しい
226 227			SR01 SR01		<u>石鏃</u> 石鏃	2.9	1.2 1.6	0.4		サヌカイト		
228			SR01		石鏃	2.0	1.6	0.3		サヌカイト		
229	19	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.5	1.5	0.4	1.10	サヌカイト		
230			SR01 SR01		石鏃 石鏃	2.6 2.6	1.5 1.8	0.3		サヌカイト サヌカイト		
232			SR01		<u>石鏃</u> 石鏃	2.6	1.8	0.3		サヌカイト		
233	19	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.7	1.6	0.4	1.87	サヌカイト		
234			SR01		石鏃	2.4	1.9	0.4		サヌカイト		
235 236				上層 暗褐色粘土	石鏃 石鏃	2.9	1.6 1.8	0.5		サヌカイト サヌカイト		風化あり
237	19	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.9	1.9	0.5		サヌカイト		
238		Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	2.8	1.9	0.5	2.00	サヌカイト		
239 240			SR01 SR01		石鏃 石鏃	3.0 2.8	1.6 1.7	0.3		サヌカイト サヌカイト		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
241			SR01		<u>口蟩</u> 石鏃	2.2	2.0	0.3		サヌカイト		
242	19	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石鏃	3.4	2.0	0.5	3.01	サヌカイト		
243					石鏃	3.2	1.9	0.4		サヌカイト		
244			SR01 SR01		<u>石鏃</u> 石錐	3.7 2.5	2.3 1.5	0.5		サヌカイト サヌカイト		
246	19	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	石錐	2.9	2.0	0.4	2.05	サヌカイト		
247			SR01		石錐 石錐	3.3	1.9	1.0		サヌカイト		
248 249			SR01 SR01		<u>石錐</u> 石錐	4.6 3.9	1.6 2.9	0.3		サヌカイト サヌカイト		未製品
250	20	11区	SR01	上層 暗褐色粘土	楔形石器	3.1	2.1	0.8	7.66	サヌカイト		
251	20	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	楔形石器	3.3	2.5	1.3	11.61	サヌカイト		

報文番号	図版 番号	区名	報告遺構番号	土層	器種	現存長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	形態・手法の特徴	備考
252	20	Ⅱ区	SR01	上層 暗褐色粘土	楔形石器	3.2	2.9	0.9		サヌカイト		同用は北京地))、
253		11区	SR01 SR01	上層 暗褐色粘土	楔形石器 楔形石器	3.4	4.7 3.7	0.7		サヌカイト サヌカイト		風化が著しい
254 255		II区	SR01	上層 暗褐色粘土 上層 暗褐色粘土	楔形石器	6.1	11.1	2.6		サヌカイト		
256		11区	SR01	上層 暗褐色粘土	スクレイパー	6.6	4.2	1.4		サヌカイト		
257		II区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	1.8	1.3	0.3		サヌカイト		
258		Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	1.9	1.2	0.2		サヌカイト		
259		区区	SR01 SR01	下層 灰色砂質土	石鏃 石鏃	2.0	1.5 1.2	0.4		サヌカイトサヌカイト		風化あり
260 261		Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	2.0	1.5	0.3		サヌカイト		JAK (1.07)
262		Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	1.9	1.4	0.4		サヌカイト		
263	20	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	2.1	1.4	0.3		サヌカイト		
264		Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	2.2	1.5	0.5		サヌカイト		
265		区区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃 石鏃	2.4	1.5	0.3		サヌカイト サヌカイト		
266 267	20	II区	SR01 SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	2.1	2.0	0.3		サヌカイト		
268	20	11区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	2.5	1.6	0.3		サヌカイト		
269	20	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	2.5	1.6	0.4		サヌカイト		
270	20	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃	3.0	1.6	0.6		サヌカイト		
271	20	区区	SR01	下層 灰色砂質土	石鏃 楔形石器	3.9	2.5 1.6	0.4		サヌカイト サヌカイト		
272		11区	SR01 SR01	下層 灰色砂質土	楔形石器	3.6	4.0	0.7		サヌカイト		
274	21	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	楔形石器	3.3	4.4	0.7		サヌカイト		
275	20	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	楔形石器	2.3	5.0	1.7		サヌカイト		
276	20	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	楔形石器	6.6	4.4	1.0		サヌカイト		
277 278	20	11区	SR01 SR01	下層 灰色砂質土	スクレイパー スクレイパー	6.6 7.6	3.0 4.3	0.8		サヌカイト サヌカイト		
279	20	11区	SR01	下層 灰色砂質土	スクレイパー	8.2	4.8	1.1		サヌカイト		
280	20	II区	SR01	下層 灰色砂質土	スクレイパー	10.5	4.9	1.2	34.81	サヌカイト		
281	20	Ⅱ区	SR01	下層 灰色砂質土	スクレイパー	9.7	6.4	1.1		サヌカイト		
282	21	Ⅱ区	SR01		石鏃	1.7 2.0	1.4	0.3		サヌカイト サヌカイト		
283 284	21	11区	SR01 SR01		石鏃 石鏃	2.0	1.3 1.2	0.4		サヌカイト		
285	21	Ⅱ区	SR01		石鏃	2.0	1.5	0.3		サヌカイト		
286	21	Ⅱ区	SR01		石鏃	2.2	1.4	0.3		サヌカイト		
287	21	Ⅱ区	SR01		石鏃	2.1	1.7	0.3		サヌカイト		
288	21	区Ⅱ	SR01		石鏃 石鏃	2.3	1.6 1.5	0.3		サヌカイト サヌカイト		
289 290	21	11区	SR01 SR01	_	石鏃	1.7	1.8	0.4		サヌカイト	~	失敗品か
291		Ⅱ区	SR01	_	楔形石器	3.0		0.8		サヌカイト		
442	24	Ⅱ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	1.8	1.6	0.3	0.94	サヌカイト		
443	24	Ⅱ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	1.8	1.4	0.3	0.63	サヌカイト		
444	24	II区	SR02	上層下部  褐灰色砂質土  上層下部	石鏃	2.0		0.3		サヌカイト		
445	24	II 🔀	SR02	本語   表示	石鏃	2.2		0.2	-	サヌカイト		
446	24	Ⅱ区	SR02	褐灰色砂質土 上層下部	石鏃	2.0	-	0.3		サヌカイト		
447	24	II区	SR02	褐灰色砂質土 上層下部	石鏃	1.9		0.3		サヌカイト		
449	24	II 区	SR02	褐灰色砂質土 上層下部	石鏃	2.5		0.3		サヌカイト		
450	24	II区	SR02	褐灰色砂質土 上層下部	石鏃	2.7		0.3		サヌカイト		
451	24	Ⅱ区	SR02	褐灰色砂質土 上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	2.4	-	0.4		サヌカイト		
452	24	Ⅱ区	SR02	上層下部   褐灰色砂質土	石鏃	1.9	1.9	0.3	1.12	サヌカイト		
453	24	Π区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	2.2	1.8	0.2	1.21	サヌカイト		
454	24	Π区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	2.4	1.6	0.4	1.25	サヌカイト		
455		Ⅱ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	2.3	1.9	0.3	1.27	サヌカイト		
456	24	Ⅱ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	2.1	2.1	0.3	1.13	サヌカイト		
457	24	П区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	石鏃	2.6				サヌカイト		
458	24	Ⅱ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土 上層下部	石鏃	2.8		0.3		サヌカイト		
459	24	Ⅱ区	SR02	本層下部 褐灰色砂質土 上層下部	石鏃	2.8				サヌカイト		
460	24	II区	SR02	本層   印	石鏃	2.8				サヌカイト		未製品
461	24	II 区	SR02	老灰色砂質土 上層下部	石鏃 スクレイパー	2.9		0.3		サヌカイトサヌカイト		やや風化
462	25 25	II 区	SR02	褐灰色砂質土 上層下部	スクレイハー	2.8		0.5		サヌカイト		\ \ /#\( L
409		L" 12	DIN02	褐灰色砂質土	I	I	L 2.1	L		1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	L	l

報文 番号	図版 番号	区名	報告遺構番号	土層	器種	現存長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	形態・手法の特徴	備考
464	25	IΙ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	スクレイパー	3.2	2.5	0.7	4.25	サヌカイト		石鏃か?
465		IΙ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	スクレイパー	4.2	3.5	0.5	10.04	サヌカイト		
466		IΙ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	楔形石器	2.8	2.6	0.8	7.85	サヌカイト		
467	25	IΙ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	楔形石器	4.3	1.9	1.5	13.42	サヌカイト		
468	25	IΙ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	楔形石器	4.8	6.4	2.1	58.55	サヌカイト		
469		Π区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	楔形石器	6.2	5.0	1.6	36.80	サヌカイト		
470	25	Ⅱ区	SR02	上層下部 褐灰色砂質土	楔形石器	4.8	6.8	1.3	68.64	サヌカイト		
471 472	25 25	Ⅱ区	SR02 SR02	石・土器除去中 石・土器除去中	石鏃 石鏃	1.6 1.8	1.3 1.4	0.2		サヌカイト サヌカイト		
473	. 25	Ⅱ区	SR02	石·土器除去中	石鏃	2.2	1.5	0.3		サヌカイト		
474	25	Ⅱ区	SR02	石·土器除去中	石鏃	2.2	1.5	0.4		サヌカイト		
475	25	Ⅱ区	SR02	石·土器除去中	石鏃	2.3	1.7	0.3		サヌカイト		
476	25	Ⅱ区	SR02	石·土器除去中	石鏃	2.4	1.7	0.4		サヌカイト		
477	25	Ⅱ区	SR02	石・土器除去中	石鏃	1.9	1.8	0.3		サヌカイトサヌカイト		未製品
478 479	25 25	11区	SR02 SR02	石・土器除去中 石・土器除去中	石鏃 石錐	2.4	1.8	0.2		サヌカイト		上部折損
480	25	11区	SR02	石·土器除去中	石錐	3.3	2.5	0.5		サヌカイト		未製品
481	25	11区	SR02	石·土器除去中	スクレイパー	4.8	4.4	0.5	16.83	サヌカイト		<b>水</b> 表明
482	25	Ⅱ区	SR02		石鏃	1.4	1.3	0.2		サヌカイト		
483	25	Ⅱ区	SR02	_	石鏃	1.9	1.4	0.3		サヌカイト		
484	25	Ⅱ区	SR02		石鏃	1.9	1.5	0.3		サヌカイト		未製品
485	25	Ⅱ区	SR02	_	石鏃	1.9	1.4	0.3		サヌカイト		
486		Ⅱ区	SR02	_	石鏃	2.1	1.3	0.4		サヌカイト		
487	25	IIZ	SR02	_	石鏃	2.1	1.4	0.3		サヌカイト		
488	25	Ⅱ区	SR02		石鏃	2.0	1.6	0.3		サヌカイト		
489 490	25 25	11区	SR02 SR02		石鏃 石鏃	2.1	1.2 1.4	0.3		サヌカイト サヌカイト		
491	25	Ⅱ区	SR02	_	石鏃	2.1	1.4	0.3		サヌカイト		
492	25	Ⅱ区	SR02	_	石鏃	2.4	1.6	0.3		サヌカイト		
493	20	11区	SR02	_	石鏃	2.4	1.8	0.4		サヌカイト		
494	25	11区	SR02	_	石鏃	2.9	2.1	0.5		サヌカイト	-	
495	25	Ⅱ区	SR02	_	石鏃	4.0	1.1	0.4		サヌカイト		失敗品か
496	25	Ⅱ区	SR02	_	石鏃	1.6	2.3	0.5	1.55	サヌカイト		
497		Ⅱ区	SR02	_	楔形石器	3.0	1.9	0.6	3.64	サヌカイト		
498	25	Ⅱ区	SR02		楔形石器	4.4	4.7	1.0		サヌカイト		
499	25	11区	SR02		楔形石器	5.0	3.1	0.8		サヌカイト		
521	0.0	Ⅱ区	SX03		石鏃	2.7	1.6	0.4		サヌカイト サヌカイト		国 ルル・ア
524	26	11区	SD01 • SD02 SD01 • SD02		石鏃 石鏃	1.8	1.6	0.4		サヌカイト		風化している
525 526	26 26	11区	SD01-SD02 SD01-SD02		楔形石器	4.3	4.0	0.3 1.8		サヌカイト		
528	20	Ⅱ区	SD01-3D02		石鏃	2.9	2.0	0.5	2 08	サヌカイト		未製品
529		11区	SD03		石鏃	3.2	1.5	0.4		サヌカイト		/NAX HI
535	26	Ⅱ区	SD04a		石鏃	1.7	1.1	0.3		サヌカイト		
536		Ⅱ区	SD04a		石鏃	1.7	1.4	0.3	0.50	サヌカイト		風化が著しい
537	26	Ⅱ区	SD04a		石鏃	2.5	1.3	0.4		サヌカイト		
538	26	Ⅱ区	SD04a		石鏃	3.5	1.6	0.4		サヌカイト		
539	26	Ⅱ区	SD04a		石鏃	1.9	1.4	0.2		サヌカイト		
540	26	Ⅱ区	SD04a		石鏃	2.4	1.4	0.3		サヌカイト		
541	26 26	11区	SD04a		石鏃	2.9	1.7	0.4		サヌカイト		
542 545	- 20	Ⅱ区	SD04a SD04b		石鏃 石鏃	3.4	1.7 1.6	0.6		サヌカイト サヌカイト		
546	26	II Z	SD04b		石鏃	3.6	2.2	0.4		サヌカイト		
547		11区	SD04b		石鏃	2.5	2.2	0.4		サヌカイト		
548		Ⅱ区	SD04b		石鏃	2.0	1.5	0.4		サヌカイト		
549	26	Ⅱ区	SD04b		石鏃	2.5	1.4	0.4	1.21	サヌカイト		
550	26	11区	SD04b		石鏃	2.2	1.4	0.4		サヌカイト		
551	26	Ⅱ区	SD04ab		石鏃	2.0	1.4	0.3	0.86	サヌカイト		
552		Ⅱ区	SD04ab		石鏃	2.4	1.2	0.3		サヌカイト		
553	26	II 🗵	SD04ab		石鏃	3.3	1.1	0.2		サヌカイト サヌカイト		 風化あり
554 555	26	11区	SD04ab SD04ab		石鏃 石鏃	2.4	1.6 1.5	0.5		サヌカイト		/本(160)ソ
556		11区	SD04ab		<u>ク</u>	4.9	5.6	1.0		サヌカイト		
557		Ⅱ区	SD04ab		石鏃	1.7	1.5	0.3		サヌカイト		
558		Ⅱ区	SD04		石鏃	1.3	1.9	0.4		サヌカイト		
561		IΙ区	SD06		石鏃	2.4	1.6	0.3	1.03	サヌカイト		
562		Ⅱ区	SD06		石鏃	2.8	1.7	0.5		サヌカイト		
563		Ⅱ区	SD06		楔形石器	2.6	2.1	0.8		サヌカイト		
585		II	SD07		石鏃	1.7	1.3	0.2		サヌカイト		
586		Ⅱ区	SD07		石鏃	1.7	1.2	0.3		サヌカイト		
587	28	Ⅱ区	SD07		石鏃	2.0	1.4	0.3		サヌカイト		
588	28 28	11区	SD07		石鏃	2.2	1.3	0.3		サヌカイト		
589 590		II区	SD07 SD07	,	石鏃 石鏃	2.1	1.6 1.7	0.3		サヌカイト		
590		Ⅱ区	SD07		石鏃	2.5	1.7	0.3		サヌカイト		
592	20	Ⅱ区	SD07		石鏃	1.5	1.7	0.3		サヌカイト		
593	28	Ⅱ区	SD07		石錐	3.8	1.5	0.4		サヌカイト		
594			SD07	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	スクレイパー	8.1	3.4	0.7		サヌカイト		•
						1	1				L	

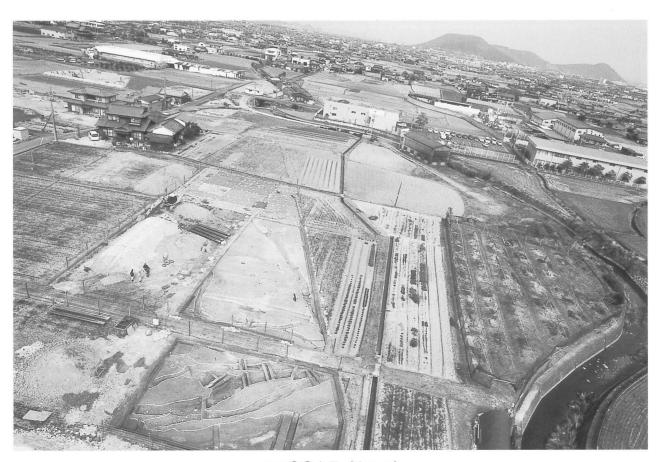
報文 番号	図版 番号	区名	報告遺構番号	土層	器種	現存長 (cm)			重量 (g)	石材	形態・手法の特徴	備考
599		Ⅱ区	SD08		石鏃	1.8	1.4	0.4	0.60	サヌカイト		
605		Ⅱ区	①上面精査		石鏃	2.3	1.6	0.4	1.25	サヌカイト		
606		Ⅱ区	①上面精査		楔形石器	2.7	3.9	0.9	7.48	サヌカイト		
607	28	Ⅱ区	③上面精査		楔形石器	5.3	8.9	2.1	106.25	サヌカイト		
608	28	Ⅱ区	①上面精査		楔形石器	5.6	6.8	1.7	82.97	サヌカイト		

义

版



I区①全景(北から)



Ⅱ区①③全景(南から)

### 図版 2



I 区全景(南から)



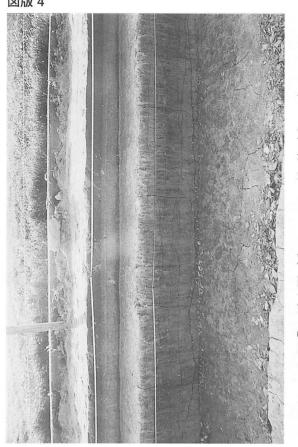
Ⅱ区①全景 (北から)



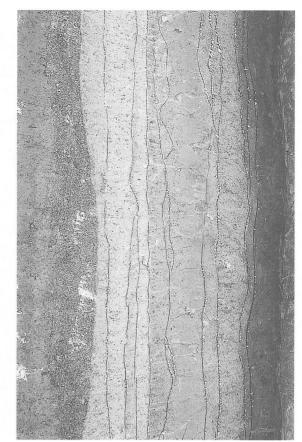
Ⅱ区②南半・④全景(南から)



Ⅱ区③全景(南から)



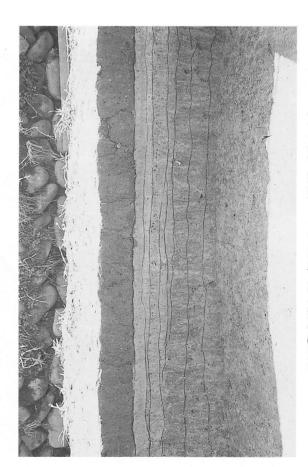
I区②西壁土層 (南から14.5m付近) (東から)



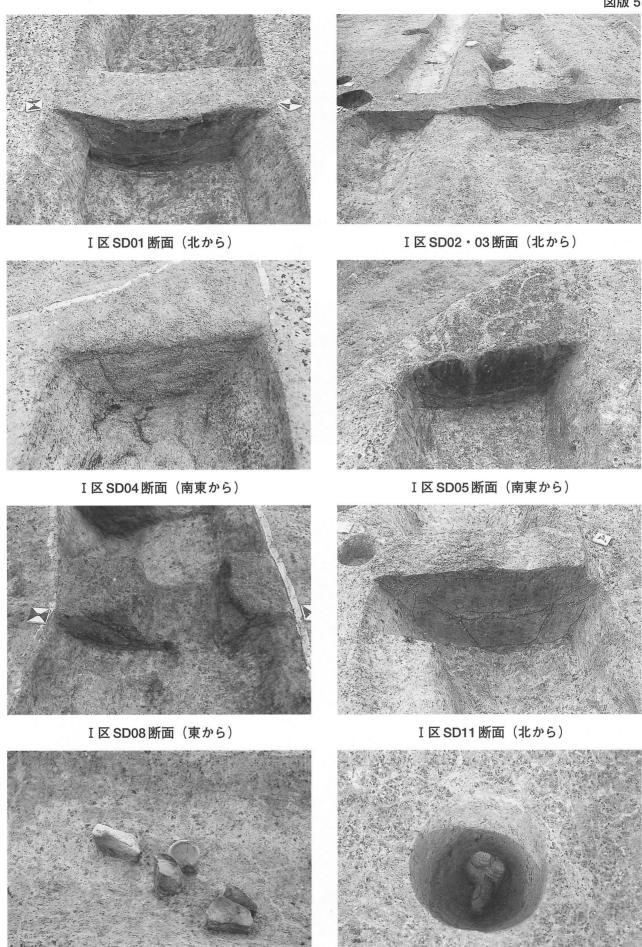
I区④西壁土層 (北から4m付近) (東から)



I 区北壁土層(東端付近)(南から)



I区②南壁土層 (西から 5 m付近) (北から)



I 区 SD09 遺物出土状況(北から)

I 区 SP01 遺物出土状況(南から)